

# 主 要 な 施 策 の 成 果

## 【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予 算 現 額 303,916 千円  
決 算 額 296,591 千円

決 算 額 の 財 源 内 訳				
国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
				296,591

### 議 会 事 務 局

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
1. 政務活動費	3,554	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	117
2. 議会広報経費	6,009	○「いせ市議会だより」発行…市議会活動を市民に広報するため「いせ市議会だより」を発行し、各戸配布等を行った。＜年間4回発行＞ ○市議会放映…市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をケーブルテレビで録画放送した。会議があった日の翌日午後2時と午後7時から2回放送し、定例会終了日の翌々日午後8時から再放送した。＜本会議、予算・決算特別委員会全体会21日分、予算・決算特別委員会分科会9日分＞ また、上記録画データを利用し、YouTubeによるインターネット録画放送を実施した。	117

(款)1 議会費

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 7,412 千円  
 決算額 6,276 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			60	6,216

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	6,276	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修 研修数40回 受講者数 1,760名 ②派遣研修 研修数72回 受講者数 159名  (2) 研修評価 (受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 77.0% 一般研修 75.5% 派遣研修 96.0% ②意識向上度 研修全体 58.0% 一般研修 54.8% 派遣研修 96.0%	119

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 5. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 56,244 千円  
 決算額 54,787 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,420	51,367

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行事業	30,745	「広報いせ」を毎月1日と15日(1月と5月を除く)に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	121
2. CATV広報いせ放送事業	16,207	行政放送において、行政情報番組[お知らせ番組(毎週更新)と特集番組(年間9本)]を制作し、市政に関するお知らせなどを放送した。	121
3. インターネット情報発信事業	5,042	伊勢市ホームページの運用保守を行い、ウェブならではの即時性のある情報発信に努めた。	121

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. デジタル化推進費

(単位 千円)

予算現額 601,985 千円  
 決算額 583,058 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,521			28,657	542,880

デジタル政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. デジタル活用推進 事業	28,081	<p>令和3年度に策定した伊勢市デジタル行政推進ビジョン(アクションプラン編)に基づき、行政手続きのオンライン化や高齢者向けスマートフォン教室の開催、AI等のデジタル技術を活用した業務時間削減、職員のデジタルリテラシー向上などに取り組んだ。また、スマートシティを進めるため、分野別の課題収集やそれらの課題解決に向けた企業マッチングに取り組んだ。</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>                      当初予算額 34,003,000円                      ・行政手続きのオンライン化の推進                      ・LINEを活用した行政サービスの推進                      ・RPA、AI-OCR、チャット、Web会議等の活用                      ・職員の意識改革                      ・ワーキンググループ等による検討                      ・各課の取組の支援                      ・スマートシティ伊勢推進協議会の運営                      ・官民連携の取組の推進                      ・デジタルデバйд対策(スマートフォン教室等開催)</p> <p><b>【過去2カ年度の実績】</b>                      令和3年度 16,868,236円                      ・行政手続きのオンライン化の推進                      ・LINEを活用した行政サービスの推進                      ・RPA、AI-OCR、チャット、Web会議等の活用                      ・各課の取組の支援                      ・スマートシティ伊勢推進協議会の設立・運営                      ・デジタル戦略の策定                      ・ワーキンググループ等による検討                      令和2年度 7,954,157円                      ・RPA本格導入、AI-OCRの試験導入                      ・LINEを活用した行政サービスの推進                      ・デジタル戦略の策定に向けた準備</p> <p><b>【事業を取りまく状況】</b>                      人口減少・少子高齢化が進む一方、多様化・高度化する市民サービスが求められており、デジタル技術やデータを活用した安定的な行政運営を確保しながら、利便性の高い行政サービスを提供していく必要がある。並行して、地域社会のデジタル化を進め、市民が便利で快適に暮らせるまちの実現に向けて取り組む必要がある。</p>	頁 121

(款)2 総務費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 住民情報システム 管理経費	265,939	住民基本台帳、税及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムについて、サーバ機器等が保守期限を迎えることから、システムの安定稼働を図るため、クラウド形態でのシステム環境の構築を行うとともに、クライアント端末等の更新を行った。 また、市税等に関する各種帳票の印刷業務並びに税申告書等のイメージデータの読取業務やデータ入力業務等について、業務の効率化を図った。	121
3. 行政情報システム 管理経費	169,535	財務会計・文書管理・人事給与・庶務事務・グループウェア等の行政情報システム（内部情報系）、インターネットシステム及びネットワークシステムの保守管理等を行い、各システムの安定稼働を図った。 また、機器類の保守期限を迎えるネットワークシステムについて、更新を行った。	121
4. ITセキュリティ 対策事業	116,028	情報資産の安全管理と情報セキュリティの維持、向上を推進するために、各種セキュリティ関連システムの保守管理等を行い、システムの安定稼働を図るとともに、ライセンス期限切れとなるソフトウェアライセンスの更新を実施した。 また、セキュリティ対策の為に導入している仮想化強靱化対応システムについて、機器保守期限を迎えることから、新たなシステムへの更新を行った。	121
5. キャッシュレス決済 対応レジ導入事業	2,750	市民の利便性向上や職員の事務効率化、市民と職員の接触機会低減などを目的に、多くの市民が利用する戸籍住民課、課税課、各総合支所生活福祉課の窓口にキャッシュレス決済対応レジを導入した。	121

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費

(単位 千円)

予算現額 245,181 千円

決算額 230,582 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,200		1,990	227,392

企画調整課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ふるさと応援寄附 推進事業	210,520	市の貴重な自主財源の確保、地元特産品のPR及びブランド力の向上、市内産業や観光の振興を目的として、ふるさと納税制度を活用した寄附拡大の取組を推進した。 ・寄附件数 12,713件 ・寄附金額 462,734,086円	121
2. シティプロモーション 推進事業	4,303	市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるべく、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指し、三重テレビ放送による伊勢市情報発信番組制作と放送、プレスリリースサービスによる情報配信等を行うとともに、シティプロモーションを推進するための基本となるマインド醸成と情報発信の実践的なスキル向上を図る職員研修を行った。 また、伊勢市への移住・定住を推進するため、移住PR動画の制作と配信、移住相談会への参加等により伊勢市への移住をPRするとともに、一定の要件を満たし東京圏から伊勢市に移住した人に、三重県と連携し移住支援金を支給した。	123

(款)2 総務費

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出会い・結婚支援事業	11,834	結婚を希望する人等の相談業務、出会いの場や情報の提供、結婚に向けたセミナー研修等を行う場として「いせ出会い支援センター」の運営を委託した。 また、市内及び定住自立圏域市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。 委託先：株式会社デルタスタジオ 委託料：9,625,000円 利用件数：3,288件（来所・電話・メール・チラシ） いせむすび登録企業数：209社	123

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 6,159 千円  
決算額 4,798 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,798

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 男女共同参画推進都市事業	4,444	市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託し、市民への意識啓発やパートナーの日の周知活動を実施した。企業向けには、企業訪問や男女共同参画を積極的に取り組んでいる事業者等の表彰制度を周知することで、男女がともに働きやすい職場環境づくりの推進を啓発した。 また、女性が能力を発揮し安心して働き続けることができるよう、女性のデジタルスキルアップにつながるセミナーを開催した。これらの取組を継続して行い、成果につなげていくため、第4次伊勢市男女共同参画基本計画を策定した。 ○市民向けの取組 ・映画祭、講演会、意識啓発等 ・広報いせへ啓発記事掲載 ○企業向けの取組 ・企業訪問（14社） ・事業者表彰（R4年度 受賞事業者なし） ○女性活躍推進 ・女性のためのデジタルスキルUP 初級オンライン講座（全2回） 申込数 23人 参加数 第1回：22人、第2回：18人	123

(款)2 総務費

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 15. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 283,761 千円  
 決算額 217,110 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		24,500	429	192,181

資産経営課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>公共施設マネジメント事業</u>	5,413	<p>公共施設等総合管理計画に基づき、全庁横断的な体制のもと公共施設等の総合かつ計画的な管理を継続するため設置する公共施設等マネジメント推進会議において、全庁的な協議・調整を行い、個々の施設の方向性を示す施設類型別計画の進捗管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設マネジメントシステム導入業務委託 5,181,000円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】                      公共施設マネジメント事業 8,200,000円                      ・公共施設等マネジメント推進会議、作業部会の開催                      ・施設類型別計画の進捗管理                      ・公共施設カルテ及びインフラ資産カルテの更新                      ・職員研修実施                      ・先進地視察                      ・公共施設マネジメントシステム導入</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和3年度 12,970円                      ・公共施設等マネジメント推進会議、作業部会の開催                      ・施設類型別計画の進捗管理                      ・公共施設カルテ及びインフラ資産カルテの更新                      令和2年度 59,310円                      ・公共施設等マネジメント推進会議、作業部会の開催                      ・施設類型別計画の進捗管理                      ・公共施設カルテ及びインフラ資産カルテの更新</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      少子高齢化など人口構造の変化に伴う厳しい財政状況が続く中で、老朽化する公共施設等の更新費用や維持管理経費を確保していくことが大きな課題となっている。これらの課題を解決するため、施設類型別計画に定める公共施設等の管理方針を指標としながら取組を進めていく。</p>	125

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 17. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 111,453 千円  
 決算額 109,608 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			940	108,668

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市民活動促進事業	17,790	平成16年4月に「いせ市民活動センター」を開設し、同年7月から指定管理者制度を導入した。令和4年度から第7期(2ヵ年)指定管理者として特定非営利活動法人いせコンビネットが管理運営を行っている。 令和4年度指定管理料 15,372,146円 (うち電気料金高騰による補てん分 472,146円)	頁 127
2. 伊勢のまつり開催事業	6,560	市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、団体の代表者等65名からなる実行委員会により企画・運営を行った。コロナ禍が収束しない中での開催であったため、出展・出店なし等の制限を設け実施した。	127

(款)2 総務費

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 18. 地域自治推進費

(単位 千円)

予算現額 267,978 千円  
 決算額 258,030 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			248,880	9,150

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 地域自治推進事業	173,629	<p>平成27年度から本格稼動した、ふるさと未来づくり制度に基づき設置されたまちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。また、まちづくり協議会が実施する防災機能強化等地域課題解決のための事業に対し、活動事業費(臨時特例分)を交付した。</p> <p>ふるさと未来づくり資金                      ・事務運営費、活動事業費(基本額)                      63,548,566円(23団体)                      ・活動事業費(臨時特例分)                      3,428,957円(7団体、13件)                      ・一括交付金化事業                      105,027,284円(18団体)                      計 172,004,807円</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 185,405,000円                      ・まちづくり講演会                      ・まちづくり人材養成講座                      ・市民活動補償制度                      ・ふるさと未来づくり資金 等</p> <p>【過去2カ年度の実績】                      令和3年度                      ・事務運営費、活動事業費(基本額)                      59,990,255円(23団体)                      ・活動事業費(臨時特例分)                      2,591,646円(8団体、12件)                      ・一括交付金化事業                      104,663,598円(18団体)                      計 167,245,499円                      事業計 168,543,106円                      令和2年度                      ・事務運営費、活動事業費(基本額)                      62,410,920円(23団体)                      ・活動事業費(臨時特例分)                      3,679,436円(9団体、12件)                      ・一括交付金化事業                      104,310,511円(18団体)                      計 170,400,867円                      事業計 171,703,277円</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      まちづくり協議会が新型コロナウイルス感染症対策を行いながら徐々に活動を再開し、ふるさと未来づくり資金の実績額が前年度から増額となっている。</p>	頁 129



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>いせミライプロジェクト推進事業</u>	188	<p>高校生にまちづくりの楽しさを知ってもらい、活動人口の増加につなげることを目的に、まちづくりプロジェクトチームを結成し、自らが企画した活動を実践する事業を、令和4年度から開始した。</p> <p>高校生メンバーが一から企画し、「街歩きパンフレット作成」「スポーツ大会の実施」「伊勢のギフトPR」「スイーツ開発」の4つの事業を実施した。</p> <p>対象：市内在住または市内高校に通う高校生15人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 472,000円 ・任命式 ・月1回程度の企画会議 ・企画内容に応じた研修 ・3つ程度の事業実施 ・市長報告会 等</p> <p>【過去2カ年度の実績】 令和4年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 地域活動者が減少する中、将来に向けた若者の活動が求められている。また、事業を企画するにあたっては、企業等との連携や依頼対応等、様々なつながりを検討する。</p>	129
3. 区長謝礼事業	7,480	<p>市内175自治会の活動について、行政委員等の候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。</p>	129
4. 自治会集会所建設 事業補助金	10,381	<p>地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の改築、修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に補助金を交付した。</p> <p>交付金額 10,381,000円(6自治会) &lt;内訳&gt; ・改築 7,000,000円(1自治会) ・修繕 3,381,000円(5自治会)</p>	129
5. コミュニティ助成 事業補助金	23,000	<p>(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会にコミュニティ助成事業補助金を交付した。</p> <p>〔交付団体数〕5自治会</p>	129
6. 自治会活動補助事 業	42,162	<p>○振興助成金 地域における自治活動を支援・推進するため、助成金を交付した。 59自治会 8,688,250円</p> <p>○元気なまちづくり協働事業補助金 市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 31自治会 1,203,000円</p> <p>○広報紙配布等事業 市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して交付金を交付した。 59自治会 32,271,000円</p>	129

(款)2 総務費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 総連合自治会運営 補助金	1,190	市内163自治会が加盟する伊勢市総連合自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	129

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 19. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 1,982 千円  
決算額 1,632 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	491		109	1,032

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	1,632	伊勢市国際交流協会を通じ、在住外国人への日本語教室等国際交流の促進及び多文化共生社会実現のための支援を行った。また、コロナ禍で中止していた外国語講座、料理教室事業を再開した。	129

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 36,091 千円  
 決算額 31,451 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			19,000	12,451

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防犯カメラ設置推進事業	2,120	<p>安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯対策の一環として、防犯カメラを設置する自治会に補助金を交付し、地域の防犯環境の整備を支援した。</p> <p>令和4年度                      電気料助成金 416千円                      設置補助金 1,704千円                      (10自治会:22台)</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 5,195千円                      犯罪抑止、事件・事故等の解決及び市民の不安軽減の為、自治会が設置する防犯カメラに係る費用及び電気料金の一部を補助する。</p> <p>【過去2カ年度の実績】                      令和3年度 ※R3より電気料                      電気料助成金 194千円                      設置補助金 3,780千円                      (20自治会:53台)</p> <p>令和2年度                      設置補助金 3,360千円                      (23自治会:72台)</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      県内においての、犯罪認知件数は減少しているが、近年、多発している悪質な犯罪に対し、防犯カメラを設置することで、事件等の解決に繋がるため、市民の不安軽減を図ることが出来る。</p>	129

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 171,055 千円  
 決算額 162,695 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,512	95		5,873	155,215

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全啓発事業	3,151	<p>伊勢市交通安全条例の規定により、市内における交通事故の防止を図るため、伊勢市交通安全都市推進協議会及び伊勢・度会地区交通安全対策協議会に負担金を支出し、交通安全の啓発を行った。</p>	129

(款)2 総務費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 駐輪場管理事業	10,226	<p>鉄道駅周辺市営駐輪場の巡回・整理や、伊勢市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例の規定により、自転車等放置禁止区域（伊勢市駅、宇治山田駅周辺）、鉄道駅周辺市営駐輪場、その他公共の場所の放置自転車の撤去を行い、美観の確保、駐輪場利用者の利便性の確保並びに道路の安全通行の確保に努めた。</p> <p>放置自転車撤去 実施場所 自転車等放置禁止区域、駅周辺駐輪場、 その他公共の場所 撤去台数 223台</p>	131
3. 交通安全活動団体 推進事業	1,600	<p>市内小学校・保育所・幼稚園・認定こども園単位で構成される交通安全活動推進団体に対し、交通安全活動推進事業交付金を交付し、交通事故のない地域づくりを推進した。</p> <p>交付団体数 40団体</p>	131
4. コミュニティバス 運行事業	131,462	<p>コミュニティバスの運行により、現況の鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民生活の利便向上を図った。</p> <p>また、地域住民との検討会や、学識者・運行事業者との伊勢地域公共交通会議により、多様化するニーズや、限られた財源の中で、より効果的・効率的な公共交通サービスを提供するため、運行の在り方を検討した。</p> <p>コミュニティバス運行事業 131,462,123円 ・コミュニティバス運行業務 121,932,213円 ・コミュニティバスデマンド運行業務 5,717,302円 ・沼木バスデマンド運行業務 1,370,413円 ・伊勢地域公共交通会議負担金 1,419,000円 ・コミュニティバスその他の経費 1,023,195円</p> <p>○利用者数 116,221人 (バス：112,750人、デマンド：3,471人)</p>	131
5. 路線バス運行維持 事業	6,207	<p>廃止路線代替バス（伊勢玉城線）の運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。</p>	131
6. 自主運行バス運行 事業	8,726	<p>沼木地区では、高齢化が進み、車など自ら移動手段を持たない高齢者が多く、買い物、通院などの市民生活を行う上で、既存の公共交通では支障をきたしていたため、地域住民の主体的な取り組みにより、交通弱者（高齢者、小中学生等）の移動手段を確保した。</p> <p>○利用者数 1,963人（スクール利用含む）</p>	131
7. 伊勢鉄道運行支援 事業	1,323	<p>新型コロナウイルス感染症により、厳しい経営状況に直面している伊勢鉄道に対し、三重県及び沿線15市町が協調して運行に係る費用を支援することにより、今後の伊勢鉄道の安定的な運行体制の確保を図った。</p>	131

(款)2 総務費

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 1. 税務総務費

(単位 千円)

予算現額 386,139 千円  
 決算額 371,838 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35	204,057		5,669	162,077

収納推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 口座振替事務費	1,813	納税者の利便性向上のため、市民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税(種別割)について、口座振替納付を行っている。 ・口座振替での収納税額 5,142,150,103円  ・支出経費 金融機関口座振替取扱手数料 1,595,506円 ゆうちょ銀行郵便振替取扱手数料 44,790円 ゆうちょ銀行自動払込取扱手数料 172,678円	頁 131

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 156,708 千円  
 決算額 150,683 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			191	150,492

収納推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. コンビニ収納経費	6,092	納税者の利便性向上のため、市民税(普通徴収、特別徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税(種別割)等について、コンビニエンスストア等での収納を行っている。 ・コンビニエンスストア等での収納税額 1,483,463,080円  ・支出経費 収納代行手数料 6,090,938円	頁 131

(款)2 総務費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 徴収管理一般経費	24,066	<p>高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、収納率の向上を図った。 (徴収第一課分：高額案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>移管件数 59件</li> <li>移管総額 27,660,183円 (令和4年度移管事案分)</li> </ul> </li> <li>・徴収額実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳 27,634,293円 12,991,582円 (令和3年度移管事案分)</li> <li>14,642,711円 (令和4年度移管事案分)</li> </ul> </li> <li>・負担金 <ul style="list-style-type: none"> <li>均等割額 100,000円</li> <li>処理件数割額 8,260,000円</li> <li>徴収実績割額 4,431,000円</li> <li>計 12,791,000円</li> </ul> </li> </ul>	133

(款) 2. 総務費 (項) 3. 戸籍住民基本台帳費 (目) 1. 戸籍住民基本台帳費

(単位 千円)

予算現額 402,221 千円  
決算額 387,870 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
100,677	118		38,927	248,148

戸籍住民課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 戸籍住民関係窓口 業務等委託事業	61,684	<p>戸籍住民課の窓口業務等を民間事業者へ委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託内容 戸籍届出・住民異動届の受付・入力業務 証明書交付請求の受付・発行・交付等</li> <li>・履行期間 (第1期 3年間) 平成27年1月1日～ 平成29年12月31日 (第2期 3年間) 平成30年1月1日～ 令和2年12月31日 (第3期 3年間) 令和3年1月1日～ 令和5年12月31日</li> </ul>	133

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. マイナンバーカード取得促進キャンペーン事業	39,778	<p>デジタル社会を実現するための国の取り組みを踏まえ、マイナンバーカードの取得率向上のため、マイナンバーカード取得促進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・QUOカード（2,000円分）の進呈               <ul style="list-style-type: none"> <li>期 間 令和4年11月1日（火）～ 令和4年12月31日（土）</li> <li>対 象 者 キャンペーン期間中にマイナンバーカードを新規申請し令和5年3月10日（金）までにマイナンバーカードの交付を受けた者</li> <li>配布件数 13,332件</li> </ul> </li> <li>・商業施設等でのマイナンバーカード出張申請サポートの実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間 令和4年11月2日（水）～ 令和5年2月28日（火）</li> <li>回 数 30回</li> <li>件 数 3,667件</li> <li>委 託 先 株式会社 日本旅行伊勢支店</li> </ul> </li> <li>・マイナポイント第2弾申込手続の支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間 令和5年2月1日（水）～ 令和5年3月31日（金）</li> <li>件 数 3,241件</li> <li>委 託 先 株式会社 日本旅行伊勢支店</li> </ul> </li> </ul>	133

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 3,824,899 千円  
 決算額 3,473,728 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,482,927	384,470	336,100	100,511	1,169,720

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護・障がいサービス事業所支援事業	49,762	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、感染防止対策を実施する介護・障がい福祉サービス事業所に対し、その費用の一部を補助した。 交付決定延べ事業所数 509事業所	141

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民生委員児童委員活動経費	22,307	令和4年12月1日付け民生委員・児童委員一斉改選に伴う改選事務を行い、委嘱状伝達式を開催した。 民生委員・児童委員、主任児童委員が各地域で実施する日常の見守り活動、相談・助言活動、資質向上のための研修活動を支援した。 委員数 278名 (令和5年3月31日現在)	137
2. 福祉健康センター管理事業	127,497	指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、昭和63年建設以降、相当年数を経過しているため、設備等のメンテナンス、老朽化による施設の不具合を解消した。 【主な施設改修の状況】 ・福祉健康センター受水槽等更新工事 25,278,000円 ・福祉健康センター屋根・外壁等改修工事 64,258,700円	139
3. ハートプラザみその等管理事業	37,500	指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、平成4年建設以降、相当年数を経過しているため、設備等のメンテナンス、老朽化による施設の不具合を解消した。	139
4. 再犯防止推進事業	2,037	再犯防止の推進に向け、国と地方がそれぞれの役割を果たすことが法律で定められたことから、令和3年に策定した伊勢市再犯防止推進計画に基づき、関係団体と協力しながら推進した。	139
5. 自宅待機者生活応援サービス事業	12,004	新型コロナウイルス感染症に関する濃厚接触者で、保健所から自宅待機を要請された者に対し、食糧や日用品を詰め合わせた「自宅生活応援パック」を届けるとともに、日常生活上で困っていることの相談を受け、必要なサービス等の利用調整を行った。 【利用実績】 657件 1,638パック	141



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業	237,400	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等へ臨時特別給付金を支給した。※一世帯につき10万円 ・令和3年度繰越分 支給世帯 792世帯 ・令和4年度分 支給世帯 1,582世帯	141
7. 保健福祉拠点施設整備事業	494,407	高齢者、障がい者、子ども、生活困窮など、全世代を対象とした包括的な相談・支援や、切れ目のない支援を行う保健福祉拠点施設の整備を推進した。  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 514,400,000円 ・保健福祉拠点施設の整備に必要な工事費 等 繰越予算額 15,300,000円 ・保健福祉拠点施設内装工事設計業務委託  【過去2カ年度の実績】 令和3年度からの新規事業 令和3年度 0円（令和4年度へ繰越） ・保健福祉拠点施設内装工事設計業務委託  【事業を取り巻く状況等】 高齢、障がい、子育て、虐待、生活困窮などの課題を重層的に抱える世帯が増加しており、複合化した課題を抱える世帯への相談支援、深刻化を未然に予防するための体制、しくみなど、環境整備が急務となっている。	141
8. 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業	644,050	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）等に対し、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を支給した。※一世帯当たり5万円 ・非課税世帯 支給世帯 12,752世帯 ・家計急変世帯 支給世帯 129世帯	141
9. 物価高騰生活応援給付金支給事業	416,740	エネルギー・食料品等の価格高騰の影響を受けた世帯の負担を軽減するため、国補助事業である「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」（非課税世帯へ5万円支給）の対象とならない世帯へ物価高騰生活応援給付金を支給した。 ※一世帯当たり1万円・支給世帯 40,089世帯	141

### 福祉総合支援センター

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健幸ポイント事業	5,913	運動・スポーツ無関心層を含む30歳以上の市民に対し、ウォーキングをはじめとする運動や健康づくりを促し、将来的な健康寿命の延伸（介護予防）及び、超高齢化や人口減少社会にも対応可能な地域づくりを図った。4期生の卒業後支援と共にバーチャル上の歩数イベントを開催し、健康づくりの継続支援を行った。	139

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 成年後見サポート センター運営事業	11,979	成年後見制度の利用促進に関する法律及び成年後見制度 利用促進基本計画に基づき、中核機関の役割を担う成年後 見サポートセンターの運営を委託し、制度の利用促進と円 滑な制度の運用を図った。	139
3. 保健福祉拠点施設 運営経費	49,465	伊勢市駅前B地区第一種市街地再開発事業において、子 どもから高齢者まで全世代の市民の健康と福祉を総合的に 支援する保健福祉拠点施設の整備を推進した。 ・賃借料、管理費及び共益費 49,370,933円 (令和4年10月～令和5年3月分)	141

### 福祉監査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会福祉法人認 可・指導監査事業	889	当市が所轄庁となる社会福祉法人からの相談による助 言、認可事務、報告書の受領、指導監査を実施し、社会福 祉法人の円滑な運営、経営のため、支援・指導を行った。	139

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 3,854,528 千円  
 決算額 3,739,109 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,942,627	903,838			892,644

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 障害者地域生活支援事業	112,158	<p>(1) 日常生活用具給付事業                      在宅の重度の心身障がいのある人等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。                      ・給付件数 3,173件                      ・給付費 29,690,406円</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 30,174,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和2年度                      給付件数 2,996件                      給付費 28,940,411円                      令和3年度                      給付件数 3,147件                      給付費 30,020,203円</p> <p>(2) 日中一時支援事業                      障害福祉サービス事業所等において、障がいのある人や、障がいのある児童に対し、日中における活動の場を提供し、障がいのある人等を日常的に介護している家族の就労支援及び一時的な休息を図った。                      ・実利用人数 263人                      ・給付費 42,015,975円</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 45,000,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和2年度                      実利用人数 256人                      給付費 41,240,307円                      令和3年度                      実利用人数 258人                      給付費 42,809,885円</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      日常生活用具給付事業や日中一時支援事業等、利用者は年々増加傾向にあり、障がいのある人が安心して日常生活を営むには必要不可欠な事業となっている。</p>	頁 141

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 意思疎通支援等事業	9,936	<p>(1) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がいのある人の社会参加の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話通訳者派遣 件数219件、登録通訳者数13名</li> <li>・要約筆記者派遣 件数52件、登録通訳者数7名</li> <li>・事業費 1,867,110円</li> </ul> <p>(2) 手話奉仕員養成事業 聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座基礎編を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話奉仕員養成講座基礎編 5月～1月、全30講座、35名受講</li> <li>・手話奉仕員指導者養成講座 6月～2月、全5回、16名受講</li> <li>・事業費 1,059,850円</li> </ul> <p>(3) 手話言語条例施策推進事業 手話は言語であるという認識に基づき、手話の理解及び普及並びに地域における手話を使用しやすい環境の構築に関し、総合的かつ計画的に施策を推進した。</p> <p>①手話通訳設置事業 庁内に手話通訳者を配置し、聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置人数 1名</li> <li>・窓口対応件数 243件</li> <li>・事業費 3,618,194円</li> </ul> <p>②その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話体験教室の実施 実施校 6校 事業費 41,629円</li> <li>・市ホームページへ動画『みんなで手話』を掲載</li> <li>・全国手話検定試験受験料半額補助 申請者 22名 事業費 67,925円</li> </ul> <p>(4) 点字広報・声の広報発行事業 広報いせを点訳及び音訳することにより、視覚障がいのある人の情報保障の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字広報発行人数 11人</li> <li>・声の広報発行人数 36人</li> <li>・事業費 360,000円</li> </ul>	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 障がい者サポーター事業	7,447	<p>これまで障がいについて知る機会がなかったり、障がいのある人と接する機会がなかった人に、多様な障がいの特性について学び、障がいのある人が困っていることや障がいのある人への必要な配慮などを理解し、「ちょっとした配慮」を行うことの意識づくりを進めることにより、誰もが暮らしやすい共生のまちづくりの推進を目的に「障がい者サポーター制度」の普及を行った。</p> <p>(1) 障がい者サポーター制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター登録者数 23人 (総登録者数 1,358人)</li> <li>・出前研修会 2か所</li> <li>・庁内研修 2回</li> <li>・サポート企業・団体登録数 29企業・団体</li> <li>・事業費 2,876,781円</li> </ul> <p>(2) キッズサポーター制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 市内小学校3・4年生</li> <li>・実施校 11校</li> <li>・キッズサポーター登録者数 465人 (総登録者数 2,294人)</li> </ul> <p>(3) 障がい者就労体験サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット</li> <li>・委託期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日</li> <li>・利用人数 16人</li> <li>・事業費 4,253,700円</li> </ul> <p>(4) ヘルプカード・ヘルプマーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルプマーク配布数 1,351個 (総数7,297個)</li> <li>・ヘルプカード配布数 756枚 (総数5,532枚)</li> <li>・事業費 316,800円</li> </ul>	141
4. 障害者外出支援事業	13,659	<p>(1) 重度障害者タクシー料金助成事業 重度の障がいのある人の自立更生、社会参加等を促すため、障がいのある人が利用したタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー券利用枚数 18,794枚</li> <li>・助成額 10,966,100円</li> </ul> <p>(2) 重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業 車椅子等でしか移動できない重度の障がいのある人が利用したリフト付タクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リフト付タクシー券利用枚数 2,091枚</li> <li>・助成額 2,087,000円</li> </ul> <p>(3) 障害児機能訓練通所交通費助成事業 障がいのある児童の心身の発達を助長し、また、経済的負担の軽減を図るため、機能訓練へ通所するための交通費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成人数 22人</li> <li>・助成額 275,985円</li> </ul>	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 障害者福祉運営対策経費	14,030	<p>(1) 身体障害者福祉センター運営事業 社会適応訓練(パソコン教室等)等を実施するとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を指定管理者制度により伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 ・年間利用人数 553人(各種教室等)</p> <p>(2) 障がい者就労支援施設運営事業 雇用されることの困難な障がいのある人に、就労・生産活動の機会の提供、その他の知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」の運営を指定管理者制度により伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 ・平均利用人数 12.3人/日</p> <p>(3) 自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 ・助成団体 2団体</p>	143
6. 障害者手当等給付事業	74,808	在宅で重度の障がいのある人に対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。	143
7. <u>障害者共同生活援助施設整備事業補助金</u>	15,000	<p>障がいがある人が地域社会で生活する居住の場、そして生活の場として重要な役割を担うグループホームの整備を促進するために、グループホームの新設に係る経費の一部を補助した。</p> <p>・施設名 ひばの木 ・所在地 伊勢市円座町1172番地1 ・施設の種類 共同生活援助 ・定員 7人 ・設置運営主体 社会福祉法人まほろばの里 ・補助対象事業費 50,967,978円 ・補助金額 15,000,000円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 15,000,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 グループホームは、障がいのある人が地域社会で生活する居住の場として重要な役割を担うものであり、障がいのある人を介護する親の高齢化に伴い必要性が高まっている。</p>	143
8. 障害者介護給付等事業	3,357,023	障害福祉サービス等の利用について、介護給付費等の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	143

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 障害福祉サービス 等事業所安定運営 支援事業	22,000	原油価格や物価高騰の影響を受けながらも、サービスの 安定的な提供を継続している障害福祉サービス事業所に対 し、その費用の一部を支援した。 交付決定延べ事業所数 134事業所	143

福祉総合支援センター

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>障害者地域生活支援事業</u></p>	<p>51,431</p>	<p>(1) 障がい者相談支援センター運営事業</p> <p>①地域相談支援センター 地域相談支援センター3か所の運営を委託し、障がい者相談支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢市障がい者中部地域相談支援センター カンナ 委託先 社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会 委託金額 15,963,000円</li> <li>・伊勢市障がい者西地域相談支援センター アルク 委託先 社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会 委託金額 15,963,000円</li> <li>・伊勢市障がい者東地域相談支援センター リンク 委託先 社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会 委託金額 17,806,000円</li> </ul> <p>・総合相談支援総数 15,443件</p> <p>②基幹相談支援センターの指定管理者の選定 令和5年度から障がい者基幹相談支援センターの運営に指定管理者制度を導入するにあたり、指定管理者の選定を行った。</p> <p>指定管理者 社会福祉法人 三重済美学院 指定期間 令和5年5月8日～令和8年3月31日</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>①当初予算額 53,889,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい種別や年齢に関わらない一次相談</li> <li>・アウトリーチによる相談支援</li> <li>・計画相談支援のバックアップ</li> <li>・相談支援機関との連携</li> </ul> <p>【過去2か年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料等</li> <li>令和2年度 48,977,000円 伊勢市障害者総合相談支援センター フクシア 28,011,000円 伊勢市障害者西地域相談支援センター アルク 10,183,000円 伊勢市障害者東地域相談支援センター リンク 10,783,000円</li> <li>令和3年度 50,232,000円 伊勢市障がい者中部地域相談支援センター カンナ 16,463,000円 伊勢市障がい者西地域相談支援センター アルク 15,963,000円 伊勢市障がい者東地域相談支援センター リンク 17,806,000円</li> </ul> <p>・総合相談支援総数 令和2年度 12,463件 令和3年度 13,130件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 令和3年度・4年度は、基幹相談支援センターを市直営で行うとともに、地域相談支援センター職員を増員し多様化、複雑な相談に多機関と連携して支援を行う体制の構築を図った。障がいに関する相談は増加傾向にあり、複合化している。身近な相談機関における包括的な相談支援体制を強化し、関係機関との連携・ネットワークの構築を推進していく。</p>	<p>141</p>



(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 846,609 千円  
 決算額 832,869 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	303,014			529,855

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 障害者医療費支給事業	236,136	身体障害者手帳（1級～4級）又は療育手帳（A1～B1）の交付を受けている受給資格者に対して医療費を助成した。また、精神障害者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている受給資格者に対して通院医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 226,213千円 ・助成件数 53,757件 2 証明書料の助成 ・助成額 9,923千円 ・助成件数 49,614件	143
2. 65歳以上障害者医療費支給事業	172,607	後期高齢者医療被保険者で障害者医療費の受給資格者に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 172,607千円 ・助成件数 72,328件	143
3. こども医療費支給事業	309,974	15歳年度末までの子どもの受給資格者に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 294,939千円 ・助成件数 150,620件 2 証明書料の助成 ・助成額 15,035千円 ・助成件数 75,175件	143
4. 一人親家庭等医療費支給事業	66,811	18歳年度末までの子どもを養育する母（父）子家庭の母（父）及びその子ども並びに父母のいない18歳年度末までの子どもの受給資格者に対して医療費を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 62,495千円 ・助成件数 25,250件 2 証明書料の助成 ・助成額 4,316千円 ・助成件数 21,581件	143
5. 寡婦医療費支給事業	45	寡婦（60歳～69歳の女子で、配偶者と死別し、その時に20歳未満の者を扶養していた者。ただし、現在、婚姻している者を除く。）の受給資格者に対して医療費の一部を助成した。 1 医療費の助成 ・助成額 44千円 ・助成件数 8件 2 証明書料の助成 ・助成額 1千円 ・助成件数 8件	143

(款)3 民生費

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 4. 遺家族等援護費

(単位 千円)

予算現額 3,923 千円  
 決算額 2,560 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11			2,549

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 遺家族等援護事業	2,560	戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に伊勢市戦争犠牲者追悼式を挙行した。 日時 令和4年10月28日(金) 10時00分～ 会場 伊勢トピア 多目的ホール ・追悼式会場設営等業務委託 748,000円 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、令和2年度、令和3年度に引き続き参列者の規模を縮小した。伊勢市連合遺族会に対し事業実施のための補助金を交付した。・補助金額 1,200,000円	143

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 地域福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 392,002 千円  
 決算額 386,778 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
142,704	42,655		143,223	58,196

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生活困窮者自立支援金支給事業	9,840	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、すでに総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯で生活困窮する世帯を対象に「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給した。	145
2. 生活困窮者自立支援金支給事務費	1,358	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給について、相談や申請書、報告書の受付を伊勢市社会福祉協議会に委託し、支給にかかる事務経費を支給した。	145

福祉総合支援センター

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>生活困窮者自立支援事業</u></p>	<p>38,741</p>	<p>生活困窮者が抱える複合的な生活課題を包括的に支援し困窮状態からの早期脱却を図り、かつ将来の貧困の連鎖を防止することを目的とする。</p> <p>1. 自立相談支援事業（委託）：必須事業 相談者数 実360人（延4,273件）</p> <p>2. 住居確保給付金の給付（直営＋委託）：必須事業 給付世帯 10世帯（延27か月分） 給付金額 827,300円 就職者数 4人</p> <p>3. 就労準備支援事業（委託）：任意事業 支援者数 12人 相談回数 延97回 求職者支援訓練数 1人</p> <p>4. 子どもの学習支援等事業（直営）：任意事業 対象者（小学生から高校生相当）実41人 訪問人数 40人 延275回</p> <p>【当初予算における内容、計画】 生活困窮者自立支援事業 当初予算額 20,494,000円 生活困窮者自立支援事業（重層的支援体制整備事業） 当初予算額 18,500,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度決算額 39,792千円 令和3年度決算額 40,623千円</p> <p>1. 自立相談支援事業 令和2年度 相談者数 実624人（延べ4,219件） 令和3年度 相談者数 実304人（延べ4,728件）</p> <p>2. 住居確保給付金の支給 令和2年度 42世帯支給（延199か月分） 給付金額 6,808,700円 就職決定者数 11人 令和3年度 35世帯支給（延131か月分） 給付金額 4,472,400円 就職決定者数 9人</p> <p>3. 就労準備支援事業 令和2年度 支援者数 30人 相談回数 延287回 就職者数 3人 令和3年度 支援者数 27人 相談回数 延353回 就職者数 5人</p> <p>4. 子どもの学習支援等事業（直営） 令和2年度 対象者（小学生から高校生相当）実38人 訪問人数 29人 延156回 令和3年度 対象者（小学生から高校生相当）実40人 訪問人数 35人 延172回</p> <p>【事業をとりまく状況等】 生活困窮者自立支援事業において、自立相談支援 事業及び住居確保給付金は、ピーク時に比べれば減少傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の収束が見えない現状にあり、状況を判断しながら事業に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>145</p>

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>小地域活動推進事業</u>	95,669	<p>地域福祉（活動）計画に基づき、支援を必要とする人が抱える多様で複合的な生活課題について、地域住民（組織）や福祉関係者による把握及び関係機関との連携等による解決が図られるよう包括的な支援体制づくりを推進することで、地域で支え合いながら、自分らしく生活することができる地域共生社会の実現を目的とする。</p> <p>1. 多機関協働事業            属性・世代・相談内容に関わらない包括的相談支援体制や支援関係機関のネットワークを構築した。            ○相談件数 2,222件（窓口686件、電話1,536件）            ○インテーク・アセスメントシート作成件数 29件            ○プラン作成 16件（新規11件、再プラン5件）            ○支援会議（ふくし総合支援会議）75回            ○重層的支援会議 31回            ○多分野協働プラットフォーム会議 1回            ○断らない相談窓口体制に係る職員研修 8回</p> <p>2. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業            複雑・複合化した課題を抱えながらも、必要な支援が届いていない人の把握及びニーズ把握、訪問等による継続的な関わりを行った。            ○アウトリーチから支援につながった件数 21件            ○プラン作成 27件（新規15件、再プラン12件）            ○地域の実情アンケート 760件            （民生委員287人、サービス事業所64か所、小中学校32校409クラス）            ○マッピング調査 7か所            ○アウトリーチ型ふくしなんでも相談所 14か所            ○ひきこもり講演会 1回</p> <p>3. 参加支援事業            社会参加が難しい人に、地域の社会資源等を活用し、社会とのつながりづくりを支援した。            ○プラン作成 13件（新規8件、再プラン5件）            ○ひきこもり家族の交流会 6回（45人参加）            ○ひきこもりサポーター養成講座 1回13人修了            ○フリースペース開催 3か所135回（延581人）            ○中間的就労事業利用数 新規11人（延565人）</p> <p>4. ボランティア活動推進事業            多様な主体によるボランティア活動を支援し、多くの住民が主体的に地域の様々な活動に参加し、互助によるまちづくりを推進した。            ○地域の担い手の養成            ボランティア入門講座等の開催 9講座            ○地域とボランティアのマッチング            マッチング件数 799件            ○福祉教育            福祉体験学習、福祉協力校福祉教育の推進</p> <p>5. 福祉相談システム（LINE活用）事業            「LINE」を用いて相談できるシステムを構築し、相談窓口体制の充実を図った。            ○相談件数43件（高齢・介護1件、障がい13件、その他福祉29件）</p> <p>【当初予算における内容、計画】            当初予算額 95,775千円            ・重層的支援体制整備事業の実施            ・ボランティア活動の推進            ・LINEによる相談体制の構築</p>	145

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度 97,420千円 令和3年度 95,658千円</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 重層的支援体制整備事業に基づき、高齢・障がい・子ども・生活困窮などの分野を問わない包括的な支援体制の構築を進めるとともに、8050問題、ヤングケアラー等の複数の課題を抱える世帯等への支援を円滑に行うための関係機関や地域のネットワーク構築を更に推進していく必要がある。</p>	
3. 地域共助の基盤づくり事業	8,000	年齢や性別、その置かれている生活環境等に関わらず、身近な地域において、誰もが安心して生活を維持できるよう、地域住民相互の支え合いによる共助の取組みの活性化を図りつつ、生活困窮者を始め、支援が必要な人と地域とのつながりを適切に確保するとともに、これらを地域全体で支える基盤を構築した。	145
4. 生活支援体制整備事業	41,953	地域課題を地域自らが解決する方法を話し合う場の構築及び地域活動の創出等を目的に生活支援コーディネーターを配置し、地域活動の担い手の創出等のため生活支援サポーター養成講座及びスキルアップ研修並びにくらし応援サービス従事者養成研修を開催した。	145
5. 地域介護予防活動支援事業	636	地域の特性や高齢者のニーズに応じた集いの場を開所し、当該集いの場への参加、買物、通院等のための移送を行う団体に対する支援を行った。また、介護予防に関する講座、運動に特化した通いの場の創出支援、医療専門職の介入による介護予防活動、通いの場の運営支援を行った。	145
6. 地域包括支援センター運営事業	170,080	市民の保健・医療の向上および福祉の増進を包括的に支援する包括的支援事業等を地域において一体的に実施する役割を担う地域包括支援センターを6か所設置し、委託運用することにより地域包括ケアシステムの深化、推進を図った。	145
7. 地域包括ケア事業	9,147	高齢者が地域において尊厳のある生活を継続できるように、高齢者の総合相談および虐待・権利擁護への対応・支援、啓発を行い、地域包括ケアシステムの深化・推進を図った。	145
8. 地域福祉一般経費	2,507	第4期伊勢市地域福祉計画・伊勢市地域福祉活動計画の策定にあたり、住民の意見を反映できるようにアンケート調査を実施した。	145

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>9. <u>子どもの学習支援等事業</u></p>	<p>8,847</p>	<p>生活困窮世帯の子ども（小学4～6年生及び中学1～3年生）を対象に居場所を兼ねて学習機会の充実を図り、個別指導型の学習支援を実施することにより、子どもの基礎学力・学習能力の底上げを図った。</p> <p>○子どもの学習支援事業「プラス」の実施        申込者数 小学生 51人                          (八日市場18人、小俣17人、御菌16人)                          中学生 75人                          (八日市場44人、小俣14人、御菌17人)        開催回数 123回                          (八日市場41回、小俣41回、御菌41回)        延参加数 4,070人                          (八日市場2,015人、小俣1,032人、御菌1,023人)</p> <p>○夏休み子どもの学習支援事業の実施        プラスに加え、夏休み期間中に週2回追加して実施        開催回数 24回 (中部圏域8回、小俣8回、御菌8回)        延参加数 315人                          (中部圏域131人、小俣88人、御菌96人)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により8月8日、9日は開催中止。</p> <p>【当初予算における内容、計画】        当初予算額 7,781,000円        ・小学生・中学生を対象とした学習支援の実施</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】        令和2年度 7,637千円        開催回数 63回 (八日市場31回、小俣32回)        延参加数 1,762人 (八日市場1,272人、小俣490人)                          ※新型コロナウイルス感染症の影響により4月から6月は開催中止。        令和3年度 7,773千円        開催回数 90回                          (八日市場35回、小俣34回、御菌21回)        延参加数 2,949人                          (八日市場1,895人、小俣870人、御菌184人)                          ※御菌は令和3年7月スタート                          ※新型コロナウイルス感染症の影響により8月18日から9月は開催中止。</p> <p>【事業を取り巻く状況等】        子どもの貧困対策として、生活困窮世帯の子どもの学習支援の充実が求められており、取り組みを継続していく必要がある。        なお、コロナ禍が長期化する中、世帯における生活環境が変化し、夏休み期間中における生活リズムの変化や学習に対する意欲低下が懸念されたことから、令和4年度途中から新たに「夏休み子どもの学習支援事業」を開始した。次年度以降も継続することで、居場所の確保及び学習意欲の向上を図る。</p>	<p>145</p>

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 4,570,017 千円  
 決算額 4,532,818 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
211,229	336,341		58,016	3,927,232

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設等整備事業補助金	15,400	介護保険事業に基づき、利用者の安心・安全を確保するため市内に所在する介護施設等が行う防災改修に係る経費に対して補助を行った。 ・認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金額 15,400千円 (特別養護老人ホーム第2双寿園)	147
2. 介護未経験者等研修支援事業	350	介護に従事する人材の確保及び介護職員の資質の向上を図るため、介護職員初任者研修等に係る費用の一部を助成した。 初任者研修受講者：7人	147
3. 老人福祉施設等感染防止対策事業補助金	3,500	感染症予防の為、2方向から出入りできる家族面会室の整備に係る経費に対して補助を行った。 ・介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業3,500千円 (小規模多機能ホームみそのむら)	149
4. 介護サービス等事業所安定運営支援事業	107,002	原油価格や物価高騰の影響を受けながらも、サービスの安定的な提供を継続している介護サービス事業所に対し、その費用の一部を支援した。 交付決定延べ事業所数 469事業所	149

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高齢者リフト付タクシー利用支援事業	37,292	65歳以上の寝たきり及び歩行が全介助状態である下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な人に対し、移送用車両(リフト付タクシー等)の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。 ・利用枚数 36,779枚	145
2. 高齢者電動アシスト自転車購入補助事業	6,953	日常生活における高齢者の移動手段を確保することにより、地域の活性化及び社会参加の促進及び心身の健康増進、介護予防の促進を図るため、電動アシスト自転車の購入費用の一部補助を行った。 ・交付人数 231人	145
3. 緊急通報体制等整備事業	3,789	虚弱な一人暮らし高齢者や重度身体障がい者に対し、緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	145

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 高齢者バス運賃助成事業	20,049	75歳以上の高齢者を対象に、市内で有効の寿バス乗車券（100円券40枚または1回乗りきり乗車券12枚）（※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人及び第1種の手帳をお持ちの人の介護者で希望の人は、「50円券×80枚」も選択可）を交付し、バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして社会参加の促進及び心身の健康の保持増進を図った。  寿バス乗車券 交付者数 13,469人 《内訳》 100円券：11,133人 50円券：314人 乗りきり券：2,022人	145
5. 老人クラブ補助金	9,153	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区単位老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。	145
6. 敬老祝品贈呈事業	3,568	市内に在住する年度末時点で満88歳・100歳・最高齢の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。（最高齢者への贈呈は生涯に1回） 88歳：5,000円相当 931人 100歳：10,000円相当 58人 最高齢：15,000円相当（今年度対象者なし）	147
7. 救急医療情報キット配備事業	362	一人暮らし高齢者等の要援護者に対し救急時の対策として、要援護者に係る情報を救急隊員や病院関係者へ迅速・的確に伝えるため、救急医療情報キットを配備した。 配備件数 3,332件	147
8. 老人ホーム入所措置事業	138,796	65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な人を、養護老人ホームへ入所措置した。 ・入所施設数 4施設 ・年度当初入所者数 75名 ・年度中入所者数 6名 ・年度中退所者 10名 ・年度末入所者数 71名	147

## 福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. みなとふれあいセンター管理経費	14,030	みなとふれあいセンターについて指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、設備等のメンテナンスを行い、老朽化による施設の不具合を解消した。 【主な施設改修の状況】 ・みなとふれあいセンターエレベーターピット内防水改修工事 240,900円 ・みなとふれあいセンター機械室排水設備設置工事 170,500円	147

(款)3 民生費



福祉総合支援センター

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>高齢者外出支援モデル事業</u></p>	<p>64</p>	<p>以下の対象地区に居住する後期高齢者及び障がいのある人で、自家用車等を使用した日中の外出が困難な人を対象として、協力を得られた市内5事業者によるタクシー運送により外出支援を行った。</p> <p>○対象地区</p> <p>①早修地区 常磐西世古町内会、浦口3丁目地区</p> <p>②修道地区 勢田町船江山自治会、自由ヶ丘自治会、桜木町自治会、桜が丘自治会地区</p> <p>○実施期間 令和4年6月1日～令和4年10月31日(5ヶ月間)</p> <p>○実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内を出発又は到着地とするタクシー運送料金の一部助成</li> <li>・1回の乗車につき400円</li> </ul> <p>○実績</p> <p>①早修地区 登録者数：8名 実利用者数：5名 延べ利用回数：17回 補助額：6,800円</p> <p>②修道地区 登録者数：32名 実利用者数：15名 延べ利用回数：43回 補助額：17,200円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 市内を出発又は到着地とするタクシー運送を行うことで、利用者自身の社会参加の促進、心身の健康の増進、介護予防の推進及び地域の活性化を図る。</p> <p>○当初予算額 4,860千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】令和3年度からの新規事業 令和3年度</p> <p>○実績</p> <p>①早修地区 登録者数：8名 実利用者数：4名 延べ利用回数：11回 補助額：5,330円</p> <p>②修道地区 登録者数：5名 実利用者数：0名 延べ利用回数：0回 補助額：0円</p> <p>○内容 自宅からモデル地域周辺のバス停または施設等へ予約によるタクシー運送(相乗り不可・家族等同乗可)を行うことで、地域特性により既存の公共交通網の利用が難しい後期高齢者にとって、自身での外出機会を確保する上で必要とされる支援方法を検証した。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 自力での外出は難しいが、車いす等による介護は必要ではない、虚弱な高齢者や障がいのある人が現存する身体能力を維持し、介護予防を図る上で、日常の外出機会の確保が求められている。</p>	<p>145</p>

(款)3 民生費

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,219,949 千円  
 決算額 1,186,070 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
196,995	152,673	11,100	135,817	689,485

福祉総合支援センター

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 子育て支援ショートステイ事業	182	保護者の疾病等により家庭で児童の養育が一時的に困難となった場合や経済的理由等により緊急一時的に母子の保護を必要とする場合に、委託施設において養育又は保護を行った。 延べ利用者数 11人 延べ利用日数 35日	149
2. 養育支援訪問事業	2,397	不適切な養育状態にあるなど虐待のリスクを抱え、特に支援が必要な家庭を子育て経験者等が訪問し、育児・家事支援を通じて、児童の養育環境の維持・改善及び保護者の養育力の向上を支援した。 訪問実家庭数 10戸 延べ訪問件数 200件	149
3. こども家庭相談センター事業	12,877	保健師及び家庭児童相談員、女性相談員、臨床心理士(非常勤)を配置し、児童虐待通告や家庭児童相談、DV(配偶者等による暴力)等の女性相談に対する助言指導等を行った。 ・児童相談(児童虐待や家庭養育、不登校等) 延べ2,225件(実人数877人、うち新規466人) ・女性相談(DVや離婚問題等) 延べ 328件(実人数113人、うち新規 66人)	151
4. 社会的養護自立支援事業	383	施設入所又は里親委託など社会的養護が必要な児童が、社会で自立できるよう支援するとともに、里親制度の普及啓発により子ども家庭福祉の増進を図った。 児童養護施設退所児童等支援給付金支給人数 1人	151
5. 0歳児見守り支援事業	1,337	令和4年度に生まれた子が生後6か月になる時期に家庭訪問を実施し、保護者と赤ちゃんの見守りをする事で、支援が必要だと思われる家庭について関係機関で情報共有しサービスにつなぐことができ、虐待の未然防止のための保護者支援や啓発の充実を行った。 <b>【当初予算における内容、計画】</b> 当初予算額 1,866,000円 ・生後生後6か月になる子どものいる家庭を対象とした全戸訪問 対象者数 359件 訪問実施者数 355件 転出 4件 <b>【過去2ヵ年度の実績】</b> 令和4年度からの新規事業 <b>【事業を取りまく状況等】</b> リスク家庭の早期発見のため0歳児訪問を開始したが、地域から孤立しがちな未就園児の把握も必要であり、今後取り組んでいく必要がある。	151

## 子育て応援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病児・病後児保育事業	14,670	児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで預かることにより、保護者の子育てと就労の両立支援を行った。 延べ利用人数 388人	149
2. ファミリーサポートセンター事業	10,156	会員間の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を図るため一時的に子どもを預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営を行った。 年度末会員数 246人 活動件数 1,023件	149
3. <u>学習サポート事業</u>	18,180	低所得の子育て世帯の子どもを対象にした個別指導形式による学習支援(無料学習塾)の実施を委託し、学習習慣の定着と学習意欲の向上を図り、貧困の連鎖の防止に努めた。 ・委託先 公益社団法人全国学習塾協会 ・開催回数 4会場 延べ132回 ・受講者数 小学生 43人 中学生 49人 ・中学3年生受講者の高校進学率 100% 就学援助世帯等の中学生を対象に、経済的困窮による教育格差を縮小し親から子どもへの貧困の連鎖を断ち切るため、学習塾利用にかかる費用を助成した。 ・交付件数 ①非課税・生活保護世帯 60件 ②就学援助世帯 97件 ・対象児童 1年生 46人、2年生 50人、3年生 61人 ・使用率 89.08% (① 91.26%、② 85.57%)  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 23,873,000円 ・集合型学習支援(無料学習塾) ・学習塾利用料助成  【過去2か年度の実績】 集合型学習支援(無料学習塾) 令和2年度 7,764,603円 ・委託先 公益社団法人全国学習塾協会 ・開催回数 4会場 延べ120回 ・受講者数 小学生 35人、中学生 30人 令和3年度 10,952,700円 ・委託先 公益社団法人全国学習塾協会 ・開催回数 4会場 延べ116回(16回休講) ・受講者数 小学生 47人、中学生 55人、高校生 12人 学習塾利用料助成は令和4年度からの新規事業  【事業を取りまく状況等】 子どもの貧困対策としての学習支援は、経済的格差の世代間連鎖の防止に有効である。他の学習支援や子どもの居場所づくりとの調整等も行いつつ、内容の見直し・充実を図る必要がある。	149
4. 親子3人乗り自転車購入補助事業	299	多子世帯の育児負担及び子育て世代への自転車購入に要する経費負担を軽減するため、市内に住所を有する未就学児2名を養育する者を対象に、伊勢市内の店舗で購入した新品の親子3人乗り自転車の購入費用の一部を補助した。 世帯数 10世帯	149

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 放課後児童対策事業	374,771	保護者が仕事などにより昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 放課後児童クラブ数 35箇所	151
6. 子育て支援施設等 感染防止対策事業	14,192	新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、市内の子育て支援施設等が購入する衛生用品等の消耗品及び備品の購入の実施又は経費の補助及び感染症対策にかかる人件費等に要する経費を補助し、各施設の負担軽減を図った。 施設数 40箇所	151
7. 放課後児童支援員 等処遇改善臨時特 例事業	6,735	新型コロナウイルス感染症の最前線で働く放課後児童支援員や補助員等の処遇の改善のため、収入を引き上げるための措置を講じた施設へ補助を行った。 施設数 33施設	151
8. 子ども支援施設等 安定運営支援事業	9,000	原油価格や物価高騰の影響を受けながらも、サービスの安定的な提供を継続している施設を支援することにより、施設等の運営に対する物価高騰等の影響を軽減するとともに、利用者負担の増加を防ぐため、子ども支援施設等へ支援金を交付した。 施設数 31箇所	151

## 保 育 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担 金	2,000	へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減し、保育所送迎に対する地域格差を解消するとともに保育所経営の安定化を図った。	149
2. スマート保育（I C T）事業	5,410	保護者の負担軽減や利便性の向上と、保育士の業務負担軽減や効率化を図ることを目的に、公立保育所等への保育業務支援システムの導入と民間保育施設への補助金交付を行った。 令和4年度は、利便性の向上及びさらなる業務の効率化のため、システム改修により帳票検索機能を追加した。また、災害等の緊急時に園外から情報発信が行えるよう緊急時メール配信機能を追加した。  ・伊勢市スマート保育（保育業務支援システム）機能追加業務委託 990,000円 ・伊勢市スマート保育（保育業務支援システム）緊急時メール配信機能追加業務委託 396,000円 ・民間保育施設ICT化推進補助金 1施設 1,000,000円	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 保育士確保事業	48,574	<p>保育士確保に向けて、民間保育所等とともに、保育士復職・就職支援セミナーおよび保育のお仕事相談会を実施した。</p> <p>保育士の業務負担を軽減し、離職を防ぐため、民間保育所等に対して、保育にかかる周辺業務を行う職員や短時間勤務の保育補助者の雇用にかかる人件費を補助した。</p> <p>保育体制強化事業補助金 13施設 保育補助者雇上強化事業補助金 17施設</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 44,179,000円 ・相談会等消耗品費 ・保育士養成校訪問にかかる旅費 ・保育人材確保事業補助金</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度 保育体制強化事業補助金 10施設 保育補助者雇上強化事業補助金 11施設 令和3年度 保育体制強化事業補助金 12施設 保育補助者雇上強化事業補助金 16施設</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 低年齢児の保育や特別支援の必要な児童の保育など多様な保育のニーズが増加しており、対応するための保育士の確保が課題となっている。民間と共に進めていくため、保育士養成校や潜在保育士に向けて伊勢市の保育のPRや保育現場の体験などを実施するとともに、保育士の働く環境の改善に努めている。</p>	149
4. 医療的ケア児童保育支援事業	409	<p>医療を要する状態にある障がい児が入所している保育所に、加配保育士、看護師等を配置した。</p> <p>対象児童：1人</p>	149
5. 保育環境改善事業	5,861	<p>保育所等の入所児童の使用済み紙おむつ処分について、感染症予防や衛生環境の改善のため、収集・運搬業務委託を行った。</p> <p>公立保育所等 10施設、民間保育所等 21施設 5,860,839円</p>	149
6. 民間保育施設特別保育事業	6,388	<p>○延長保育促進事業補助金 短時間認定児童および標準時間認定児童に対し通常の保育時間を超えて長時間保育を実施している民間保育所等に対しその経費を補助した。 民間保育所等 10施設 3,708,967円</p> <p>○一時預かり事業補助金 保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のための一時的な保育を行う民間保育所等に対しその経費を補助した。 民間保育所等 1施設 2,679,000円</p>	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 民間保育施設運営 補助事業	90,747	<p>○一般保育事業補助金 公立保育施設と同水準の保育内容を確保するとともに、提供する保育の資質向上を図り、子どもを安心して育てられる環境を整備し、安定した運営を維持するため、運営に係る経費の一部を補助した。 民間保育所等 29施設 87,705,000円</p> <p>○地域活動事業補助金 保育所等を基点とした地域住民の主體的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所等に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所等 16施設 3,041,529円</p>	151
8. 民間保育施設特別 支援保育等充実事 業	65,783	<p>○特別支援保育事業 保育所等での集団保育が可能で、かつ特別な支援を必要とする児童を受け入れている民間保育所等で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所等 14施設 46,221,000円 対象児童 (中度) 31人 (重度) 7人</p> <p>○アレルギー等対応特別給食提供事業 食物アレルギー等があり保育所等における給食に特別な配慮が必要な児童への安全な給食提供のため、民間保育所等における調理員の加配、代替食材、研修等にかかる費用を補助した。 民間保育所等 21施設 19,562,000円 対象児童数 134人</p>	151
9. 民間保育施設低年 齢児保育充実事業	68,640	<p>民間保育所等の低年齢児(0～2歳児)の年度途中入所に対応するため、保育士の配置に必要な人件費を補助した。</p> <p>○伊勢市低年齢児保育充実事業補助金 特別保育事業を実施し、0・1・2歳児の受け入れのため保育士の配置に必要な経費を補助した。 9施設 8,553,600円</p> <p>○伊勢市低年齢児待機児童対策事業補助金 待機児童の発生を防ぐため、満3歳児に達していない児童の受け入れのため保育士の配置に必要な経費を補助した。 26施設 60,086,497円</p>	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. 民間保育所等施設 整備事業	41,093	<p>保育所等施設の機能の維持及び向上を図るため、民間保育所等が行う施設整備事業に対し補助金を交付した。</p> <p>○民間保育所等施設整備事業補助金 民間保育所等が行う大規模修繕等の工事の施工に要する費用に対し補助金を交付した。 民間保育所等 3施設 (4件) 36,466,350円</p> <p>○保育環境向上等事業補助金 民間保育所等が行う老朽化した備品や設備の購入・更新及び改修等保育環境の向上に要する費用に対し補助金を交付した。 民間保育所等 5施設 4,626,730円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 117,661,000円 ・民間保育所等施設整備事業補助金 3施設 (4件) ・保育環境向上等事業補助金 13施設</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度 民間保育所等施設整備事業補助金 2施設 令和3年度 民間保育所等施設整備事業補助金 3施設 (4件) 小規模保育事業開設準備事業補助金 1施設</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 建設時からの経過に伴う建物や設備の老朽化等に対応するため、民間保育所等が行う大規模修繕等の工事の施工に要する費用のほか、老朽化した備品や設備の購入・更新及び改修等保育環境の向上に要する費用に対し補助金を交付している。また、就学前の教育・保育施設に関する施設整備計画により民間移管したいせの杜保育園について、移管時の譲渡契約に基づき令和4年度から5年度で建物の改築工事の実施を予定している。</p>	151
11. 保育所等感染防止 対策事業	17,828	<p>保育所等において、新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要となる衛生用品や備品等の購入に係る経費を支援することで、衛生管理の徹底と感染防止対策の継続的な環境整備を行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症防止対策事業 公立保育所等 10施設 5,034,761円 民間保育所等 28施設 12,793,000円</p>	151
12. 子育て支援施設等 感染防止対策事業	5,787	<p>子育て支援施設等において、新型コロナウイルス感染症に対する強い体制を整え、感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要となる衛生用品や備品等の購入に係る経費を支援することで、衛生管理の徹底と感染防止対策の継続的な環境整備を行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症防止対策事業 子育て支援センター 6施設 1,813,969円 一時預かり事業 (公立) 4施設 1,215,877円 (私立) 1施設 300,000円 延長保育事業 (私立) 11施設 2,457,000円</p>	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
13. 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	43,294	民間の特定教育・保育施設において、新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く保育士・幼稚園教諭等の賃金の3%程度の引き上げを実施する費用を補助した。(令和4年9月末まで) 民間の特定教育・保育施設 29施設 42,793,200円	151
14. 民間保育施設安定運営支援事業	13,712	原油価格や物価高騰の影響を受けながらも、保育の安定的な運営を継続している私立の保育所、認定こども園等を支援することにより、原油価格や物価高騰によるサービスの提供に対する影響を軽減するとともに、利用者負担の増加を防ぐため、支援金を交付した。 私立保育所等 29施設 13,712,400円	151
15. 保育所等食材費負担軽減事業	11,952	物価高騰等の影響により食材価格が高騰する中で、保育所、認定こども園等の給食に係る食材費の一部を市が支援をすることにより、給食費への価格転嫁を防ぎ、保護者の経済的負担を軽減するとともに、給食の質の低下を防止するため、支援金交付等を行った。 公立保育所等(食材費の補填) 10施設 私立保育所等(支援金交付) 29施設 8,726,400円	151

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 4,496,590 千円  
決算額 4,472,674 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,527,300	873,323		110,005	962,046

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	110,450	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、その実情を踏まえた生活を支援する観点から、低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給した。 ※児童一人につき5万円 ・ひとり親世帯 受給者数 879人 支給児童数 1,331人 ・その他世帯 受給者数 494人 支給児童数 878人	153
2. 子育て世帯臨時特別給付金支給事業	5,500	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯の生活を支援するため、児童手当を受給する世帯及び高校生世代の人を養育する世帯へ、臨時特別給付金を支給した。※児童一人につき10万円 ・令和3年度繰越分 受給者数 53人 支給児童数 55人	153

子育て応援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童入所施設措置事業	3,571	児童の福祉に欠ける母子及び経済的に困窮する妊産婦の入所措置を行い、母子の自立促進のための生活支援又は妊産婦の助産の援助を図った。 母子生活支援施設 1世帯2人 助産施設 1件	153

(款)3 民生費



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 児童手当支給事業	1,584,493	子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学3年生までの子どもを養育する保護者に対し児童手当を支給した。 受給者数 7,159人 対象児童数 12,059人	153

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 454,613 千円  
決算額 450,667 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
156,759				293,908

子育て応援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ひとり親家庭支援事業	20,419	ひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供・助言・指導を行い、就労に資する主体的な能力開発の取組を支援して、ひとり親家庭の自立の促進を図った。 ひとり親・寡婦相談件数 185件 高等職業訓練促進給付金 18件 自立支援教育訓練給付金 3件	153
2. <u>ひとり親家庭養育費確保サポート事業</u>	153	ひとり親家庭の子どもの健やかな成長の一助となる養育費の確実な受け取りを支援するため、その取り決めに係る公正証書等の作成や、確実な受け取りのための保証契約にかかる費用を補助した。 債務名義取得事業補助 6件 138,000円  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 818,000円 ・債務名義取得事業 ・養育費保証事業  【過去2か年度の実績】 令和4年度からの新規事業  【事業を取りまく状況等】 ひとり親家庭の子どもの健全な成長のため、養育費が確実に授受されるよう支援する必要がある。	153
3. 児童扶養手当支給事業	430,095	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、手当を支給した。 受給資格者 972人	153

(款)3 民生費

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,991,237 千円  
 決算額 1,923,542 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
36,643	27,514	450,000	142,554	1,266,831

保 育 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市立保育所特別保育事業	31,752	○延長保育 11時間を超えて長時間の保育を実施した。 保育所きらら館 利用児童数 6人 ○休日保育 日曜、祝日等の保護者の就労等により、家庭での保育が困難な場合に、子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 保育所きらら館 延べ 363人 ○一時保育 保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所に入所していない児童の一時的な保育を行った。 公立保育所等 4施設 (保育所きらら館、小俣子育て支援センター、しごうこども園、御菌子育て支援センター) 延べ利用児童数 1日利用 2,324人 半日利用 1,023人 ○地域活動 保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るため事業を実施した。 公立保育所 7施設	155
2. 特別支援保育事業	123,567	保育所等での集団保育が可能で、かつ特別な支援を必要とする児童を受け入れ、健全な児童とともに保育することにより健全育成を図るため、市立保育所に保育士及び保育補助員を加配した。 公立保育所等 10施設 対象児童 (中度) 52人 (重度) 17人	155
3. 地域子育て支援センター事業	83,470	市内6か所の子育て支援センターで子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 令和3年5月からは、子育て支援センターから遠い地域を中心に、地域の施設を利用して定期的に移動子育て支援センターを開設した。 ○子育て支援センター 明倫子育て支援センター、子育て支援センターきらら館、しごう子育て支援センター、二見子育て支援センター、小俣子育て支援センター、御菌子育て支援センター 利用者数 35,922人 ○移動子育て支援センター 宮本地区コミュニティーセンター、城田地区コミュニティーセンター 利用者数 235人	155

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 市立保育所施設整備事業	31,989	<p>保護者が安心して児童を預けられるよう、施設整備を行い、安全かつ快適な環境の整備を図った。</p> <p>○主な整備  御菌第二保育園空調改修工事（令和3年度から繰越）  保育所ゆりかご園トイレ改修工事  御菌第二保育園トイレ改修工事  御菌第一保育園園舎裏駐車場舗装ほか改修工事  御菌第一保育園厨房排気フード更新工事  保育所ゆりかご園トップライト等改修工事</p>	155
5. <u>二見地区統合園整備事業</u>	457,939	<p>伊勢市の就学前の子どもの教育・保育に関する施設整備計画において、二見地区内の3保育所（二見浦保育園・五峰保育園・高城保育園）は高台へ統合移転をすることとしている。令和4年度においては、令和3年度に契約締結した建設工事及び建設工事監理業務委託を完了した。また、令和5年4月1日の開園に向けて、園内整備のため物品購入や業務委託を実施した。</p> <p>○令和4年度  ・建設工事 419,372,800円  ・建設工事監理業務委託 9,277,400円  （令和3年度からの繰越分を含む）</p> <p>○三重県産材を使用した物品等の購入  みえ森と緑の県民税を活用し、園児の森林環境教育・木育を推進するため、木育家具プロジェクトとして、伊勢の家具職人・伊勢工業高校の生徒と共同で三重県産材を使用した家具を製作した。また、三重県産材を使用した保育備品等を購入した。  ・木育家具プロジェクト負担金 1,894,200円  ・保育備品等購入 8,690,000円</p> <p>○開園準備等に係る物品購入・業務委託等  ・消耗品・備品ほか 18,704,724円</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>  当初予算額 458,791,000円  ・建設工事  ・建設工事監理業務委託  ・物品購入</p> <p><b>【過去2ヵ年度の実績】</b>  令和2年度  ①用地取得 72,074,642円  ②二見地区統合園（仮称）建設工事設計業務委託 25,751,000円  ③建築確認等手数料 364,000円</p> <p>令和3年度  建設工事 239,910,000円</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>  令和5年4月に二見地区小中学校とともに津波浸水区域外へ移転した。</p>	155

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 6. こども発達支援費

(単位 千円)

予算現額 172,336 千円  
 決算額 169,482 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			83,254	86,228

こども発達支援室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. おおぞら児童園運営事業	19,631	障がいのある児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、保育所等訪問支援、相談等を行った。 ・児童発達支援 発達療育：延べ267人、感覚運動あそび：延べ2,593人 作業療法：延べ353人、言語療法：延べ819人 心理療法：延べ45人、機能回復訓練：延べ8人 ・放課後等デイサービス 小学部療育：延べ270人、作業療法：延べ123人 言語療法：延べ182人 心理療法：延べ1人 ・保育所等訪問支援 延べ6人 ・療育や就学等についての相談：延べ193件	157
2. おおぞら児童園管理事業	3,743	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	157
3. 障害児相談支援事業	18,208	障がい児が地域において自立した日常生活又は社会生活を送り、適切な福祉サービス等が提供されるよう障害児支援利用計画の作成等を行った。 利用計画作成延べ件数 505件 モニタリング延べ件数 1,091件	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>4. こども発達支援事業</p>	<p>6,360</p>	<p>みえ発達障がい支援システムアドバイザーが中心となり、子どもの発達や育ちに関する相談に対し支援を行い、必要なサービスや関連機関へのコーディネートを行った。</p> <p>発達障がい児の早期発見・早期支援に向け、市内の保育所（園）・幼稚園・認定こども園を巡回して、保護者や保育士・教員等からの相談を受け、助言を行うとともに、必要に応じて、療育や専門機関につなげ連携を図った。</p> <p>5歳児発達支援事業を市内全体で実施し、発達支援体制の充実を図った。</p> <p>途切れのない発達支援や発達障がいについての理解を深めるための講演会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援相談件数 令和4年度 延べ 970件</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 発達支援相談業務、5歳児発達支援事業の市内全体実施 発達障がいに関する講演会の開催</p> <p>【過去2か年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援相談件数 令和3年度 延べ 718件 令和2年度 延べ 870件</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいに関する相談内容の多様化など、相談体制の強化が求められる。</li> <li>・子どもの発達支援については、保健・福祉・教育が連携したサポート体制の強化や、相談のワンストップ化が社会ニーズとしても求められている。</li> </ul>	<p>157</p>

(款) 3. 民生費 (項) 4. 生活保護費 (目) 2. 扶助費

(単位 千円)

予算現額 2,040,000 千円  
 決算額 1,890,730 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,477,226	47,036			366,468

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 各種扶助事業	1,890,730	<p>健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。</p> <p>令和4年度実績</p> <p>被保護世帯数 881世帯                      被保護人員 1,020人                      被保護率 8.4‰</p> <p>種別 円</p> <p>生活扶助 455,975,534                      住宅扶助 239,326,339                      教育扶助 2,896,412                      介護扶助 85,723,498                      医療扶助 1,060,562,735                      出産扶助 67,226                      生業扶助 2,591,213                      葬祭扶助 2,238,424                      保護施設事務費 40,583,499                      進学準備給付金 700,000                      就労自立給付金 64,792                      合計 1,890,729,672</p> <p>令和3年度実績</p> <p>被保護世帯数 899世帯                      被保護人員 1,042人                      被保護率 8.5‰</p> <p>種別 円</p> <p>生活扶助 473,885,517                      住宅扶助 238,461,310                      教育扶助 2,849,244                      介護扶助 86,212,138                      医療扶助 1,237,738,937                      生業扶助 2,224,207                      葬祭扶助 1,479,953                      保護施設事務費 39,723,551                      進学準備給付金 900,000                      就労自立給付金 85,258                      合計 2,083,560,115</p>	頁 157

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 76,002 千円  
 決算額 74,732 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	37	14,707	5,800	54,188

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	966	伊勢市人権施策推進協議会と協力し、人権尊重啓発ポスター・人権尊重啓発標語の募集、人権セミナー開催等の各種事業の展開を通じて、市民の人権意識の高揚に努めた。	159
2. 集会所管理運営事業	7,732	公共施設マネジメントの計画に沿って、旧大久保地区集会所を解体し、跡地は売却しやすいよう整備を行った。	159
3. 市民館講座開催事業	88	人権問題に関する理解と認識を深めるため、市民館講座を開催し、市民に学習の場と気づきの機会を提供した。	159
4. 市民館施設維持管理経費	5,213	黒瀬市民館の空調機器が経年劣化により故障したため、取替工事を行った。	159

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 2. 人権啓発推進費

(単位 千円)

予算現額 4,991 千円  
 決算額 3,997 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	208			3,789

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権啓発推進事業	1,410	人権啓発パンフレット・啓発物品を作成し、「差別をなくす強調月間」及び「人権週間」を中心に、企業訪問、街頭啓発などで配布した。第8回目となった人権映画祭は、過去最多の12作品を上映。作品内容は、平和への願い、性の多様性、多文化共生、インターネットと人権など、様々な人権的視点から捉えた作品を視聴することで、新たな気づきを感じる機会となった。	159

(款)3 民生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 非核平和推進事業	696	非核・平和第43回空襲展を新型コロナウイルスの感染拡大の防止の観点から規模を縮小し実施した。平和を祈念した折鶴用に「非核平和宣言都市」名入り折紙を作成し、市内中学の「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業において献納した。日本非核宣言自治体協議会のポスターを活用した原爆被災ポスター展を実施し、広く市民へ非核・平和の周知を行った。9月の国際平和デーには、正午に「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。	159
3. 講演会開催事業	865	「伊勢市人権講演会」は、開会行事として、市内小中学生各1名による人権作文の朗読、人権尊重啓発ポスター・標語の表彰式を行った。その後の講演会では、大相撲で活躍した舞の海秀平さんにお越しいただき、「スポーツと人権～可能性への挑戦」と題して、お話しいただいた。現役時代の苦悩をもとに、親方との絆、親方の優しさと愛の深さについて、ユーモアを交えたお話は、楽しみながら元気や勇気をもたらえる講演会となった。	159
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	841	市内21の各協議会に委託して、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。	159
5. 人権啓発講座開催事業	185	小中PTA会員と一般からの受講者を募集し、4回の講座を開催した。4回の講座内容は子どもの人権、障がい者の人権、性的少数者の人権、インターネット人権、くらしと人権とし、人権問題を広く学習する機会を提供した。延べ102名の参加があり、人権啓発に努めた。	159



(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 544,456 千円  
 決算額 465,188 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,652	31,229	1,100	4,967	414,240

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	49,054	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 533千円 運営経費 36,627千円 建設経費 11,894千円	161
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	175,632	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,503千円 運営経費 172,124千円 建設経費 4,739千円 公債費 5,744千円	161
3. 生活排水対策啓発事業	257	伊勢市環境会議と連携し、各家庭における生活排水対策の啓発活動等に取り組んだ。 実施事業：いきもの調査、水質調査等	161
4. 合併処理浄化槽整備事業補助金	48,503	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 予定処理区域外 147基 41,823千円(予定処理区域内低地等含む) 予定処理区域内 36基 4,492千円 共同汚水処理施設の適正な維持管理を推進するため、補助金交付要綱に基づき、修繕工事を実施した管理団体に対し補助を行った。 補助件数 3件 2,188千円	161
5. 環境フェア等開催事業	530	環境問題に関する市民意識の向上、市の環境施策への理解と協力を得ることを目的に、環境フェアを開催した。 開催日 令和4年10月10日(月・祝) 開催場所 三重県営サンアリーナ	161
6. 環境教育推進事業	300	持続可能な社会づくりに貢献する人材育成のため、事業者や大学と連携し、環境教育の出前講座等を実施した。 小学校：延べ11校、29クラス	161

(款)4 衛生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 犬猫不妊去勢手術 推進事業	3,052	<p>犬や猫の適正な飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。また、令和4年6月から、伊勢市が市内の動物病院と委託契約を締結し、TNR活動を行った。</p> <p>不妊去勢手術費用の助成 2,471,500円          助成金交付件数 犬240頭、猫541匹          TNR活動(新規) 560,000円          実施回数 36回、猫56匹</p> <p>【当初の予算における内容、計画】          当初予算額 3,130,000円          ・不妊去勢手術費用の助成              助成金 犬(オス) 3,000円                    犬(メス) 4,000円                    猫(オス) 2,500円                    猫(メス) 3,500円          ・TNR活動 猫50匹</p> <p>【過去2か年度の実績】          令和3年度 2,563,500円          助成金交付件数 犬222頭、猫583匹          令和2年度 2,590,000円          助成金交付件数 犬221頭、猫594匹</p> <p>【事業を取りまく状況等】          犬猫の不妊去勢手術の助成を行うことで捨て犬・捨て猫等の発生を抑制するとともに、TNR活動により、捨て猫の無秩序な繁殖を防ぎ、市民の良好な生活環境を保持するとともに、犬、猫と人間の共生できる社会の構築を目指していく。</p>	163

## 健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 時間外・休日医療 従事者派遣支援事 業	26,045	<p>新型コロナウイルスワクチン接種において、診療時間外や休日の医療機関からワクチン接種会場に医療従事者を派遣することで、ワクチン接種体制の強化を図るため、その医療機関に対し、伊勢市時間外・休日のワクチン接種会場への医療従事者派遣事業協力金を交付した。交付件数 84件、医師延べ派遣時間 2,181時間、看護師延べ派遣時間 3,470.5時間</p>	163

## 小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	18,596	<p>地域住民の福祉の充実及び公衆衛生の向上を目的に設置された。現在は指定管理者制度を導入して管理運営を行っている。</p> <p>毎月6回程度のかわり湯を実施するなど、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。</p> <p>令和4年度利用者数 38,909人</p>	161

(款)4 衛生費

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 1,681,720 千円  
 決算額 1,668,692 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,230		22,394	1,640,068

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病院事業会計繰出金	1,300,865	病院事業会計に対して繰出基準に基づく繰出しのほか、資金不足改善のため、繰出しを行った。・通常分 985,851千円・資金不足改善分 428,317千円	165

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健康・医療電話相談事業	7,425	市民の安心と救急医療体制の保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスを委託により実施した。12,262件の相談があった。	163
2. 一次救急医療事業	2,350	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、一次救急医療体制の確保を図った。	163
3. 病院群輪番制病院運営費補助金	34,596	病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院(伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院)が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。令和4年度は18,272人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。	163

(款)4 衛生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 健康増進事業	1,230	<p>生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざして、第2期伊勢市健康づくり指針に基づき生活習慣病の発症予防と重症化予防を中心に健康づくり事業を推進した。重点事業への取組みとして、ウォーキングの推進、低カロリーバランス食レシピの活用や推定野菜摂取量の測定、野菜レシピの動画配信など野菜摂取の啓発を行った。健康マイレージ事業では、市公式アカウントからの参加も可能とし幅広い年齢層に健康づくりの取り組みを呼びかけた。</p> <p>【当初予算における計画、内容】 当初予算額 1,530,000円 ・ウォーキング大会 ・いせし健康体操の普及 ・野菜摂取の普及啓発を目的とした講座、イベント ・いせし健康マイレージ事業</p> <p>【過去2か年度の実績】 令和2年度 4,687,884円 ・第2期健康づくり指針中間評価 ・ウォーキング大会、いせし健康体操の普及 ・低カロリーバランス食レシピの普及 ・いせし健康マイレージ事業 令和3年度 967,740円 ・ウォーキング大会、いせし健康体操の普及 ・低カロリーバランス食レシピの普及 ・いせし健康マイレージ事業</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 第2期健康づくり指針で掲げた目標達成に向け、生活習慣病などの発症予防や重症化予防への取り組みを強化していく必要がある。</p>	163
5. 食生活改善推進事業	696	健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の自主的な活動に対する支援を行った。	163
6. 連携リハビリテーション医学講座設置事業	24,000	地域医療（主に回復期リハビリテーション）の充実を目的に設置した寄附講座により、市立伊勢総合病院へ医師が派遣され、スタッフへの指導、医療従事者向けの講習会、研修等により、リハビリテーション環境の充実を図った。	163
7. 公的病院支援事業補助金	35,000	不採算医療分野のうち、公的病院である伊勢赤十字病院が市内で唯一保有する小児医療病床及び周産期医療病床の運営経費を一部補助し、地域医療体制の確保を図り、市民の安心・安全な医療の提供につなげた。	163

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 1,570,214 千円  
 決算額 1,258,936 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
789,880	3,825		81,437	383,794

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	348,591	定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行うとともに、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。また、風しん感染拡大防止のための追加的対策として、公的な予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、抗体検査と定期予防接種を無料で実施した。(受検者:603人 接種者:163人)	165
2. 新型コロナウイルスワクチン接種事業	910,345	予防接種法に基づく臨時接種として、国から配布されるワクチンに適した方法で、市民に新型コロナウイルスワクチン接種を行った。令和4年度は、前年度に引き続き第一期追加接種(3回目)を実施するとともに、新たに第二期追加接種(4回目)及び令和4年秋開始接種(オミクロン株対応ワクチン)を実施し、対象者へ案内通知及び接種券を送付するとともに、広報・ホームページ・SNSなどを活用し、接種予定や予約受付等の情報発信および接種勧奨を行った。	165

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 248,313 千円  
 決算額 248,115 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
759	6,078		18,734	222,544

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	7,500	40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査と、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診等を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	165

(款)4 衛生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>2. <u>がん検診事業</u></p>	<p>235, 209</p>	<p>市内の医療機関（個別）、保健センター及び地域（集団）において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん（悪性新生物）を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>  <b>実施時期：</b>  個別 7月～11月（子宮頸がん・乳がん7月～1月）  集団 乳がん7月～3月、子宮頸がん2・3月  結核・肺がん11月</p> <p><b>対象者：</b>  <b>個別</b> 胃がん・大腸がん：40歳以上  肺がん：40歳～79歳（結核検診も同時実施）  前立腺がん：50歳～69歳の男性  子宮頸がん：20歳以上の女性  乳がん：40歳～69歳の女性  <b>集団</b> 子宮頸がん・乳がん（30歳以上の女性）  結核・肺がん（70歳以上）</p> <p><b>委託先：</b>伊勢地区医師会、三重県健康管理事業センター  <b>その他：</b>子宮頸がん（新20歳）、乳がん（新40歳）に無料クーポン券送付。肺がん（50歳、60歳）に検診補助券送付。</p> <p>&lt;若年者がん患者の在宅支援サービス事業&gt;※新規  若年者のがん患者が、住み慣れた自宅で最期まで安心して日常生活を送ることができるよう、在宅療養にかかる経費の一部を助成する。  <b>対象者：</b>40歳未満の末期がん患者  <b>内容：</b>在宅介護、福祉用具の貸与サービス等の利用にかかる経費の9割に相当する額を助成（上限月額6万円）。</p> <p><b>【過去2ヵ年度の実績】</b>  令和2年度 決算額 244,180千円 受診者数 49,874人  ・集団検診について、Webでの申し込みを開始。</p> <p>令和3年度 決算額 242,328千円 受診者数 49,084人</p> <p><b>【事業をとりまく状況等】</b>  ・2人に1人が、がんにかかる現代、がん検診は早期発見と効果的な治療、ひいては死亡率の減少につながる重要な事業である。  ・受診率向上のため、今後も継続した積極的な周知を行う必要がある。</p>	<p>165</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 歯周疾患検診事業	4,837	満30歳、35歳、40歳～50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。2,103人（うち649人は国民健康保険加入者）が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	165
4. 成人保健指導事業	569	各種がん検診要精検未受診、がん健診要精検未把握者、健康増進法に基づく健康診査受診結果で指導が必要な対象者に保健指導を行い、疾病の早期発見、早期治療を図るために生活習慣指導を行うとともに、健康づくりに対する啓発に努めた。	165

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 241,813 千円  
 決算額 210,371 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,000	15,606		1,278	135,487

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 妊娠出産支援事業	15,009	<p>安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ママ☆ほっとテラス（子育て世代包括支援センター）を拠点に、母子保健コーディネーター（保健師）や助産師が中心となって、妊娠期からの切れ目ない支援の充実を図った。</p> <p>(1) 母子保健相談支援事業 母子保健コーディネーターが、母子健康手帳交付時に「ママ安心サポートプラン」を作成し妊娠期から相談や訪問指導等を行い、継続した支援を実施した。</p> <p>(2) 産前・産後サポート事業 助産師が中心となり、お母さんの悩みや不安に寄り添う支援を実施した。          ・パパとママの教室 217人 ・おめでとうコール 657人 ・おっぱい相談会 202人</p> <p>(3) 産後ケア事業 産科医療機関等において母体ケア、育児相談等の産後のケアを実施した。          宿泊型 9件、通所型 0件 訪問型 2件</p> <p>(4) 『ママ☆ほっとテラス』 産前産後の母親が気軽に立ち寄って相談できる拠点として、1,868人の利用があった。</p> <p>(5) 関係機関との連絡・調整会議の開催</p> <p>【当初予算における内容、計画】          当初予算：15,578,000円 利用者支援事業 母子保健型を実施。</p> <p>【過去2か年度の実績】          令和2年度 13,797,051円 新型コロナウイルス感染症の流行により感染症予防対策に取り組みながら実施。LINEのビデオ通話によるオンライン相談を実施。          令和3年度 13,780,608円 産後ケア事業対象者を1歳までの乳児と産婦に拡充。</p> <p>【事業を取りまく状況等】          出産や育児に不安を持つ妊産婦が増えており、関係機関との連携強化や母子保健サービスを充実させていく必要がある。</p>	167

(款)4 衛生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 母子健康手帳交付事業	290	妊娠・出産・育児に関して健康状態を一貫して記録し管理する母子手帳を交付し、必要な保健指導を行い母子の健康の保持増進を図ると共に、切れ目ない子育て支援を図った。交付件数 780件 (内 双胎9件、再交付96件)	167
3. 出産・子育て応援事業	61,728	安心して出産、子育てができるよう国において創設された出産・子育て応援交付金に基づき、妊娠・出産・子育て期の面談を行う伴走型の相談支援、経済的支援として給付金を支給した。 出産応援給付金746人、子育て応援給付金471人	167
4. 妊産婦・乳児健康診査事業	95,825	妊婦健康診査、産婦健康診査、乳児健康診査を委託医療機関で実施し、妊産婦や乳児の疾病や虐待、産後うつなどの異常の早期発見と健康の保持増進を図った。また、妊婦・産婦・1か月児健診の委託医療機関以外での受診には健診費用の助成を行った。 妊婦健康診査 (14回) 延8,938人 産婦健康診査 (2回) 延1,300人 乳児健康診査 (3回) 延2,006人	167
5. 幼児健康診査事業	8,845	幼児の発達の観察の節目である時期に、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施し、疾病や虐待の早期発見、育児不安の解消等を図った。 1歳6か月児健康診査 22回 868人 3歳児健康診査 22回 857人	167
6. 歯科健康診査事業	3,820	口腔内の状態が悪化しやすい妊娠中に歯科健診を行い、早産・低出生体重児出産の一因である歯周疾患の早期発見・早期治療を行った。さらに、1歳6か月児健康診査対象の保護者に「子育て応援歯科健診」を実施し、保護者の口腔衛生の向上から子どものむし歯予防へとつなげた。むし歯が増加しやすい幼児期に継続的な歯科健診を実施し、幼児期の歯科保健対策の強化を図った。 妊婦歯科健康診査 311人 子育て応援歯科健康診査 133人 むし歯バイバイ教室 23回 571人 3歳児フッ化物塗布 12回 451人	167
7. 新生児聴覚検査助成事業	1,735	新生児聴覚検査に係る費用の一部助成 (上限3,000円) をすることにより、経済的負担の軽減と先天性聴覚障がい等の早期発見と支援にむけた体制整備を行い、乳幼児の健康の保持増進を図った。助成件数 579件	167
8. 乳幼児保健指導事業	2,337	専門職による相談や教室を通し、乳幼児の疾病異常の早期発見及び母子の健全育成に努めるとともに、保護者が自信を持って育児を行うことが出来るよう子育て支援を図った。	167
9. 新生児等訪問指導事業	7,211	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。 妊産婦 691人 新生児690人 乳幼児834人 育児支援335人	167
10. 不妊不育治療費助成事業	9,504	医師が必要と認めた不妊不育治療を受けた夫婦に対し、不妊不育治療費に要する費用の一部助成 (費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで) を行った。 不妊治療120件、内不育治療上乘せ4件	167

(款)4 衛生費



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
11. 未熟児養育医療事業	4,067	入院養育が必要な未熟児12人に対して、医療の給付に要する経費を補助することにより、経済的負担の軽減と未熟児の健康の保持増進を図った。	167

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 8,542 千円  
決算額 8,019 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,881	3,138

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 共同墓地整備事業補助金	2,778	共同墓地内の環境改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し補助を行った。 補助金交付件数 8件	167

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 156,965 千円  
決算額 127,607 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,352	25,900	56,405	43,950

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医科診療所運営事業	88,907	夜間や休日などにおける急病に対処するため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、応急的な医療を行うことで、一次救急医療の確保に努めた。受診者数 4,321人	167
2. 歯科診療所運営事業	7,677	休日における急病に対処するため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、応急的な医療を行うことで、一次救急医療の確保に努めた。受診者数 343人	169
3. 医科診療所改修事業	28,054	多くの診療所が休診する夜間や休日の市民の受診ニーズの増加や感染症流行下における院内トリアージ(患者動線分離)に対応するため、休日・夜間応急診療所(医科)改修工事を着工した。(令和5年7月14日完工予定)	169
4. 検査センター運営事業	2,969	新型コロナウイルス感染症の早期発見・拡大防止を図るため、伊勢地区検査センターを設置し、感染の疑いがある軽症者のPCR検査を行った。(検査実施日数 42日) ※令和4年9月末廃止	169

(款)4 衛生費

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 1,234,265 千円  
 決算額 1,232,851 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
368			216	1,232,267

ごみ減量課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	1,168,704	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 ○共通経費 6,638千円 (平等割10%加入事務数割90%) ○運営経費 456,416千円(実績割100%) ○建設経費 533,308千円 (平等割10%人口割90%) ○公債費 169,052千円(元利補給金) ○清掃事業所分担金 3,291千円	頁 169
2. きれいなまちづくり推進事業	477	路上喫煙禁止区域におけるパトロール等を実施し、たばこのポイ捨ての抑止に努めるとともに、併せて案内用看板等の状況確認及び清掃を実施した。 また、環境美化意識の啓発事業実施のため、伊勢市環境会議へ負担金を支出し事業を実施した。 ○路上喫煙対策 ・路上喫煙パトロールの実施 ・路上喫煙対策審議会の開催 ・路上喫煙対策の啓発イベントの実施 ○伊勢市環境会議負担金内容 ・MOTTAINAI(もったいない)ポスターコンクール ・ごみゼロ早朝清掃	169
3. 廃棄物集積所設置補助金	5,818	燃えるごみの排出場所の集積化を促進することで、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱防止、市民の美化意識の高揚及び良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。 ○交付申請団体数のべ 15団体 ○補助金交付基数 35基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額を設定	169
4. 不法投棄防止対策推進事業	523	市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。 ○主な不法投棄物の回収実績 テレビ107台、冷蔵庫・冷凍庫13台、洗濯機・衣類乾燥機6台、エアコン6台、タイヤ24本、消火器101本 ガスボンベ3本、業務用冷蔵庫3台	169

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 9,013 千円  
 決算額 7,583 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			480	7,103

ごみ減量課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 再生資源回収推進事業	3,512	自治会、PTA等資源物の集団回収事業を行う団体に対して、回収量に応じ再生資源回収事業奨励金を交付することにより、ごみの減量・資源化を図った。 ○交付団体数 129団体 ○回収量 1,171t (内訳:紙類1,115t、布類26t、缶類30t) ※1kg当たり3円の奨励金 ○回収量(瓶) 161本 ※1本当たり3円の奨励金	頁 169
2. ごみ減量化容器設置補助金	1,134	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。 ○家庭用 61件 61基	169

(款)4 衛生費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>MOTTAINA</u> <u>I推進事業</u>	1,435	<p>ごみ処理基本計画に基づき、ごみの減量・資源化を進めるため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）及び再生利用（リサイクル）を重点に置き、市民、事業者、行政が主体的に、又は連携して事業を展開した。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミマフードドライブの実施（回収量651kg）</li> <li>・マイボトル・マイカップ運動の推進 （マイボトル協力店3店舗、マイボトル推進事業者4事業所）</li> <li>・「2022すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」の実施（10月1日～31日、応募総数1,524通）</li> <li>・食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」の開始 （協力店舗17店舗、ユーザー数712名、食品ロス削減量7.3kg）</li> <li>・小学4年生を対象に「雑がみチャレンジ」の実施 （市内小学校12校、536人参加、1,506kgの分別・資源化）</li> <li>・これまで資源化できなかった紙類の資源化（トイレの紙さまプロジェクトの実施） （R4実績34,153kg）</li> <li>・小学5年生を対象に「ごみゼロチャレンジ」の実施 （市内小学校7校、291名参加、生ごみの水切りなどごみの減量化の実施）</li> <li>・生ごみの水切りアイデア募集及び効果の啓発 （アイデア応募総数10件）</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 2,200,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスに関する取組</li> <li>・生ごみの水切りに関する取組</li> <li>・雑がみの資源化に関する取組</li> <li>・マイボトル・マイカップの普及</li> <li>・SNS、動画配信等を利用した啓発</li> <li>・環境教育のさらなる拡大</li> <li>・未利用資源化へ向けた諸調査・検討</li> </ul> <p>【過去2か年度の実績】</p> <p>令和3年度 1,322,541円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミマフードドライブの実施（回収量345kg）</li> <li>・マイボトル・マイカップ運動の取組方針の策定</li> <li>・2021「すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」の実施（10月1日～31日、応募総数2,352通）</li> <li>・小学4年生を対象に「雑がみチャレンジ」の実施 （市内小学校13校、590人参加、1,675kgの分別・資源化）</li> <li>・数字による生ごみの水切り効果の啓発</li> <li>・これまで資源化できなかった紙類の資源化（トイレの紙さまプロジェクトの実施） （R3実績26,296kg）</li> </ul> <p>令和2年度 1,972,126円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回「すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」の実施（10月1日～31日、応募総数2,846通）</li> <li>・「冷蔵庫整理術」小冊子配布および動画配信</li> <li>・「食に感謝 食べきり応援店」の登録募集（46店舗）</li> <li>・広報いせ、行政チャンネルでの生ごみの水切り啓発</li> <li>・これまで資源化できなかった紙類の資源化（トイレの紙さまプロジェクトの実施） （R2実績15,120kg）</li> <li>・LINEのAIチャットボットを使ったごみ分別収集方法の案内サービス開始</li> <li>・Facebook、Instagramのアカウント開設</li> </ul>	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		【事業を取り巻く状況等】 更新が予定されているごみ処理施設の整備計画にも多大な影響を及ぼすため、燃えるごみの減量は必須の課題となっている。	

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 887,357 千円  
決算額 868,431 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		20,100	3,637	844,694

ごみ減量課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	609,599	ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん（無色、茶色、その他の色）、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。 ○市内ステーション設置状況 ・資源ステーション 1,005箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 (内訳) 伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、いせトピア、二見、小俣、明野、御菌	171
2. じん芥収集一般事業	63,468	自治会主催にて回収された粗大ごみの収集運搬を行った。また、廃棄物投棄場を適正に維持管理するとともに、市民から搬入されたガレキ類（コンクリート、ブロック、レンガ、瓦）の適正処理を行い、環境保全の推進を図った。 ○各粗大ごみの収集運搬量 可燃性粗大ごみ 422,470kg 非圧縮粗大ごみ 91,404kg 金属混成粗大ごみ 148,260kg 自転車 2,946台 ○各投棄場の搬入状況 伊勢年間搬入量 84,842kg 小俣年間搬入量 63,400kg	171

(款)4 衛生費

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 56,822 千円  
 決算額 55,512 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	199		5,071	50,242

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 若年求職者等支援事業	4,225	<p>若年求職者・無業者を対象に、いせ若者就業サポートステーションと連携し、個別の事情に応じた就労支援を実施した。</p> <p>○伊勢市若者就職総合支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士による心理カウンセリング</li> <li>・キャリア開発プログラム・セミナー</li> <li>・講座の開催・ボランティア体験</li> <li>・就労体験・市内事業所見学会</li> <li>・講演会の開催</li> </ul>	171
2. 雇用就労支援事業	3,310	<p>女性の就労支援、障がい者雇用に関する理解促進を目的としたセミナーをそれぞれ開催した。</p> <p>学生の地域企業へのインターンシップを促進するためのマッチングを支援した。</p> <p>また、当市を含めた松阪市以南の16市町で構成する南三重地域就労対策協議会において、就職マッチング支援サイトの運営や、求職者向けにインターンシップセミナー、企業向けに採用支援セミナーをそれぞれZoomにより開催した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 4,337,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の就職支援、障がい者雇用に係るセミナー開催</li> <li>・インターンシップマッチング支援</li> <li>・地域企業のPR動画制作助成</li> <li>・若年資格取得助成、インターンシップ参加奨励補助</li> <li>・南三重地域就労対策協議会負担金</li> </ul> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和2年度 961,739円                      女性就職支援(セミナー参加者) 5名                      南三重地域就労対策協議会就活サイト掲載事業所数 53社</p> <p>令和3年度 2,879,988円                      女性就職支援(セミナー参加者) 11名                      南三重地域就労対策協議会就活サイト掲載事業所数 174社</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した雇用情勢もコロナ禍前水準に回復し、企業の人材確保が課題となっている。特に、若年労働力人口が減少傾向にあることから、近隣市町や関係機関・関係団体と連携した取り組みを進めていく。</p>	171
3. 中小企業退職金共済制度奨励補助金	1,852	<p>中小企業の従業員の福祉の増進と雇用の安定を図るため、退職金共済制度に新たに従業員を加入させた事業者に補助金を交付した。 補助実績 57件</p>	171

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金	13,284	中小企業で働く勤労者と事業主への福祉制度の充実を推進し、併せて中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	171
5. 勤労者ふれあい事業	369	10月10日（月・祝）県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」を開催した。	173
6. 高齢者労働能力活用事業費補助金	18,443	社会の高齢化が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対し、管理運営費の補助を行った。	173
7. サンライフ管理運営事業	6,273	勤労者の健康増進、体力及び教養文化の向上を図るため、貸室や教室の開催等、指定管理者による管理運営を行った。	173
8. 労働福祉会館管理運営事業	7,236	労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。	173

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 2. 緊急地域雇用対策事業費

(単位 千円)

予算現額 7,101 千円  
 決算額 2,914 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
115				2,799

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 緊急雇用事業	2,914	新型コロナウイルス感染症に係る経済対策支援事業として、失業者等に対して短期の就業機会を提供するため、会計年度任用職員として4人を任用した。	173

(款)5 労働費

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 62,896 千円  
 決算額 53,451 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,000	37,998			14,453

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 担い手支援事業	20,603	地域農業の担い手である認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のために借り入れた資金の利子補給を行った。 また、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対して給付金の給付や、独立就農直後に必要な農業機械等の導入についての支援を行い、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。	175
2. 遊休農地活用事業	220	遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、営農可能な状態に回復するための支援を行った。	175
3. 農業振興事業	5,875	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで生産活動の強化を図った。 また、農業の振興を推進する区域を定め、農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進するため、農業振興地域整備計画の見直しを行った。 さらに、農業を取り巻く状況の変化や、課題に対応するため、第2次伊勢市農村振興基本計画の中間改定を行った。	175
4. 経営所得安定対策推進事業	6,162	水田を活用して小麦・野菜等を作付している農業者に対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。現地確認等の業務については、伊勢市農業再生協議会への補助金交付により推進活動の支援を行った。	175
5. 6次産業化推進事業	526	農産物の6次産業化を主体となって行う農業者に対し、市内産の農産物を使用した新たな加工品の開発や販売などに係る必要な経費に対して支援を行い、市内の農産物の6次産業化の推進を図った。	175
6. 農地中間管理事業	508	今後、農業者の減少により耕作のいない農地の増加が見込まれるため、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による、担い手への農地集積・集約化に対する調整を行った。	175



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 農産物ブランド化 推進事業	1,195	<p>市内農産物（青ねぎ、いちご、トマト、かぼちゃ、蓮台寺柿、横輪いも）の生産量拡大、販路拡大、高付加価値化、知名度の向上を推進する取り組みを行う団体等に対して支援を行うことや、PRイベントを実施することで、地域農業の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物ブランド化推進事業補助金による支援</li> <li>・ブランド化推進農産物のPRイベント</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,841,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物ブランド化推進事業補助金</li> <li>・ブランド化推進農産物のPRイベント</li> </ul> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度 367,200円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物ブランド化推進事業補助金</li> <li>・ブランド化推進農産物のPR、販路拡大</li> </ul> <p>令和3年度 0円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物ブランド化推進事業補助金による支援</li> <li>・ブランド化推進農産物のPR、販路拡大</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】 近年、産地間競争の激化に伴う農産物価格の低迷などにより農業を取り巻く環境は厳しい状況になっている。その中で、地域農業の振興や農業者の所得向上を図るため、農産物の認知度向上及び販路拡大等を行う施策の推進が必要である。</p>	175
8. 水田等環境改善事業	1,780	<p>市内の農地において農業者が行うスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）防除事業に要する経費に対して支援し、農業の生産性の向上及び所得の安定並びに農作物被害の軽減を図った。</p>	175
9. 国産小麦産地生産性向上事業	15,099	<p>水田を活用して小麦を作付する農業者のうち、作付面積の拡大や収量の増加、品質の向上を図る者に対して、伊勢市農業再生協議会を通して交付金を交付することにより、支援を行った。</p>	175
10. 地産地消推進事業	920	<p>伊勢市地産地消の店として認定した飲食店等の取組を消費者に周知し、市内産農林水産物の消費及び需要の喚起を図った。</p> <p>また、学校給食に市内産農水産物を活用していくことで地産地消を推進するとともに、生産者への感謝の念、地域産業や文化を理解し、郷土への関心を深め、より健全な食生活を実践できる児童生徒の育成を図った。</p>	175
11. 農業体験学習事業	563	<p>食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。</p>	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 152,575 千円  
 決算額 141,860 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	81,655		1,332	58,873

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 産直施設維持管理 経費	12,453	伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設（民話の駅蘇民・しょうぶ園）及び横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設（郷の恵「風輪」）について、指定管理者による管理運営を行うことで、地域活性化を図った。 また、経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。	175
2. 多面的機能支払交 付金事業	108,076	農業者及び地域住民を含めた組織等で取り組む農業用水路や農道等（農業用施設等）の地域資源の基礎的な保全活動や推進活動に対し支援を行う『農地維持支払交付金』と農業用施設等の軽微な補修や農村環境保全活動等の取組みに対し支援を行う『資源向上支払交付金（共同活動）』、老朽化が進む農地周りの農業用施設等の長寿命化のための補修・更新等の活動に対し支援を行う『資源向上支払交付金（施設の長寿命化）』を交付することで、農地が持つ多面的機能の推進を図った。	175

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 5,217 千円  
 決算額 5,217 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,217

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 畜産振興一般経費	5,217	食肉の安全を確保するため、伊勢市を含む主要株主により三重県松阪食肉公社施設の経費を負担し、維持管理対策を図った。 また、昨今の社会情勢の影響で燃油等価格が高騰したことにより三重県松阪食肉公社に対し、臨時的に支援を行った。	177

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 350,679 千円  
 決算額 277,789 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	108,985	120,700	9,637	38,467

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 土地改良事業補助金	11,522	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備による農業経営の安定を図った。 交付件数・・・11件	177
2. 県営事業等負担金	98,659	安定した水供給と維持管理の省力化及び生産性向上を図るため、パイプラインの更新整備及び給水栓整備を行う国営関連県営事業に対し負担金を支出した。また、粟生頭首工の整備に伴う負担金を支出した。  【県営事業等(地区名)】 ・県営かんがい排水事業(宮川4工区) ・高度水利機能確保基盤整備事業(宮川左岸地区) ・農業用施設アスベスト対策事業(城田・下外城田地区) ・国営かんがい排水事業(宮川用水地区)	177
3. 農道整備事業	4,597	【市単独事業】 農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。 ・一色町地内農道舗装等工事ほか1件	177
4. 農業用排水路整備事業	6,026	【市単独事業】 農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・粟野町地内排水路整備工事ほか4件	177
5. 農業用排水路整備事業	91,277	【補助事業】 農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・黒瀬町地内排水路整備工事ほか2件 ・御菌町小林地内排水路整備工事に伴う設計業務委託ほか2件	177

(款)6 農林水産業費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 農地中間管理機構 関連農地整備事業	23,185	<p>磯町西部において、農地のほ場整備を行うため、事業実施計画策定及び換地等調整業務を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 23,185,600円 ・磯地区ほ場整備に係る換地等調整業務委託 ・磯地区ほ場整備に係る事業実施計画策定業務委託 ・磯地区高度水利機能確保基盤整備事業実施計画策定業務委託（負担金）</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和4年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 本地区は昭和初期に耕地整理法により整備された土地で、一筆当たりも狭く、用水も用排兼用である。 農業者が減少傾向にあるなか、ほ場整備を行い、一区画の面積の大区画化、農道整備、用排水路整備等を実施し、大型機械の効率的利用による生産性向上を目指し、担い手への農地集積・集約化、高収益作物の生産性拡大等、安定的かつ継続性のある地域営農を目指す。</p>	177
7. 農村地域防災減災 事業	33,303	<p>災害の防止や被害の軽減を図り、災害に強い農村づくりを進めるため、災害時の影響が大きい農業用ため池等の防災・減災対策の新たな事業化に向け、実施計画書の策定、測量・調査を行った。</p> <p>また、ため池への水位計設置及び県が実施する東池改修工事、笹原池の堤体改修工事に伴う測量設計業務に対して負担金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池（西池・東池）危機管理型水位計設置工事</li> <li>・ため池（西池）整備実施計画書作成業務委託ほか3件</li> <li>・ため池豪雨耐性劣化状況調査業務委託</li> </ul>	177
8. （新ごみ処理施設 整備関連） 農業用施設整備事 業	9,220	<p>老朽化した農業用排水路を改良することにより、ごみ処理施設建設予定地周辺の生活環境の保全及び増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西豊浜町地内排水路整備工事</li> </ul>	177

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 310,135 千円  
 決算額 170,533 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	49,406	37,300	15,526	68,301

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	24,789	<p>土地改良施設維持管理適正化事業（整備補修事業、防災減災機能等強化事業）により、農業用排水機等の定期的な維持補修を行うことで、施設の機能を保持し、流域への冠水による被害を未然に防止した。</p> <p>【整備補修事業】 市負担30%及び事務費2.5%を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。事業完了後、事業費の90%が交付される。</p> <p>【防災減災機能等強化事業】 市負担30%、事務費2.5%及び利息相当分を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。事業完了後、事業費相当額が交付される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿海排水機場補修工事（整備補修事業）</li> <li>・社護神排水機場補修工事（防災減災機能等強化事業）</li> </ul>	177
2. <u>排水機維持管理経費（機能更新）</u>	78,488	<p>農業用に整備された排水機場について、長寿命化計画に基づき補修・更新を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大淀排水機場事業計画書修正業務委託</li> <li>・鹿海排水機場ほか事業計画書作成業務委託</li> </ul> <p>&lt;県営事業への負担&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀池排水機場詳細設計業務委託</li> <li>・新田排水機場保全工事及び詳細設計業務委託</li> <li>・西排水機場詳細設計業務委託</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 72,445,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大淀排水機場事業計画書修正業務委託</li> <li>・鹿海排水機場ほか事業計画書作成業務委託</li> </ul> <p>&lt;県営事業への負担&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀池排水機場詳細設計業務委託</li> <li>・西排水機場保全工事及び詳細設計業務委託</li> </ul> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度 95,440,400円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀池排水機場ほか事業計画書作成業務委託</li> <li>・船倉排水機場保全工事に伴う積算業務委託</li> <li>・船倉排水機場保全（その1）工事</li> <li>・船倉排水機場保全（その2）工事</li> </ul> <p>令和3年度 7,516,300円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀池排水機場事業計画書修正業務委託</li> <li>・排水機場運転支援システム導入調査業務委託</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】 平成29年度～平成30年度において長寿命化計画を作成し、令和元年度より事業着手した。 市が事業計画書を作成し国の補助事業として採択を受けたものや、また、県単事業として決定されたものは、三重県にて保全工事等を実施している。</p>	177

(款)6 農林水産業費

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 78,728 千円  
 決算額 70,147 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,201		3	54,943

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 獣害防止事業	9,292	<p>野生鳥獣による農作物等の被害防止を目的に、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出し、集落を含む関係機関が一体となって鳥獣被害対策に取り組んだ。</p> <p>また、伊勢地区猟友会に有害獣（イノシシ・シカ・サル・アライグマ・ハクビシン）の捕獲を委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猟友会への獣害防止事業業務委託</li> <li>・伊勢市鳥獣被害防止対策協議会への負担金</li> <li>・獣害パトロールによるテレメトリー調査</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 10,895,000円                      ・猟友会への獣害防止事業業務委託                      ・伊勢市鳥獣被害防止対策協議会への負担金                      ・獣害パトロールによるテレメトリー調査</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和2年度 9,259,512円                      ・猟友会への獣害防止事業業務委託                      ・伊勢市鳥獣被害防止対策協議会への負担金                      ・獣害パトロールによるテレメトリー調査                      令和3年度 9,626,492円                      ・猟友会への獣害防止事業業務委託                      ・伊勢市鳥獣被害防止対策協議会への負担金                      ・獣害パトロールによるテレメトリー調査</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      ・有害獣（イノシシ・シカ・サル・アライグマ・ハクビシン）による農作物被害が多発し、また、近年では市街地にも出没するなど日常生活までも脅かされる状況であり、地域の深刻な問題となっている。                      ・捕獲従事者の高齢化等に伴い活動人数が減少してきているため、新規の狩猟者確保に取り組んでいく必要がある。                      ・ICTを活用した有害獣の目撃情報報告システムを活用し、効果的な獣害対策を検討していく。</p>	179
2. 森林整備事業	12,777	<p>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、松くい虫の防除事業及び松林の保全のため間伐、下刈を実施し、暮らしに身近な森林づくりを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二見町西地内ほか 松くい虫防除業務委託（地上散布、枯松伐倒破碎、樹幹注入）</li> <li>・二見保安林下刈業務委託ほか1件</li> <li>・二見町今一色地内松林間伐業務委託</li> </ul>	179
3. 森林経営管理事業	34,744	<p>森林環境譲与税を活用し、森林資源の適切な管理を推進するための計画作成及び調査を行った。また計画的な利用を図るため基金に積立を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林調査（森林境界明確化）業務委託</li> <li>・森林経営管理権集積計画作成業務</li> </ul>	179

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 1,243 千円  
 決算額 929 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				929

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 種苗放流事業補助金	906	伊勢湾・宮川各漁業協同組合が実施するハマグリ、クルマエビ、アユ等の種苗放流事業に対して支援し、資源の増大・確保と漁家経営の安定に繋げた。	頁 179

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(単位 千円)

予算現額 128,166 千円  
 決算額 84,757 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,054	36,300	28,973	5,430

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 水産物供給基盤機能保全事業	83,521	<p>漁港施設の老朽化が著しいことから、機能保全計画に基づき効率的・効果的な施設の長寿命化を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大淀漁港南防波堤保全工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>防波堤改修 L=30.0m ※令和3年度から一部繰越</li> </ul> </li> <li>豊北漁港土路用地護岸ほか保全工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート被覆工 L=52.8m</li> <li>電気防食工 N=27か所</li> </ul> </li> <li>大淀漁港南防波堤保全工事                             <ul style="list-style-type: none"> <li>防波堤改修 L=81.0m ※令和5年度へ一部繰越</li> </ul> </li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 89,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊北漁港土路用地護岸ほか保全工事</li> <li>大淀漁港南防波堤保全工事</li> </ul> <p>繰越予算額 39,800,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大淀漁港南防波堤保全工事</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>令和2年度 90,683,100円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>村松漁港浚渫工事 ※令和元年度より一部繰越</li> <li>大淀漁港南防波堤保全工事 ※令和元年度より一部繰越</li> <li>松下漁港南護岸ほか保全工事 ※令和3年度へ一部繰越</li> <li>大淀漁港南防波堤保全工事 ※令和3年度へ一部繰越</li> </ul> <p>令和3年度 85,237,300円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊北漁港土路用地護岸ほか測量業務委託</li> <li>豊北漁港土路用地護岸ほか設計業務委託</li> <li>村松漁港第2物揚場測量業務委託</li> <li>大淀漁港南防波堤保全工事 ※令和2年度から一部繰越</li> <li>松下漁港南護岸ほか保全工事 ※令和2年度から一部繰越</li> <li>大淀漁港南防波堤保全工事 ※令和4年度へ一部繰越</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>伊勢市が管理する全漁港において策定した機能保全計画に基づき保全工事を進めており、令和6年度をもって初期の対策を完了する予定となっている。</p> <p>次期対策は、松下漁港：令和14年度、豊北漁港：令和22年度、村松漁港：令和39年度を予定している。大淀・江漁港については、港勢を考慮し実施を検討する。</p>	頁 181



(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 92,121 千円  
 決算額 89,316 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	771		3,662	84,883

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消費生活センター運営事業	8,605	<p>架空請求や悪質商法、多重債務など消費生活に関するトラブルについて、専門相談員による相談を行うことで、安全安心な市民生活の営みに繋がった。また、市民の一人一人が自立した消費者として必要な知識を獲得できるように、広報紙、ホームページ、SNSにおいて情報発信を行った。加えて、高齢者クラブを中心に出席講座の実施、また、図書館などの公共施設で啓発展示を行い啓発物を配布することにより、市民の消費者トラブルに対する関心を高めた。このほか、契約に関する知識や経験が乏しい若年者への啓発活動として、成人式出席者及び市内高校生に対し啓発チラシを配付することにより、消費者トラブルとはなにかという意識付けを行った。</p> <p>また、令和4年4月1日から近隣市町と連携して伊勢市消費生活センターを広域化し、圏域住民からの消費生活相談対応や消費生活に係る情報発信を行った。</p> <p>連携市町 鳥羽市、志摩市、玉城町、大紀町、南伊勢町                      消費生活相談件数 1,279件(伊勢市892件)</p>	181

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 1,153,499 千円  
 決算額 1,071,538 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
935,376			5,377	130,785

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 経営改善普及事業	18,591	<p>地域経済を支える中小企業者の経営改善及び経営基盤の強化を支援するため、また、中小企業者への相談対応や経営指導の充実を図るため、伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が行う経営指導事業や専門家派遣事業に要する経費に対して補助金を交付した。専門的な見地からの指導や相談対応を促進することを通じ、中小企業者の課題解決等に寄与した。</p> <p>・経営改善普及事業補助金 補助件数 2件                      ・専門家派遣事業補助金 補助件数 2件</p>	181

(款)7 商工費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 商店街等振興対策事業	9,878	<p>地域のコミュニティの担い手として、また、まちづくりにおける賑わい創出の中心的な役割などが期待されている中心市街地商店街等の活性化を図るために、伊勢まちづくり株式会社が実施する取り組みに対して負担金を支出した。</p> <p>(1) 商店街等空店舗対策事業 補助件数 6件 伊勢まちづくり株式会社が実施した、空店舗対策事業に負担金を支出することで、商店街等への新規出店促進に寄与した。</p> <p>(2) 商店街等活性化対策事業 補助件数 3件 伊勢まちづくり株式会社が実施した、消費者に魅力ある商店街づくりを行う団体に対する補助事業に負担金を支出することで、中心市街地の活性化に寄与した。</p> <p>(3) 商店街等PR支援事業 伊勢まちづくり株式会社が、商店街等の活性化や認知度向上を目的とした商店街等の広報に負担金を支出することで、SNS等を活用した商店街等の魅力的な情報発信を行った。</p> <p>(4) 商店街等通行量調査実証実験事業 伊勢市中心市街地における歩行者等通行量の動向を的確に把握し、今後の中心市街地の活性化に関する指標とするため、定点AIカメラ等の機器を用いて歩行者等通行量を調査する伊勢まちづくり株式会社に負担金を支出することで、年間を通じて歩行者等通行量の調査を行った。</p>	181
3. 経営力向上支援事業	7,972	<p>中小企業者の持続的発展を促し地域経済の活性化を図るため、三重県融資制度及び日本政策金融公庫融資制度のうち対象となる融資を受けた場合にその融資にかかる利子の一部の補助を行った。また、三重県が認定する計画に基づき、経営課題の解決に向けて取り組む中小企業者を支援する伊勢商工会議所及び伊勢小俣町商工会に対して補助金を交付することで、中小企業者の生産性や販路開拓などの経営力の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営力向上支援事業利子補給補助金 補助件数 134件</li> <li>・三重県版経営向上計画実施支援補助金 補助件数 2件(事業者 21社)</li> </ul>	183
4. 創業支援事業	23,244	<p>雇用の創出及び移住・定住の促進を図るため、新たに市内に事業所を設置し創業・移転を行う者に対して、創業等に必要となる経費の一部を補助し、新規創業や市外からの事業所移転の促進に寄与した。また、創業者の安定した経営を図るため、創業関連融資制度のうち対象となる融資を受けた場合にその融資に係る利子の一部の補助や融資に係る信用保証協会の保証料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・移転促進補助金 創業者数 25社 (うち前年度からの繰越による創業10件) 事業所移転数 1社</li> <li>・創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金 補助件数 17件</li> <li>・創業・再挑戦アシスト資金利子補給補助金 補助件数 55件</li> </ul>	183
5. 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金	26,761	<p>市内住宅関連業者による住宅や店舗のリフォーム等を行う者に対し、補助金を交付したことで、市内住宅関連産業の振興の促進及び地域経済の活性化に寄与した。</p> <p>補助件数 281件</p>	183

(款)7 商工費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 地域産品販売促進事業	3,374	<p>物産展や特産品のPRを行うことで、伊勢の地域産品の情報を発信し、認知度の向上及び販路拡大並びにコロナ収束後の誘客に繋げた。</p> <p>また、商談会等に出展する市内中小企業者に補助金を交付したことで、販路拡大及び新規需要開拓の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展・特産品PR 計3回 (首都圏2回、市内1回)</li> <li>・商談会等出展支援事業補助金 補助件数 12件</li> </ul>	183
7. 商業活性化推進事業	9,377	<p>伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民及び観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体等に対して補助金を交付することにより、商業団体のブランディングによる魅力発信や、来街者にとっての利便性向上に繋げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業魅力アップ支援事業補助金 補助件数 4件 補助金額 2,710,000円</li> <li>また、地域力の維持・強化に取り組み、地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊員の受入れを行うことで、地域課題の解決及び地域活性化並びに地域資源の発掘及び利活用などの推進に寄与した。</li> <li>・地域おこし協力隊事業 委嘱人数 3名(うち2名は年度内に退任した) 委託料 6,667,107円</li> </ul> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b> 当初予算額 20,850,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業魅力アップ支援事業補助金の交付</li> <li>・地域おこし協力隊事業 委嘱人数 4人 活動内容 中心市街地に関する魅力創出活動等</li> </ul> <p><b>【過去2ヵ年度の実績】</b></p> <p>令和2年度 3,200,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業魅力アップ支援事業補助金の交付 補助件数 5件</li> </ul> <p>令和3年度 3,300,298円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業魅力アップ支援事業補助金の交付 補助件数 2件 補助金額 1,048,000円</li> <li>・飲食店等応援チラシ作成普及事業補助金 補助件数 1件 補助金額 975,000円</li> <li>・地域おこし協力隊事業 委嘱人数 3名 委託料 1,277,298円</li> </ul> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b> 新型コロナ禍後の商業団体の取組みに、商業魅力アップ補助金が寄与できると期待される。地域おこし協力隊員の定着が課題になっている。</p>	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. 伊勢のお店応援商品券事業	298,020	<p>プレミアム付きの商品券の発行・販売等の事業を行い、地域における消費を促進した。 実施にあたっては、伊勢商工会議所が行う商品券の発行等に対して補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金額 298,020千円 (伊勢商工会議所へ交付)</li> <li>・発行総額 1,007,500千円</li> <li>・販売総額 771,405千円</li> <li>・額面総額 1,002,827千円</li> <li>・換金総額 1,000,103千円</li> </ul>	183
9. 伊勢市版地域経済復活支援金	274,102	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和4年1月から3月のいずれかの月の売上が30%以上減少し、三重県地域経済復活支援金を受給した事業者に対して支援金を交付し、事業継続を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付件数 1,957件</li> </ul>	183
10. EC販路開拓支援事業	25,438	<p>地域経済の活性化を図るため、消費者向けのEC（オンラインショッピング）サイトの開設・改修またはモール型ECサイトへの出店を行う市内中小企業者に対して、事業費の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ECサイト開設・出店・改修補助金 補助件数 57件 補助金額 10,907,000円</li> </ul> <p>また、(公社)伊勢市観光協会との協働で、市内中小企業者がECを開始あるいは拡大するのを支援する基盤となるECポータルサイト「ISE ONE (イセ・ワン)」の新規開設と、同協会の公式ショッピングサイトの改修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>負担金額 14,531,312円</li> </ul>	183
11. 中小企業者物価高騰支援金	374,766	<p>新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を緩和するため、市内中小企業者に支援金を交付し、事業継続を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付件数 5,132件</li> </ul>	183

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 79,096 千円  
 決算額 75,338 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			13,100	62,238

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ものづくり推進事業	868	中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発や、製造業者等が行う伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に対して補助金を交付し、企業力の強化や伝統工芸品産業の振興を図った。なお、新産業創出支援事業補助金については、事業計画に変更が生じ年度内に事業が完了しなかったため、次年度に繰り越した。 ・新産業創出支援事業補助金 補助金交付決定件数 1件 繰越明許費 2,000,000円 ・伝統工芸品等再生支援事業補助金 補助件数 2件	183
2. 企業立地推進事業	252	産業の振興、雇用の創出を図るべく、市内企業への情報収集、サン・サポート・スクエア伊勢の立地企業へ、外周道路に隣接する緑地の売却を行い設備投資を支援した。	183
3. 工場等誘致奨励事業	26,311	伊勢市工場等立地促進条例に基づき、奨励金を交付し雇用の促進を図った。 ・交付件数 12件	183
4. 産業支援センター 管理運営経費	44,470	平成24年度から専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため、指定管理制度を導入した。指定管理者(伊勢商工会議所)は施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、専門家による起業家育成、各種講習会の開催などに取り組み、市内製造業を中心とした既存企業の経営力の強化や創業希望者が創業しやすい環境づくりに寄与した。	183

(款)7 商工費

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 301,687 千円  
 決算額 290,405 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,029	843		17,285	264,248

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光人材育成事業	294	(1) 案内ガイド連携事業 案内人の質の向上、情報共有及び一体感の醸成を目的とした市内観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」に参画し、事務局を担った。 (2) 伊勢っ子育て事業 公募により集まった市内小学校5、6年生の伊勢っ子18人が、外宮前周辺等で伊勢を学ぶ活動を行った。 (3) 観光振興研修事業 観光関連事業者を対象に、地域共通となる課題をテーマにした研修会等を開催した。	185
2. 案内所管理運営経費	42,807	伊勢市駅、宇治山田駅、宇治浦田、二見浦、外宮前の各観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所における運営管理業務を、(公社)伊勢市観光協会に委託して実施した。また、宇治山田駅観光案内所、宇治浦田観光案内所、二見浦観光案内所、外宮前観光サービスセンターでは令和4年12月1日からリモート観光案内を開始した。 ・観光案内所窓口案内件数：108,407件 ・リモート観光案内等件数：689件 (うち外国人 1,082件)	185
3. 観光協会負担金	5,706	広く市内観光産業活性化のために活動できるよう、(公社)伊勢市観光協会の財政基盤安定化を目的として支援を行った。	185
4. 観光客受入基盤整備事業	7,153	神宮に続く観光スポットとして朝熊山へ訪れてもらうため、三重交通(株)と協働で参宮バスを運行した。 ・運行本数：1,210本 ・乗車人数：8,993人	185
5. 観光客受入環境創出事業	6,674	(公社)伊勢市観光協会と協働で、観光客を対象としたパンフレットの作成等を行った。また、春季の宮川堤公園の観光客集客に対応するため、案内看板、警備員の設置等を中島学区まちづくり協議会へ委託し、実施した。	185
6. 二見ビーチ活性化事業	7,783	三重県による宇治山田港(海岸)侵食対策工事施工のため、海水浴場の開設を中止したが、海岸周辺地域(ビーチを含む)を観光資源として活用し、年間を通じて継続的に集客できるイベント等を(公社)伊勢市観光協会等と連携して開催し、二見地域への観光誘客と地域の活性化を図る取り組みを行った。	185
7. リモート案内システム等導入事業	16,234	「非接触(リモート)」型観光案内サービスを観光案内所4か所に導入し、リモート観光案内と対面案内の拠点整備などを実施した。	185

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
8. <u>安全安心な観光地 づくり推進事業</u>	9,529	<p>感染症や自然災害への対策、多言語対応等の取組みを推進し、安全に安心して伊勢の観光を楽しめる環境を整える。訪れる人だけでなく住む人も満足ができる、持続可能な観光地づくりを行う。令和4年度は観光アドバイザーを派遣した分野別課題への助言や研修会の開催、観光地の感染防止対策、混雑緩和、日英併記看板の設置、観光地における観光危機管理に取り組んだ。</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>            当初予算額15,059,000円            ・観光アドバイザー派遣事業            ・観光地感染防止対策事業            ・観光地等混雑状況配信事業            ・観光地等混雑緩和事業            ・日英併記案内看板整備工事            ・観光地における観光危機管理</p> <p><b>【過去2カ年度の実績】</b>            令和2年度25,745,868円            ・観光地感染防止対策事業            ・観光地等混雑状況配信事業            ・日英併記案内看板整備工事            令和3年度27,584,715円            ・観光地感染防止対策事業            ・観光地等混雑状況配信事業            ・観光地等混雑緩和事業            ・日英併記案内看板整備工事</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>            観光危機管理や多言語対応等への取組みは今後も継続して取り組んでいく必要があるが、新型コロナウイルス感染症対策として取り組んできた事業の方向性を検討していく必要がある。</p>	185
9. <u>バリアフリー観光 推進事業</u>	1,364	<p>全国的に高齢化が進み人口が減少していく中、高齢者や身体の不自由な方を含む誰もが観光旅行を楽しむことができる体制を整え、観光客数を増加させることを目的に、平成23年度から受入環境向上のための取組を行っている。令和4年度は伊勢おもてなしヘルパーの推進、バリアフリー観光情報発信、観光バリアフリー支援調査、共生社会バリアフリーシンポジウムへの参画に取り組んだ。</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>            当初予算額1,468,000円            ・多様な主体を受け入れる観光バリアフリー支援調査            ・伊勢おもてなしヘルパー事業            ・バリアフリー観光情報発信事業</p> <p><b>【過去2カ年度の実績】</b>            令和2年度801,911円            ・伊勢おもてなしヘルパー事業            ・バリアフリー観光情報発信事業            令和3年度872,100円            ・伊勢おもてなしヘルパー事業            ・バリアフリー観光情報発信事業</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>            バリアフリー観光の先進地として、デジタル技術等も最大限に活用し、様々な障がい者を有する方が快適かつ安全安心に滞在できる環境を創出することにより、さらなる観光振興及び共生社会の推進につなげていく。</p>	185

(款)8 観光費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
10. <u>観光地域力の検証事業</u>	3,748	<p>伊勢市内の主な観光施設を訪れた観光客の実態等を「量」と「質」の両面で調査を行い、その結果を分析、考察し、市民、市内観光関連事業者等に発信する。また、令和4年度から令和7年度を計画期間とする「伊勢市観光振興基本計画」の検証を行うことを目的とする。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額4,679,000円 ・伊勢市観光振興基本計画に基づく取組の検証 ・伊勢市観光客実態調査</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度4,018,490円 ・伊勢市観光振興基本計画に基づく取組の検証 ・伊勢市観光客実態調査 ・外国人観光客実態調査 令和3年度12,329,724円 ・伊勢市観光振興基本計画の策定 ・伊勢市観光振興基本計画に基づく取組の検証 ・伊勢市観光客実態調査 ・外国人観光客実態調査</p> <p>【事業を取りまく状況等】 次期式年遷宮に向けた市内の機運醸成などに取り組むとともに、計画に基づく取り組みの検証についても引き続き行っていく。 また、ポストコロナにおける課題を実態調査等で明確にしつつ、必要な対策を実施していく必要がある。</p>	185

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	8,505	<p>国指定重要文化財である賓日館の運営及び維持管理について、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることで、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図った。また、施設の適正な管理を行い、維持向上に努めた。</p> <p>○入館者数 令和4年度 21,040人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災保険料 53千円</li> <li>・指定管理委託料 7,435千円</li> <li>・AED・駐車場用地賃借料 918千円</li> <li>・駐車場看板撤去工事 99千円</li> </ul>	185



(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 166,953 千円  
 決算額 158,198 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
36,000			9,000	113,198

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ・MIC E誘致推進事業	14,976	市内での各種スポーツ大会や合宿、会議等を誘致するため、市内宿泊者数に応じて補助金を交付する伊勢市集大会・スポーツ合宿誘致補助金事業を実施した。 ・交付団体(延べ) : 78団体 ・宿泊者数(延べ) : 18,517人	185

観光誘客課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>ターゲット戦略推進事業</u>	43,700	ターゲットを定めた効果的な情報発信を行うことを目的に、公共交通機関とのタイアップによる誘客キャンペーンの実施、日本を代表するグラフィックデザイナーと連携したポスター等作成、着地型旅行商品の造成販売等を実施した。 (令和4年度の実績) ・公共交通機関とのタイアップによる誘客キャンペーンの実施 ・グラフィックデザイナーを起用したポスター等作成 ・ラジオ放送等を活用した情報発信 ・クリエイターとの連携による「伊勢市新ブランド構想」の実現に向けた企画立案やサンプル開発等 ・観光体験・滞在メニューを活用した旅行商品の造成及び販売促進 ・公募により受け入れた文化・芸術分野のプロのクリエイターによる滞在中の創作活動を通じた観光PR ・関係団体との協働による観光PR活動  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 51,798,000円 ・パンフレット、ホームページ等での情報発信 ・公共交通機関タイアップキャンペーン、協働PR ・クリエイター連携PR事業 等  【過去2カ年度の実績】 令和2年度 33,616,861円 令和3年度 41,255,271円  【事業を取りまく状況等】 ・広報媒体のデジタル化を引き続き推進するとともに、コロナ禍で落ち込んでいた来訪者の増加を図ることが必要である。 ・発信媒体等における費用対効果を検証し、有効な事業について重点的に推進を図る必要がある。	185

(款)8 観光費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 広域連携事業	3,268	伊勢熊野観光連絡協議会、(公社)三重県観光連盟、(公社)日本観光振興協会等に参画し、事業展開を図った。	185
3. 伊勢志摩広域観光 活性化事業	17,350	(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構に参画し、伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩への観光客誘致、情報発信に向けた観光事業等を展開した。	185
4. 外国人観光客誘致 推進事業	19,584	ターゲットを他地域・団体との連携ではアジア、市単独事業では欧米と地域を分け、外国人観光客誘致に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらの事業実施となった。	185
5. 旅行消費拡大事業	30,000	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光事業者への支援のため、日帰り観光を宿泊につなげ、地域内の周遊促進・消費拡大させる事を目的に、伊勢志摩地域の宿泊施設に宿泊した方を対象に地域限定の買物クーポンが当たるスクラッチカードを配布するキャンペーン等を実施した。	185
6. 伊勢の魅力・文化 発信事業	9,790	コロナ禍における密を避けた新しい旅のスタイルの提案と、アフターコロナを見据えた旅行の促進及び認知度向上を目的に、市内のメインとなる観光スポット以外に注目したフォトコンテストの開催による情報発信や、世界各地の美術館が所蔵する作品等が高解像度で鑑賞できるサイトを活用した、伊勢の文化・芸術等のストーリーを作成した。	187

## スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. お伊勢さんマラソン 開催負担金	17,810	伊勢市出身でアテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき氏を大会長に迎え、地域の活性化とスポーツ振興、健康づくりを目的として、野口みずき杯2022中日三重お伊勢さんマラソンを3年ぶりに開催した。 ・開催日：ウォークの部、バリアフリーラン 令和4年12月3日 ランニングの部 令和4年12月4日 ・会場：三重県営サンアリーナ周辺 ・参加申込者数：8,263人	185

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化継承費

(単位 千円)

予算現額 37,100 千円  
 決算額 37,100 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			16,970	20,130

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 民俗伝統行事継承事業	37,100	「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、次期神宮式年遷宮に向けた事業計画に基づき、次世代継承等の事業を実施した。	頁 187

(款)8 観光費

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 414,065 千円  
 決算額 316,874 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	41,334		9,040	266,500

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地籍調査推進事業	63,256	国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。 (概要) ①令和4年度現年分 地籍調査業務 一式 5件 ○調査区域（業務内容） ・河崎3丁目、神久3丁目（調査・測量） 調査面積 0.13 k㎡ ・神久1丁目（素図作成） 調査面積 0.04 k㎡ ・神久2丁目（素図作成） 調査面積 0.18 k㎡ ・古市町、勢田町、倭町、尾上町（素図作成） 調査面積 0.13 k㎡ ・久世戸町、楠部町、古市町（素図作成） 調査面積 0.13 k㎡ システム保守業務 一式 1件 ②令和3年度から繰越 地籍調査業務 一式 5件 ○調査区域（業務内容） ・河崎2丁目（閲覧） 調査面積 0.11 k㎡ ・二見町荘、二見町西（調査・測量） 調査面積 0.16 k㎡ ・河崎2丁目（調査・測量） 調査面積 0.02 k㎡ ・神久3丁目、神久4丁目（調査） 調査面積 0.09 k㎡ ・神久3丁目、神久4丁目（測量） 調査面積 0.09 k㎡	187

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 184,318 千円  
 決算額 179,454 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,850				177,604

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	17,450	<p>適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄附採納を行った。また、道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。</p> <p>(概要) ○道路台帳修正 7.9 km                      供用開始 (新規認定) 2.3 km                      供用開始 (区域変更) 1.4 km                      未供用 (区域変更) 0.3 km                      廃止 0.4 km                      改良 3.4 km                      橋 0.1 km</p> <p>狭あい道路の解消を図るため、建築行為等に際して、道路後退用地の寄附採納を行い、安心安全で快適なまちづくりを進めた。</p> <p>(概要) ○後退用地等に係る報償金                      申請者数 4名                      筆数 5筆                      面積 91.15㎡                      金額 811,462円</p> <p>○後退用地等に係る助成金                      申請者数 6名                      筆数 7筆                      面積 141.93㎡                      金額 900,000円</p>	189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 247,457 千円  
 決算額 242,182 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,000		84,100	76,700	77,382

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路維持補修経費	157,160	<p>道路交通の安全性を確保する上で、現状の実態を把握し、異常又は損傷を早期に発見するとともに、対策の要否の判断を行い、計画的な修繕を実施することで道路施設の長寿命化及びそれに伴うコスト縮減を図っている。</p> <p>(概要)                      トンネル補修 1件 4,722千円                      ◇道路更新防災等対策事業</p>	189

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	64,426	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 (概要) 道路舗装                    A = 8,610 m <sup>2</sup> 6件	189
2. 通学路維持補修経費	14,524	通学路の安全点検結果より、対策必要箇所について、箇所ごとに防護柵等の整備、路面表示等の設置を行った。 (概要) 車止め設置                    N = 6 基                    1件 区画線                            L = 4,802 m                    8件 道路舗装                        A = 70 m <sup>2</sup> 1件  【当初予算における内容、計画】 当初予算額                    13,897,000円 通学路維持補修工事                    13件  【過去2ヵ年度の実績】 令和4年度からの新規事業  【事業を取りまく状況等】 通学路の合同点検において安全対策を実施した箇所について、対策実施後の効果、対策の改善・充実を行い継続的に取り組んでいく必要がある。	189
3. (新ごみ処理施設整備関連) 道路舗装事業	6,072	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。 (概要) 道路舗装                        A = 672 m <sup>2</sup> 1件	189

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 531,159 千円  
 決算額 419,635 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,058		371,700	14,422	25,455

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 道路改良事業	126,242	市民生活に密着した道路の拡幅等改良を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を進めている。 (概要) ①令和4年度現年分 設計業務 一式 1件 工作物調査業務 一式 2件 工事施工委託 一式 1件 除草業務 一式 1件 用地 A = 313.23㎡ ②令和3年度から一部繰越及び令和4年度と合併施行 橋梁下部工 一式 1件 ③令和3年度から繰越 設計業務 一式 1件 測量業務 一式 1件 ④令和5年度へ一部繰越 道路整備 L = 153m 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	頁 189

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 道路側溝等改良事業	293,393	市民生活に密着した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。 (概要) 測量設計業務 一式 11件 施工延長 L = 3,001m 25件 工事施行委託 L = 29m 1件	頁 189

(款)9 土木費

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 91,948 千円  
 決算額 46,517 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,990		9,600		13,927

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 橋梁長寿命化事業	45,497	道路交通の安全性を確保する上で、従来破損してから修繕するという事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁施設の長寿命化及びそれに伴うコスト縮減を図っている。 (概要) 点検業務 一式 2件 設計業務 一式 1件 橋梁修繕 一式 2件 ◇道路更新防災等対策事業	頁 191

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 73,220 千円  
 決算額 67,299 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				67,299

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 交通安全施設整備事業	27,145	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 区画線設置、道路反射鏡設置及び道路照明灯設置等 一式	頁 191



(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 884,733 千円  
 決算額 652,574 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
263,521		276,700	20,883	91,470

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 一之木5丁目16号線整備事業	70,385	<p>本地域は、道路網が未整備な上、伊勢赤十字病院や商業施設への交通によって、慢性的な渋滞が発生し、一般車両のみならず救急車両のアクセスも悪い状況である。このことから、来訪者や救急車両の交通の円滑化を図り、快適かつ安全安心なまちづくりを行うため、本路線の整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①令和4年度現年分                      工作物調査再算定業務 一式 1件                      用地 A = 547.67m<sup>2</sup></p> <p>②令和3年度から一部繰越                      設計業務 一式 1件</p>	頁 191
2. 高向小保線ほか1線整備事業	456,358	<p>現在の宮川橋は、老朽化が著しい状況であるが、橋梁の設置位置の問題から現位置での架替えが困難であるため、代替機能を持つ本路線の整備が必要である。宮川に新たに橋梁を架設し、交通の円滑化及び道路環境改善を図るため整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①令和4年度現年分                      除草業務 一式 1件                      建物調査業務 一式 2件                      建物調査再算定業務 一式 1件                      受委託契約(工事積算) 一式 1件                      用地 A = 171.32m<sup>2</sup>                      不動産鑑定評価業務 一式 4件                      筆界特定申請業務 一式 1件                      登記業務 一式 3件</p> <p>②令和3年度から一部繰越                      補償 4名(延べ人数)</p> <p>③令和3年度から繰越及び令和4年度現年分                      受委託契約(橋梁詳細設計) 一式 1件                      ※債務負担行為による令和2年度～令和4年度契約</p> <p>④令和3年度から繰越                      建物調査業務 一式 1件                      建物調査再算定業務 一式 2件                      用地 A = 424.02m<sup>2</sup>                      補償 8名(延べ人数)                      登記業務 一式 6件</p> <p>⑤令和5年度へ一部繰越                      受委託契約(橋梁下部工事) 一式 1件                      ※債務負担行為による令和4年度～令和5年度契約                      事業用地整備 L = 19.5m                      道路整備 L = 106m                      補償 5名(延べ人数)</p> <p>⑥令和5年度へ繰越                      建物調査業務 一式 1件                      補償 1名</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業                      ◇道路更新防災等対策事業</p>	191

(款)9 土木費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p><b>【当初予算における内容、計画】</b>  当初予算額 360,957,000円  ・橋梁詳細設計業務 一式  ・橋梁下部 一式  ・道路整備 一式  ・除草業務 一式  ・建物調査業務 一式  ・建物調査再算定業務 一式  ・事業認可申請図書作成業務 一式  ・筆界特定申請業務 一式  ・不動産鑑定評価業務 一式  ・登記業務 一式  ・用地 一式  ・補償 一式  繰越予算額 262,460,248円  ・橋梁詳細設計業務 一式  ・建物調査業務 一式  ・用地 一式  ・補償 一式</p> <p><b>【過去2ヵ年度の実績】</b>  令和2年度 253,784,632円  ・地質調査業務 一式 1件  ・橋梁詳細設計業務 一式 1件  ・道路詳細設計業務 一式 1件  ・用地測量業務 一式 1件  ・工事積算業務 一式 1件  ・除草業務 一式 1件  ・樹木伐採等業務 一式 1件  ・建物調査再算定業務 一式 1件  ・用地 A=4,008.44㎡  ・補償 17名(延べ人数)  (前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む)</p> <p>令和3年度 119,724,320円  ・橋梁詳細設計業務 一式 1件  ・土地評価業務 一式 1件  ・除草業務 一式 2件  ・営業その他調査業務 一式 1件  ・建物調査業務 一式 1件  ・建物調査再算定業務 一式 4件  ・用地 A=1,451.26㎡  ・補償 6名(延べ人数)  (前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む)</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>  ・道路、橋梁の詳細設計にあたっては、河川管理者と協議するとともに、近接するJRとも協議を行い進めていく。  ・橋梁区間の設計・調査・工事については、専門的な知識を要するため県へ委託する。  ・大規模な事業である本路線には多大な事業費が必要であるが、国からの予算配分が厳しい状況であることから、財源確保が重要な課題である。</p>	

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																																															
3. <u>通学路整備事業</u>	70,144	<p>小中学校の通学路における通学路交通安全プログラムでの要対策箇所をはじめ、通学路の安全対策を重点的に実施することで危険箇所の解消を図り、安全安心な歩行空間を確保するため、整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①令和4年度現年分</p> <table border="0"> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 306 m</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路舗装</td> <td>A = 1,589 m<sup>2</sup></td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>②令和3年度から繰越</p> <table border="0"> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 27 m</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>建物解体</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>65,000,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・道路改良</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>繰越予算額</td> <td>5,998,300円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・道路改良</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建物解体</td> <td>一式</td> <td></td> </tr> </table> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>令和2年度 137,662,300円</p> <table border="0"> <tr> <td>測量業務委託</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路改良(歩道橋上部工)</td> <td>L = 41 m</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 113 m</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路舗装</td> <td>A = 1,574 m<sup>2</sup></td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路改良(橋台整備)</td> <td>N = 1 箇所</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>(前年度からの繰越を含む)</p> <p>令和3年度 28,481,642円</p> <table border="0"> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>道路改良</td> <td>L = 249 m</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>建物解体</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>A = 353.82 m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>1名</td> <td></td> </tr> </table> <p>(前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む)</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者、警察、道路管理者などで伊勢市通学路交通安全推進協議会を設置し、通学路の安全対策に取り組んでいる。</li> <li>・財源の確保が厳しい状況にある。</li> </ul>	道路改良	L = 306 m	1件	道路舗装	A = 1,589 m <sup>2</sup>	1件	道路改良	L = 27 m	1件	建物解体	一式	1件	当初予算額	65,000,000円		・道路改良	一式		繰越予算額	5,998,300円		・道路改良	一式		・建物解体	一式		測量業務委託	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	道路改良(歩道橋上部工)	L = 41 m	1件	道路改良	L = 113 m	1件	道路舗装	A = 1,574 m <sup>2</sup>	1件	道路改良(橋台整備)	N = 1 箇所	1件	測量業務	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	道路改良	L = 249 m	2件	建物解体	一式	1件	用地	A = 353.82 m <sup>2</sup>		補償	1名		191
道路改良	L = 306 m	1件																																																																
道路舗装	A = 1,589 m <sup>2</sup>	1件																																																																
道路改良	L = 27 m	1件																																																																
建物解体	一式	1件																																																																
当初予算額	65,000,000円																																																																	
・道路改良	一式																																																																	
繰越予算額	5,998,300円																																																																	
・道路改良	一式																																																																	
・建物解体	一式																																																																	
測量業務委託	一式	1件																																																																
詳細設計業務	一式	1件																																																																
道路改良(歩道橋上部工)	L = 41 m	1件																																																																
道路改良	L = 113 m	1件																																																																
道路舗装	A = 1,574 m <sup>2</sup>	1件																																																																
道路改良(橋台整備)	N = 1 箇所	1件																																																																
測量業務	一式	1件																																																																
詳細設計業務	一式	1件																																																																
道路改良	L = 249 m	2件																																																																
建物解体	一式	1件																																																																
用地	A = 353.82 m <sup>2</sup>																																																																	
補償	1名																																																																	

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 中心市街地活性化 整備事業	55,687	<p>伊勢市駅周辺の道路や駐輪場の整備を行い、住環境の向上と中心市街地の賑わいを創出し、活性化を図るため整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①令和4年度現年分 道路改良 L=62m 1件</p> <p>②令和5年度へ一部繰越 道路舗装 A=2,070㎡ 1件</p> <p>③令和5年度へ繰越 予備設計修正業務 一式 1件</p> <p>◇都市構造再編集集中支援事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 117,900,000円 ・予備設計修正業務 一式 ・道路改良 一式 ・道路舗装 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和2年度 61,301,300円 ・地下横断歩道耐震診断業務 一式 1件 ・地下横断歩道沈下検討業務 一式 1件 ・防火水槽詳細設計業務 一式 1件 ・視覚障がい者誘導ブロック整備 A=92㎡ 1件 ・道路舗装 A=1,173㎡ 1件 ・道路整備 L=151m 1件 ・照明灯設置 N=4基 1件 (次年度への繰越を含む)</p> <p>令和3年度 132,627,600円 ・測量業務 一式 1件 ・道路詳細設計業務 一式 1件 ・交通安全施設設置 一式 1件 ・視覚障がい者誘導ブロック整備 A=78㎡ 1件 ・道路舗装 A=1,173㎡ 1件 ・道路整備 L=151m 1件 ・照明灯設置 N=4基 1件 (前年度からの繰越を含む)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・再開発事業とのスケジュール調整や地元商店街との協議が必要である。</p>	191

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 3. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 26,670 千円  
決算額 26,224 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		26,200		24

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	26,224	<p>流下能力不足や護岸、河床の浸食等により人家等への災害発生が危惧される河川において、災害を防止するため、護岸改良整備等を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>測量業務 一式 3件 詳細設計業務 一式 3件</p>	193

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 排水路維持費

(単位 千円)

予算現額 266,322 千円  
 決算額 225,679 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		71,000		154,679

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. <u>排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)</u>	74,565	<p>対象施設の追加やポンプ場の機能診断を行う等、定期的に見直しを行っている長期補修計画に基づき、効率かつ効果的なポンプ場の運用及び予防保全の観点による都市ポンプ場の整備、機能更新を行った。</p> <p>(概要)                      都市ポンプ場ほか施設整備更新詳細設計業務 一式                      (ポンプ場 2 機場、ポンプ施設 1 施設)                      施設整備更新工事                      令和4年度現年分                      ポンプ場 1 機場                      ポンプ施設 4 施設                      令和5年度へ繰越                      ポンプ施設 2 施設</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 99,000,000円                      都市ポンプ場ほか施設整備更新詳細設計業務 一式                      (ポンプ場 2 機場、ポンプ施設 5 施設)                      施設整備更新工事                      ポンプ場 1 機場                      ポンプ施設 5 施設</p> <p>【過去2カ年度の実績】                      令和2年度                      施設整備更新工事                      ポンプ場 2 機場                      ポンプ施設 9 施設                      (前年度からの繰越を含む)</p> <p>令和3年度                      ポンプ場施設整備更新詳細設計業務 一式                      (ポンプ施設 3 施設)                      施設整備更新工事                      ポンプ場 1 機場                      ポンプ施設 5 施設</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      ・設備の老朽化に伴う更新費用の増大への懸念に対し、長期補修計画を作成し、施設を延命化することによりライフサイクルコストの縮減を図った。                      ・計画的な維持管理を行うために、事後保全方式から予防保全方式に切り替えることにより、地域の治水に対する安全性、信頼性を確保した。</p>	頁 193

(款)9 土木費

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 5. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 129,919 千円  
 決算額 107,131 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		94,700	38	12,393

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 排水施設整備事業	107,131	<p>豪雨時の急激な増水等による浸水被害を防止するため、排水路の整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①令和4年度現年分                      測量業務 一式 2件                      詳細設計業務 一式 2件                      排水路改良 L=118m 3件</p> <p>②令和3年度から一部繰越                      排水路改良 L=62m 1件</p> <p>③令和5年度へ一部繰越                      排水路改良 L=50m 1件</p> <p>④令和5年度へ繰越                      詳細設計業務 一式 1件</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 103,400,000円                      詳細設計業務 一式                      測量業務 一式                      排水路改良 一式                      補償 一式                      繰越予算額 30,640,600円                      排水路改良 一式                      補償 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和2年度 249,191,399円                      排水路改良 L=513m 6件                      試掘工事 3か所 1件                      用地 A=13.88㎡                      補償 2名(延べ人数)                      監督支援業務 一式 1件                      ポンプ場電気設備工事 一式 1件                      ポンプ場機械設備工事 一式 1件                      (前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む)                      (令和元・2年度継続費を含む)</p> <p>令和3年度 134,321,223円                      基本検討業務 一式 4件                      排水路改良 L=591m 7件                      用地測量業務 一式 1件                      用地 A=40.03㎡                      補償 5名(延べ人数)                      (前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む)</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      ・大雨の頻度が増えており、市内各所において浸水被害が起きていることから、豪雨時の急激な増水等による浸水を防止するため、排水路の整備を行っている。</p>	頁 193

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 35,903 千円  
 決算額 24,360 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,686	12,900	780	5,994

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	14,780	三重県が施行した港湾改修事業に対し、負担を行った。 (宇治山田港)	193

(款)9 土木費

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 592,035 千円  
 決算額 591,912 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
323,564		226,000	24,100	18,248

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 中心市街地再生事業	581,808	<p>急速な人口減少と少子高齢化などの影響により、市街地の低密度化が進み、中心市街地の都市機能の低下が問題となっている。そのため、多くの人にとって安全で快適に暮らせるまちづくりを実現することで、中心市街地の再生と活性化を図る。</p> <p>令和4年度は、伊勢市駅前C地区市街地再開発事業に参画する企業の信用調査を行い、事業の健全性を確認するとともに、市街地再開発事業等を推進するため、伊勢市駅前C地区再開発組合が実施する権利変換計画作成及び地権者への建物等補償費に対し、補助金などによる支援を行った。</p> <p>(概要)                      令和4年度                      (住環境整備交付金) 581,807,300円                      補助金 一式 1件                      負担金 一式 2件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】                      (住環境整備交付金)                      当初予算額 580,423,000円                      補助金 一式 1件                      手数料 一式 1件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和2年度                      (住環境整備交付金) 46,128,000円                      補助金 一式 1件                      収支計画確認業務 一式 2件                      令和3年度                      (住環境整備交付金) 2,456,477,000円                      補助金 一式 3件                      収支計画確認業務 一式 1件                      アンケート調査分析業務 一式 1件                      貸付金 一式 1件                      (前年度からの繰越を含む)</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      ・住環境整備交付金により支援し、平成28年度に完成した民間都市開発の効果により、伊勢市駅前地区周辺地域のにぎわいが取り戻されつつあり、活性化に向けた動きも活発化している。更なる中心市街地の再生と活性化を図るため、隣接する新たな民間都市開発に対しても、補助金等による支援を行い、事業を促進させる必要がある。</p>	頁 195



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 中心市街地都市機能再生促進事業	6,518	都市機能再生事業にて施行された施設に対し、「伊勢市中心市街地都市機能再生促進条例」に基づき都市機能再生奨励金の交付を行うことで、事業効果を一層促進させ、伊勢市駅前周辺の活性化を図る。 令和4年度は、都市機能再生奨励金として、3件の交付を行った。 (概要) 令和4年度 都市機能再生奨励金	195
3. 立地適正化計画推進事業	3,586	医療、福祉、商業、公共交通等のさまざまな都市機能及び居住機能の誘導により、人口減少社会・高齢化社会において持続可能な都市経営を実現をするため、平成29年度末に伊勢市立地適正化計画を策定した。 近年頻発・激甚化する自然災害により、防災面を強化する法改正が行われたことから、災害リスクを踏まえた誘導区域を再設定する等の見直し作業を実施し、令和4年度末に伊勢市立地適正化計画を改定した。 (概要) 令和4年度 立地適正化計画改定業務 ※債務負担行為による令和3年度～令和4年度契約 ◇都市構造再編集集中支援事業	195

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 104,719 千円  
決算額 80,137 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		57,900	10,485	11,752

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	69,796	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (外宮度会橋線【鳥羽松阪線】) (外宮常磐線【伊勢南島線】) (本町宮川堤線【伊勢南島線】)	197

(款)9 土木費

**基盤整備課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁									
1. 岡本吹上線改良事業	10,341	<p>電線類が景観を阻害しており、また、地震による電柱の倒壊などの被害が懸念されるため、線類を地中化することにより、都市景観の向上と災害に強いまちづくりを進めている。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>予備設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>試掘工事</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,700,000円 ・測量業務 一式 ・予備設計業務 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和4年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 宇治山田駅前の岡本吹上線は、市民や観光客などの利用者も多く、通行空間の安全性・快適性、観光地として良好な景観形成を図る必要がある。また、第3次緊急輸送道路に位置付けられていることから、道路の防災機能の向上も求められている。</p>	測量業務	一式	1件	予備設計業務	一式	1件	試掘工事	一式	1件	197
測量業務	一式	1件										
予備設計業務	一式	1件										
試掘工事	一式	1件										

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 164,580 千円  
決算額 158,576 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,500		77,200	29,015	24,861

**基盤整備課**

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁			
1. 宮川河川敷公園整備事業	4,886	<p>宮川の高水敷を利用した公園整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>公園整備</td> <td>A = 400 m<sup>2</sup></td> <td>1件</td> </tr> </table>	公園整備	A = 400 m <sup>2</sup>	1件	197
公園整備	A = 400 m <sup>2</sup>	1件				

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>公園整備事業</u>	22,119	<p>地域住民や来訪者が集い、憩いやコミュニティ活動の場、子どもの遊び場となる公園整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①令和4年度現年分 基本設計業務 一式 1件</p> <p>②令和3年度からの繰越 公園整備 一式 1件 用地 A=124.13㎡ 補償 1名</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 12,000,000円 ・測量業務 一式 ・基本設計業務 一式</p> <p>【過去2カ年度の実績】 令和3年度からの新規事業 令和3年度 31,250,665円 ・測量業務 一式 1件 ・公園整備 一式 1件 ・不動産鑑定評価業務 一式 1件 ・水道加入金 一式 1件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 少子高齢化が加速するなど社会環境の変化やニーズの変化等に応じて公園の充実を図る必要があることから、地元住民や関係団体と連携し、地域特性や利用特性を考慮した憩いやコミュニティの場を創出して、多様な世代が利用できる魅力的な公園整備に取り組んでいく必要がある。</p>	197
3. <u>生まれこどもたち公園整備事業</u>	76,239	<p>都市公園の種別や地域特性、社会需要に応じ、地域住民や来訪者が集い、交流拠点となる公園に遊具等を増設し、憩いや子どもの遊び場となる公園整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>令和4年度現年分 測量業務 一式 1件 詳細設計業務 一式 1件 公園整備 一式 4件</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 69,530,000円 ・測量業務 一式 ・詳細設計業務 一式 ・公園整備 一式</p> <p>【過去2カ年度の実績】 令和4年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 住民や関係者等の意見をより多く聞き入れ、インクルーシブな遊具を含めた遊具の選定を行うことにより、誰もが一緒に遊べ、多くの人が交流できる公園となるよう取り組んでいく必要がある。 また、財源確保の取り組みのため、「ふるさと納税型クラウドファンディング」や「企業版ふるさと納税」を活用している。</p>	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 公園長寿命化事業	55,332	公園施設の安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新投資を行っていくため、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の長寿命化を図っている。本年度は、11公園の遊具の更新を行った。 (概要) 公園改修 一式 4件 予備調査及び健全度調査 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	197

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 245,189 千円  
決算額 228,459 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,828		32,200	136,887	40,544

住宅政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公営住宅維持管理経費	116,278	入居者サービスの向上のための指定管理者による市営住宅等の管理を開始し、単身高齢者の定期巡回や、休日・夜間も含め迅速な対応を行った。また、効率的かつ経済的な管理運営のため、住宅の調査等を定期に行った。 指定管理者：FE住宅管理共同企業体 期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日 期間全体の 指定管理料：480,471,276円	197
2. 住宅等改修事業	20,640	市営住宅の機能保持と入居者の安全を確保するため、下記の工事及び業務を施行した。 (概要) 下水道接続工事 ・リバーサイドせせらぎ 一式 1件 ・高倉団地 一式 1件 ・浦口団地 一式 1件 自動火災報知設備更新工事 ・リバーサイドせせらぎ 一式 1件 コンクリートブロック塀撤去工事 ・高倉団地 一式 1件 浄化槽清掃業務 ・リバーサイドせせらぎ 一式 1件 ・浦口団地 一式 1件 ・高倉団地 一式 1件 アスベスト含有分析調査業務 ・下小俣団地 一式 1件	197
3. 住宅等整備事業	42,018	令和3年度に策定した「社会資本総合整備計画(地域住宅計画)」及び「伊勢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を施行した。 (概要) 屋根等改修工事 ・旭団地 一式 1件 ・五十鈴川団地 一式 1件	197

(款)9 土木費

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 2. 住宅対策費

(単位 千円)

予算現額 65,858 千円  
 決算額 54,249 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,633	8,754			20,862

住宅政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 住宅・建築物耐震 改修等促進事業	48,929	<p>阪神・淡路大震災で昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、南海トラフ地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。その結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。また、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強いまちづくりを推進するため、市内に存する危険なブロック塀等の撤去に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震診断等業務 一式 167件</li> <li>・補助金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強設計 一式 2件</li> <li>耐震補強工事 一式 4件</li> <li>除却工事 一式 116件</li> <li>リフォーム工事 一式 3件</li> <li>ブロック塀等撤去工事 一式 27件</li> </ul> </li> </ul>	頁 199
2. 空家等対策事業	5,320	<p>伊勢市空家等対策計画に基づき、特定空家等をはじめとする周辺に悪影響を及ぼす管理不全な空家等の解消に取り組むとともに、伊勢市空家バンク制度を運営するなど、空家の利活用の促進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家等の除却・管理済件数 267件</li> <li>・特定空家等への対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>総件数 認定 13件 (うち解除済 10件)</li> <li>R4実績 解除 2件</li> </ul> </li> <li>・伊勢市空家バンク制度の運営                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(登録)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>総件数 所有者等 135件 利用者 626件</li> <li>R4実績 所有者等 41件 利用者 209件</li> </ul> </li> <li>(成約)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>総件数 売買 34件 賃貸 17件</li> <li>R4実績 売買 10件 賃貸 5件</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・空家バンク物件調査等業務 一式</li> <li>・空家所有者等調査業務 一式</li> <li>・空家管理システム運用保守業務 一式</li> <li>・空家に関する電話無料相談会の実施</li> <li>・空家無料相談制度等の広報周知</li> <li>・伊勢市空家等対策協議会の開催 1回</li> <li>・伊勢市空家等対策協議会等支援業務 一式</li> <li>・空家に住んでみません家事業補助金 (家賃補助) 5件</li> <li>・老朽危険空家等除却事業補助金 4件</li> <li>・空家関連補助制度等のチラシ等作成 一式</li> </ul>	199

(款)9 土木費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p><b>【当初予算における内容、計画】</b>  当初予算額 13,894,000円  ・空家の適正管理及び活用案内チラシ等作成 一式  ・伊勢市空家バンク物件調査等業務 一式  ・伊勢市空家等対策協議会等支援業務 一式  ・空家所有者等調査業務 一式  ・空家管理システム運用保守業務 一式  ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金 1件  ・空家に住んでみません家事業補助金  (家賃補助) 3件 (改修補助) 2件  ・老朽危険空家除却事業費補助金 20件</p> <p><b>【過去2カ年度の実績】</b>  令和2年度 17,478,604円  ・空家の適正管理及び活用案内チラシ等作成 一式  ・伊勢市空家バンク物件調査等業務 一式  ・伊勢市空家等対策協議会等支援業務 一式  ・空家所有者等調査業務 一式  ・空家管理システム運用保守管理業務 一式  ・空家等実態調査業務 一式  ・移住促進のための空き家リノベーション支援事業費補助金 1件  ・空家に住んでみません家事業補助金  (家賃補助) 3件  ・老朽危険空家等除却事業補助金 4件</p> <p>令和3年度 5,084,804円  ・空家の適正管理及び活用案内チラシ等作成 一式  ・伊勢市空家バンク物件調査等業務 一式  ・伊勢市空家等対策協議会等支援業務 一式  ・空家所有者等調査業務 一式  ・空家管理システム運用保守管理業務 一式  ・空家に住んでみません家事業補助金  (家賃補助) 4件 (改修補助) 1件  ・老朽危険空家等除却事業補助金 4件</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>  管理状態の悪い空家は地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、空家等に関する対策を効果的かつ効率的に推進していく必要がある。</p>	

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 1,962,616 千円  
 決算額 1,934,812 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28	4,705	17,300	388,149	1,524,630

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 応急手当普及啓発事業	1,369	<p>「いつでも・どこでも・誰でも」応急手当が可能となるよう、自動体外式除細動器 (AED) の取り扱いを含めた講習を行い、市民への普及を図った。</p> <p>救命講習に係る消耗品 984千円                      救命講習用資器材 1式 385千円</p> <p>【実績】                      令和4年度救命講習開催回数 173回                      受講延人数 2,437人</p>	199
2. 各種資機材購入経費	18,917	<p>救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。</p> <p>呼吸器用高圧空気圧縮機 1式 5,775千円                      本署配備                      防火衣・防火帽 17組 4,095千円                      職員貸与補充                      消防用ホース 70本 2,443千円                      各署所配備                      災害対応ドローン 1式 1,986千円ほか                      消防課配備</p>	199
3. 消防自動車購入事業	4,271	<p>円滑な災害活動を行うことを目的に、署隊本部車1台を更新した。</p> <p>署隊本部車 1台 3,267千円ほか                      本署配備</p>	199
4. 救急車購入事業	33,329	<p>円滑な救急活動を行うことを目的に、玉城出張所配備の老朽化した高規格救急自動車を更新した。</p> <p>高規格救急自動車 19,030千円                      高度救命処置用資機材 14,223千円ほか</p>	199

(款)10 消防費

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 119,584 千円  
 決算額 104,784 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
126		11,300	12,703	80,655

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	2,226	消防団活動に必要な資機材の充実を図った。 消防団用ホース 47本 1,468千円 第1～7方面隊配備 発動発電機及び投光器 3セット 380千円ほか 二見分団二見第3班、宮山分団、上野分団上野班配備	199
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	19,588	老朽化した消防団車両2台を更新した。 小型動力ポンプ付積載車 2台 18,920千円ほか 御菌分団御菌第1班、城田分団中須班配備	201

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 54,199 千円  
 決算額 50,772 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			374	50,398

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	7,984	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に消火栓を設置し、消防水利の整備を図った。 単口消火栓6基 7,984千円	201
2. 消防水利施設整備経費	13,130	消火活動を円滑にするため老朽化した消防水利の改修及び消防水利の明示化を図った。 消防水利蓋改修工事 5,643千円 防火井戸埋設工事 4,919千円 消防水利溶着塗装工事 1,742千円ほか	201
3. 消防署庁舎改修経費	4,536	消防署庁舎の機能維持と長寿命化を目的とした改修を行った。 消防署西分署照明改修工事 1,870千円 消防署小俣分署照明改修工事 1,587千円 消防署西分署待機室改修工事 1,079千円	201



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 消防団車庫改修事業	2,409	消防団車庫の長寿命化を目的とした改修を行った。 消防団修道・明倫分団車庫塗装工事 1,254千円 消防団佐八分団津村班車庫塗装工事 1,155千円	201

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 4. 水防費

(単位 千円)

予算現額 7,842 千円  
決算額 3,374 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,374

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 水害予防経費	3,374	河川、港湾海岸等の洪水・津波又は高潮の際に被害を軽減するため、関係機関と共に伊勢市水防訓練を行った。また、台風等による豪雨時には、道路冠水、家屋への浸水を防ぐため、市内を巡視し、道路冠水箇所の通行止め、自治会へ土のう配布など水防活動を行った。 (概要) ・危機管理型水位計点検業務 ・水防訓練の実施 ・配布用土のうの作成	201

(款)10 消防費

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 301,842 千円  
 決算額 276,866 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,400	1,001	89,000	34,446	139,019

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. <u>災害対応デジタル 推進事業</u>	20,468	<p>災害時の避難所（避難生活施設）となる小中学校の屋内運動場（11校）にWi-Fi環境を整備した。（教育委員会教育研究所執行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校屋内運動場（避難所）用ネットワーク機器購入経費 5,827千円</li> <li>・伊勢市立小中学校及び教育支援ネットワーク改修業務委託（危機管理課分） 8,250千円</li> </ul> <p>防災行政無線の放送内容や防犯情報、火災情報等の緊急情報をメール、FAX等で配信する伊勢市防災メール配信システムをLINE等のSNSとの連携や新規携帯事業者への緊急速報メールに対応するため改修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢市防災メール配信システム改修業務委託 3,465千円</li> <li>・防災メールシステム更新に伴う防災行政無線操作卓改修業務委託 1,265千円</li> <li>・メール配信システム運用経費 1,661千円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】                      当初予算額 21,000千円                      避難所（避難生活施設）にWi-Fi環境を構築する。特に小中学校の屋内運動場には整備されていないことから優先的に整備を進め、既に整備された公共施設のWi-Fi環境も増強等、順次整備していく。</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】                      令和4年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】                      インターネットが普及する中、災害時においてもWi-Fi環境の整備を要望する声は多く、特に災害時の避難生活が長期化すると避難者からのニーズも増えることが想定される。</p>	頁 203

防災施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. <u>避難所等整備事業</u></p>	<p>105,253</p>	<p>○災害時に利用する避難生活施設等の環境整備として、災害用トイレ等の整備を行った。</p> <p>避難生活施設等の環境整備[貯留型エリア]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 宮山小学校</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 宮山小学校</li> </ul> <p>避難生活施設等の環境整備[下水道流下型エリア]</p> <p>①令和4年度現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 進修小学校</li> <li>・バリアフリースイールの整備 中島小学校</li> </ul> <p>②令和3年度一部繰越分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 中島小学校</li> </ul> <p>③令和3年度から繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 中島小学校</li> </ul> <p>【当初予算における計画、内容】</p> <p>当初予算額 95,100,000円 (避難生活施設等の環境整備 [貯留型エリア])</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備</li> </ul> <p>(避難生活施設等の環境整備 [下水道流下型エリア])</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備</li> <li>・バリアフリースイールの整備</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備</li> </ul> <p>(その他避難所の整備等) 避難所看板設置</p> <p>繰越予算額 36,500,000円 (避難生活施設等の環境整備 [下水道流下型エリア])</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備</li> </ul> <p>【過去2カ年の実績】</p> <p>令和2年度 218,861,597円 避難生活施設等の環境整備 [貯留型エリア]</p> <p>①令和2年度現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 伊勢宮川中学校、修道小学校、 伊勢市生涯学習センター</li> <li>・バリアフリースイールの整備 宮山小学校</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 修道小学校</li> </ul>	<p>203</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>②令和元年度から繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 倉田山中学校</li> </ul> <p>避難生活施設等の環境整備[下水道流下型エリア]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 小俣小学校、明野小学校</li> <li>・バリアフリートイレの整備 進修小学校、小俣小学校</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 小俣小学校、明野小学校</li> </ul> <p>防災備蓄倉庫等基本検討業務委託（令和2～3年度）</p> <p>その他避難所の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所看板設置</li> <li>避難所照明灯設置</li> <li>地震自動解錠付防災ボックスの設置</li> </ul> <p>令和3年度 307,706,766円</p> <p>避難生活施設等の環境整備[貯留型エリア]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 佐八小学校、上野小学校、 城田中学校、旧沼木中学校</li> <li>・バリアフリートイレの整備 佐八小学校、上野小学校、 城田中学校、旧沼木中学校</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 佐八小学校、上野小学校、城田中学校</li> </ul> <p>避難生活施設等の環境整備[下水道流下型エリア]</p> <p>①令和3年度現年分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 厚生小学校、五十鈴中学校</li> <li>・バリアフリートイレの整備 厚生小学校、五十鈴中学校、小俣中学校</li> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 厚生小学校、五十鈴中学校</li> </ul> <p>②令和2年度から一部繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ等の整備 早修小学校、小俣中学校</li> </ul> <p>③令和2年度から繰越</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ保管庫の整備 早修小学校、小俣中学校</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフの巨大地震等の災害から市民の生命を守るため、平成25年度から津波緊急避難場所の整備を行い、平成30年度に整備が完了した。</li> <li>・避難生活施設等の環境整備し、避難生活時の災害関連死を防止するため、令和元年度から災害用マンホールトイレの整備及び屋内運動場のトイレのバリアフリー化を行い、令和4年度に整備が完了した。</li> <li>・今後は別事業として、災害時に利用する備蓄倉庫の整備を進めていく。</li> </ul>	

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害ボランティア 支援事業	597	市と社会福祉協議会が関係団体等と協働して運営する災害ボランティアセンターに関して、有事の際に円滑な対応ができるよう、各種の取組を行った（社会福祉協議会への負担金により実施）。	203

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 避難行動要支援者 対策事業	3,667	<p>災害時に、自分自身や家族の支援だけでは避難することが困難な人が迅速・安全に避難支援等が受けられる体制を整えるため、対象者に対し避難支援等関係者に『防災ささえあい名簿』として情報共有することについての同意書を送付した。また、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするため、『防災ささえあい名簿』に登録された人に対し、個別避難計画作成の勧奨通知を送付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ささえあい名簿登録者 3,624人</li> <li>・個別避難計画作成者 1,781人</li> </ul>	203

(款)10 消防費

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育振興費

(単位 千円)

予算現額 3,481,132 千円  
 決算額 3,448,431 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,097	6,958	3,016,400	17,403	395,573

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 通学安全対策事業	51,468	道路・交通事情等により通学に危険等が生じる遠距離通学等児童生徒に対してスクールバス等を運行することで、安全な通学環境を整備した。 (概要) ・利用人数(計)：187人 ・伊勢宮川中学校スクールバス運行業務委託等(71人) 34,988千円 ・二見浦小学校スクールバス運行業務委託等(32人) 8,780千円 ・二見中学校スクールタクシー運行業務委託等(試走) 9千円 ・みなと小学校スクールバス運行業務委託等(78人) 6,025千円 ・みなと小学校スクールタクシー運行業務委託等(6人) 1,502千円 ・沼木地区自主運行バス運行業務委託(交通政策課執行) 42千円 ・土地借上料 122千円	205
2. 私立学校等振興助成事業	15,491	①実費徴収にかかる補足給付補助金 新制度に移行していない私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対し、低所得世帯等を対象に幼稚園の副食費相当額の補助を行った。 ・補助金支給者数 14人 ・補助金支給額 363千円 ②幼児教育育成補助金 私立幼稚園及び私立認定こども園の経営の安定化と幼児教育の充実を図るため、運営費に対して補助を行った。 ・補助金支給園 12園 ・補助金支給額 10,321千円 ③一時預かり事業(幼稚園型) 私立幼稚園及び私立認定こども園の一時預かり事業を安定的に実施するための人件費等に対して補助を行った。 ・補助金支給園 3園 ・補助金支給額 4,807千円	205

学校施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小中学校適正規模化・適正配置推進事業	55	小中学校の適正規模化・適正配置を推進するため、第1期対象校の保護者や地域住民に事業の進捗状況について説明等を行った。 ・印刷製本費 55千円	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書
2. <u>二見地区小中学校</u> <u>整備事業</u>	3,050,255	<p>令和5年4月移転に向け、校舎の建設工事等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校用消耗品等 466千円</li> <li>・完成式関連経費 201千円</li> <li>・通信回線架設料 39千円</li> <li>・建築確認申請等手数料 784千円</li> <li>・引越等業務委託 5,353千円</li> <li>・ネットワーク配線等業務委託 15,442千円</li> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託                (令和3・4年度継続費) 2,854,804千円</li> <li>・グラウンド整備工事 68,694千円</li> <li>・グラウンド舗装工事 80,358千円</li> <li>・学校備品購入費 13,805千円</li> <li>・ネットワーク関連機器購入費 9,649千円</li> <li>・水道加入金 660千円</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 2,583,540千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校用消耗品等</li> <li>・完成式関連経費</li> <li>・通信回線架設料</li> <li>・建築確認申請等手数料</li> <li>・引越等業務委託</li> <li>・ネットワーク配線等業務委託</li> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託                (令和3・4年度継続費)</li> <li>・グラウンド整備工事</li> <li>・グラウンド舗装工事</li> <li>・学校備品購入費</li> <li>・ネットワーク関連機器購入費</li> <li>・水道加入金</li> </ul> <p>繰越予算額 550,422千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託                (令和3・4年度継続費)</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>令和2年度 650,585千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築確認申請等手数料</li> <li>・建築、土木設計業務委託</li> <li>・造成工事</li> <li>・土地購入費</li> </ul> <p>令和3年度 581,666千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築確認申請等手数料</li> <li>・法面詳細設計業務委託</li> <li>・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託                (令和3・4年度継続費)</li> <li>・造成工事</li> <li>・配水本管移設補償</li> <li>・事業損失補償</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二見地区統合保育園と同時期に津波浸水区域外へ移転</li> </ul>	頁 207

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校行事開催事業	1,436	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援し、また、成果を発表する場を設けることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに豊かな感性を養った。</p> <p>○科学創作展                      ・内容：児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を、Web上で一般に公開した。                      ・委託先：伊勢市科学創作教育振興会                      ・開催期間：令和4年10月14日～10月23日                      ・開催方法：オンライン開催                      ・委託料：132,447円</p> <p>○教育美術展                      ・内容：児童生徒の絵画、工作、書写作品を、Web上で一般に公開した。                      ・委託先：伊勢市教育美術展運営委員会                      ・開催期間：令和5年1月23日～2月5日                      ・開催方法：オンライン開催                      ・委託料：170,684円</p> <p>○文化芸術活動推進事業                      ・内容：伊勢市民芸能祭に出演する。なお、例年行っていた中学校連合音楽演劇発表会は、小中学校行事精選の結果、文化芸術活動推進事業へ移行した。                      ・委託先：文化芸術活動推進委員会                      ・出演日：令和4年11月6日                      ・委託料：835,948円</p> <p>○伊勢まつり「小学生連合鼓笛隊パレード」                      ・内容：小学生連合鼓笛隊によるパレードを実施した。                      ・委託先：伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会                      ・実施日：令和4年10月8日                      ・委託料：297,192円</p> <p>●伊勢まつり「中学校吹奏楽演奏会」については、「他の出演者と2メートル以上の距離を取れない場合はマスクをすること」という伊勢まつりの参加条件で演奏を行うことは不可能であるため本年度は出場しないこととした。</p>	205
2. 学校教育支援事業	137,133	<p>地域人材や学生を、学習支援員等として活用することで、学習環境の整備に努め、個に応じたきめ細かな支援や指導を行うことができた。</p> <p>【学習支援員・看護師】                      ○配置および活動状況（令和5年3月31日現在）                      小学校19校 61人 中学校 7校 11人</p> <p>【教育支援ボランティア】                      ○登録者数 156人（令和5年3月31日現在）                      ○活動人数 148人（令和5年3月31日現在）                      内訳（学習支援93人、部活動支援27人、学校図書館支援13人、日本語支援6人、保育活動補助5人、養護教諭・栄養教諭の支援2人、心の支援2人）                      ○活動回数 3,331回</p> <p>【学校安全ボランティア】                      ○登録者数 622人（小学校22校：各校区で随時活動）</p>	205



事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 特別支援教育推進事業	314	子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、特別支援教育体制整備をすすめた。専門家（臨床心理士・特別支援学校教諭等）による市内保幼小中への巡回相談や、教職員の研修会を実施した。 授業のユニバーサルデザイン化推進事業においては、すべての児童生徒にとっての「分かる、できる」を保障する授業づくりを小学校2校中学校1校で実施した。	205
4. 通学安全対策事業	6,746	○遠距離その他の事由により徒歩による通学が困難な児童について、その通学に要する交通費を支給し、児童の通学上の安全確保を図った。なお、平成29年度から次年度分の通学定期券の現物支給を行っている。 ・令和4年度通学分 88,600円（11人） ・令和5年度通学分 1,212,000円（58人） ○路線バス通学をしている児童について、新型コロナウイルス感染症対策のため、バスを増便した。 ・委託先：三重交通株式会社 ・委託期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・契約単価：1台1運行 27,500円（税込） ・委託料：5,445,000円（198日×27,500円）	205
5. 未来へチャレンジ！職場体験推進事業	1,217	キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施しているが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の予防のため、例年のように実施ができなかった。しかし、鳥羽市の旅館へ出向き職場体験をしたり、講師を招聘または東京とオンラインでつなげ、体験談を聞く機会を設けたりした。また、生徒が職業インタビューをし、個人新聞を作り冊子を作成する取組も行われた。	205
6. 学力向上推進事業	9,555	目標基準準拠検査（CRT）を小学校2年生～中学校2年生に実施するとともに、小学校1年生においては伊勢市教育委員会が作成した学力調査（国語・算数）を実施し、授業改善及び個に応じたきめ細かい指導に生かすことができた。 （CRT実施学年及び教科 小学校2・3年生：国語・算数、小学校4～6年生：国語・社会・算数・理科、中学校1年生：国語・社会・数学・理科、中学校2年生：国語・社会・数学・理科・英語） また、研究校を指定し、課題解決に向けた計画的・継続的な実践研究を行い、授業改善に係る実践研究を行った。	205
7. 食育推進事業	573	児童生徒が様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活が実践できるよう、学校・家庭・地域が連携しそれぞれの学校・地域の特色を活かした食育の取組を実施した。	205
8. スクールカウンセラー活用事業	957	スクールカウンセラーへの相談は、人間関係に関する相談が最も多く、不登校やいじめ、学習関係等多岐にわたっている。令和4年度については、交通事故による心のケアや個別面談等の緊急派遣要請があり、複数の学校に緊急派遣を行った。	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. <u>部活動指導員配置事業</u>	6,522	<p>市立中学校に部活動指導員を7人配置し、部活動指導体制の充実を推進し、部活動を担当する教員の負担軽減・支援を行った。</p> <p><b>【当初予算における内容、計画】</b>            当初予算額 7,679,000円            ・部活動指導員7人の配置。</p> <p><b>【過去2ヵ年度の実績】</b>            令和2年度 2,713,840円            ・部活動指導員5人の配置。</p> <p>令和3年度 4,881,001円            ・部活動指導員7人の配置。</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>            部活動指導員を配置することで、部活動ガイドラインが遵守され、適切な練習時間や休養日が確保されている。今後、部活動の地域移行及び指導者の確保、指導者の質の向上、学校における働き方改革を進めるために、部活動指導員の配置を拡充する必要がある。</p>	205
10. 学校水泳民間プール施設活用事業	7,866	<p>今後の学校水泳における民間プール施設の効果的かつ経済的な活用を検討するため、令和4年度は、5校の水泳の授業を委託し、研究をすすめた。            (早修小、豊浜東小、北浜小、佐八小、二見浦小)</p>	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
11. 豊かな心を育む体験交流活動推進事業	3,497	<p>子どもたちの豊かな心を育む体験交流活動を推進するため、「社会参画力向上推進事業」については幼稚園1園・小学校13校・中学校5校に、「きらり自然体験活動推進事業」については小学校3校に委託を行った。「ふれる・つくる・かんじる自然体験プログラム」については、全28回実施した。「医師、助産師、保健師等による講話等いのちの学習」については全中学校で実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 4,542,000円 ・「社会参画力向上推進事業」 小学校12校、中学校5校、幼稚園2園 ・「きらり自然体験活動推進事業」 小中学校2校 ・「ふれる・つくる・かんじる自然体験プログラム」全17回 ・「医師、助産師、保健師等による講話等いのちの学習」学校独自中学校6校、学校教育課が計画したプログラム中学校4校</p> <p>【過去2カ年度の実績】 令和2年度からの新規事業 ・「子どもたちとつくるやさしいまち伊勢市」推進事業幼稚園1園・小学校12校・中学校6校に委託 ・きらり自然体験活動推進事業 小学校3校に委託 ・「助産師、保健師等の講話によるいのちの学習」について推進校中学校2校にて実施 令和3年度 ・社会参画力向上推進事業 幼稚園1園・小学校12校・中学校5校に委託 ・きらり自然体験活動推進事業 小学校3校に委託 ・ふれる・つくる・かんじる自然体験プログラム 全17回実施 ・医師、助産師、保健師による講話等いのちの学習 中学校7校</p> <p>【事業を取りまく状況等】 新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されるものもあったが、コロナ禍でも行える活動を工夫して実施することができた。すべての学校が1つ以上の事業を行うこととした。</p>	205
12. 奨学金育英事業	5,004	<p>経済的理由により修学が困難な大学又は高等学校等に在学する学生、生徒に奨学金を支給し、奨学生の学費の負担を軽減するとともに、社会に貢献する有用な人材の育成に努めた。</p> <p>県外大学：15人 県内大学：15人 公立高校：20人 私立高校：6人 計56人</p>	205
13. 非核・平和推進事業	52	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、広島平和記念式典への参加は中止になったが、伊勢市内において「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業として、市内10中学校から2人ずつの代表生徒（計20人）が集まり平和学習会（被爆証言講話受講・伊勢市中学生平和サミット）を行った。代表生徒は「ピースメッセンジャー」として、学んだことや感じたことをそれぞれ自校の平和学習の場で還流発表した。</p>	205

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
14. いじめ防止対策推進事業	192	いじめ防止等に資する対策を効果的に進めるため、「いじめ防止対策推進法」及び「伊勢市いじめ防止基本方針」に沿って会議・研修会を実施し、関係機関や各小中学校との連携を図った。いじめ等による新規不登校児童生徒の抑制へ向けた早期把握・早期対応の取組を全中学校区で行い、小中連携を図った。	207
15. <u>エンジョイイング</u> <u>リッシュ事業</u>	13,090	<p>小学生ちよこつと英語体験、中学生英語スピーチコンテスト、英語検定チャレンジ事業等、児童生徒が様々な形で外国語に関わることができる機会を設け、外国語への関心や意欲の向上を図った。また、就学前教育保育施設へのALTの派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生ちよこつと英語体験 4回実施(54人参加)</li> <li>中学生英語スピーチコンテスト 各校代表1~2名の中学生が参加(19人参加)</li> <li>小学校外国語活動研究指定 小学校1校を指定し、ALTを2名配置。授業公開2回</li> <li>就学前教育保育施設へのALT派遣</li> <li>英語検定チャレンジ事業(843人) 準1級…5人 2級…15人 準2級…106人 3級…313人 4級…262人 5級…142人</li> </ul> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 16,223,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生ちよこつと英語体験</li> <li>中学生英語スピーチコンテスト</li> <li>小学校外国語活動研究</li> <li>就学前教育保育施設へのALT派遣</li> <li>英語検定チャレンジ事業</li> </ul> <p>【過去2カ年度の実績】 ＜令和3年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生ちよこつと英語体験(4回予定。コロナのため、2回のみ実施)</li> <li>中学生英語スピーチコンテスト(小俣図書館ホールにて予定していたが、コロナのため、動画審査のコンクールとなった。)</li> <li>小学校外国語活動研究指定</li> <li>就学前教育保育施設へのALT派遣</li> <li>英語検定チャレンジ事業(935人) 1級…1人 準1級…3人 2級…16人 準2級…95人 3級…398人 4級…286人 5級…136人</li> </ul> <p>＜令和2年度＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生ちよこつと英語体験(コロナで中止)</li> <li>中学生英語スピーチコンテスト(コロナで中止)</li> <li>小学校外国語活動研究指定</li> <li>就学前教育保育施設へのALT派遣(コロナで中止)</li> <li>英語検定チャレンジ事業(788人) 準1級…2人 2級…22人 準2級…91人 3級…266人 4級…283人 5級…124人</li> </ul> <p>【事業を取りまく状況等】 将来、子供たちの生活環境は、今以上に英語力が求められる社会となる。今後も英語が身近にある環境を作るとともに、感染症の予防対策を徹底し、事業を実施していく必要がある。</p>	207

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
16. ALT活動事業	74,676	英語を母語とする人材やそれと等しい環境で英語を身につけた人材を雇用し、中学校の英語科及び小学校の外国語活動等で、担当教員が行う授業の補助を行った。JETプログラムによる雇用9人と市直接雇用9人の計18人を中学校、小学校や就学前教育保育施設に派遣した。(内2人はエンジョイイングリッシュ事業)	207
17. 学校図書館活性化支援事業	26,633	市立全小中学校の図書館に司書資格を有する図書館スタッフを配置し、図書館業務のスムーズな管理運営、児童生徒へのオリエンテーション、読み聞かせ等、学校図書館活動の活性化を図った。	207
18. 読書大好キッズプロジェクト事業	585	伊勢市オリジナルブックリスト「読書ツアー(低学年用)」を小学1年生に(2,3年生には配付済み)、電子版「読書ツアー(高学年用)」を小学4,5,6年生で利用開始し、読書意欲の向上を図った。	207
19. 臨時特例奨学金育英事業	13,956	新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮する学生・生徒に対し、臨時特例奨学金として資格の拡充及び要件緩和を行った。 県外大学：42人 県内大学：19人 公立高校：47人 私立高校：35人 県外専修学校：4人 県内専修学校：10人 計157人	207

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 327,336 千円  
決算額 318,844 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,836				311,008

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育研究研修推進経費	1,873	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進めるとともに、教職員対象の研修講座を開催し、市内保幼小中学校の教育力向上を図った。(研究2件・研修講座19講座)	207
2. 子ども輝き生き活き総合推進事業	40,096	全ての小中学校への非常勤講師の派遣やアンケートの実施と分析等により、いじめ等の未然防止・早期発見・早期対応と不登校の対応・支援に取り組んだ。	207
3. カウンセリングルーム総合推進事業	23,169	小中学生の教育、いじめや不登校等について、学校や保護者等からの相談に対し、教育コンサルタントが電話や面接、学校訪問等を実施。また、児童生徒・保護者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施した。	207

(款)11 教育費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>不登校対策子ども 未来サポート総合 推進事業</u>	11,578	<p>不登校や登校しぶり等、学校に行きたくても行けない児童生徒の社会的自立を目指し、教育支援センターNESTで個に応じた生活や学習等の総合的な支援を行った。また、通級生及び通級相談のあった児童生徒の情報共有や対応について、臨床心理士から助言を受けるスーパーバイズを定期的実施した。</p> <p>この他にも、学校での不登校児童生徒への支援充実を目的に、不登校児童生徒子ども未来サポート会議・研修会を開催した。</p> <p><b>【当初の予算における内容、計画】</b>            当初予算額 11,520,000円            (令和4年度実績)            ○教育支援センターNEST            ・通級児童生徒数 37名            ・相談件数(延べ件数) 1,380件            (電話 904件、来所 182件、学校訪問 294件)            ○不登校対策子ども未来サポート研修会 2回            ○不登校・登校しぶりをともに語り考える会 2回            ○不登校対策子ども未来サポート会議 2回            ○スーパーバイズ 12回</p> <p><b>【過去2か年度の実績】</b>            令和3年度 9,428,005円            ○教育支援センターNEST            ・通級児童生徒数 30名            ・相談件数(延べ件数) 1,763件            (電話 1,121件、来所 252件、学校訪問 390件)            ○不登校対策子ども未来サポート研修会 2回            ○不登校・登校しぶりをともに語り考える会 中止            ○不登校対策子ども未来サポート会議 2回            ○スーパーバイズ 12回</p> <p>令和2年度 10,034,383円            ○教育支援センターNEST            ・通級児童生徒数 19名            ・相談件数(延べ件数) 1,313件            (電話 780件、来所 182件、学校訪問 351件)            ○不登校対策子ども未来サポート研修会 2回            ○不登校・登校しぶりをともに語り考える会 中止            ○不登校対策子ども未来サポート会議 3回            ○スーパーバイズ 12回</p> <p><b>【事業を取りまく状況等】</b>            不登校児童生徒数について、伊勢市は、全国・三重県の数値は下回っているものの、不登校児童生徒、教育支援センター通級生ともに増加傾向にあることから、学校、家庭及び関係機関との連携を強化するとともに、教育支援センターでの支援の充実を図り、不登校の早期発見、早期対応につなげる必要がある。</p>	207
5. ICT教育環境充 実事業	38,387	<p>新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けた授業、学校行事の遠隔視聴、オンライン授業等の円滑実施を目的にICT機器等を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板(82台)</li> <li>・教員用タブレット端末(150台)</li> <li>・多目的ホール等の無線LAN整備</li> </ul>	209

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 38,035 千円  
 決算額 37,401 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	168			37,233

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権教育研究委託経費	411	人権教育に関わる事業の充実を図るため、人権教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託し、市立各小中学校等の加盟団体にて、レポートによる実践の交流や研修会等が行われ、成果として研究紀要が発行された。	209
2. 人権教育推進一般経費	84	人権教育の先進的な取組を学ぶために、研修会に参加し小中学校等の取組につながる最新の情報や資料を得た。また人権教育担当者会議を年2回実施し、人権教育の動向や様々な人権問題等についての研修を行うことで、人権教育の推進に努めた。	209
3. 人権教育子ども輝きプラン総合推進事業	685	中学校区を単位とした人権教育推進事業を中心に、各学校での取組の充実に向けて、年間を通じた計画的な取組が実施できるよう事業を展開した。市の委託事業として4中学校区に研究指定を行い、人権教育の公開授業等を通して校区の連携強化を図った。また、市立全小中学校で取り組んだ人権作文をもとに、各校で人権フォーラムを実施し、人権学習の推進を図った。各小中学校で取り組んだ人権に関する作文については、作文集「人権の芽」(960部)を作成・印刷し、各学校へ配布するとともに活用を促すことで、人権学習の推進に努めた。	209

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 6. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 12,891 千円  
 決算額 12,513 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				12,513

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	193	子ども人権スクールを開催し、市内小中学生に人権学習の場と機会を提供した。また、小中学校への出前学習や教職員研修を実施し、人権教育の推進に努めた。	209
2. 教育集会所管理経費	12,321	教育集会所を管理運営するために、人権教育指導員(4人)を配置するとともに、燃料費・消耗品費・備品費・法定点検費等を支出し、利用者(市内小中学生や市民)が安全快適に利用できるように体制を整えた。	209

(款)11 教育費

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 519,427 千円  
 決算額 490,919 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,050		44,900	2,811	413,158

学校施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校整備事業	78,939	小学校施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備を行った。 (概要) ・屋内運動場照明改修工事(厚生小、城田小、四郷小、上野小) 18,910千円 ・グラウンド改修工事(四郷小) 24,318千円 ・屋内運動場屋根等改修工事(宮山小) 17,600千円 ・多目的教室ほか改修工事(明野小) 11,156千円 ・プール改修工事(修道小) 4,300千円 ・屋上漏水補修工事(北浜小) 594千円 ・校舎給食室屋根防水改修工事(豊浜西小) 2,061千円	211

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	540	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	211



(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 87,829 千円  
 決算額 86,069 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,411				83,658

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 小学校教材整備経費	12,355	○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 22校(市立小学校全校) ・整備額 11,893,425円 ○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 2校(修道小学校ほか1校) ・整備額 159,170円 ○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 6校(修道小学校ほか5校) ・整備額 302,694円	頁 211
2. 学校図書館充実経費	8,186	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 22校(市立小学校全校) ・整備額 8,185,860円	211
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	60,434	経済的理由により、就学困難な児童に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定児童から、入学前の3月に支給している。 ・令和4年度在校生支給人数 854人 (要保護 2人、準要保護 852人) ・令和5年度入学予定者入学前支給人数 130人 (準要保護)	211

(款)11 教育費

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 298,976 千円  
 決算額 276,151 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,499		31,400	9,014	220,238

学校施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校整備事業	51,635	中学校施設の安全面、衛生面の機能充実及び施設機能の維持等の整備を行った。 (概要) ・屋内運動場照明改修工事 (港中、御菌中) 18,018千円 ・駐輪場増設工事 (城田中) 建築確認申請手数料: 25千円 工事: 1,844千円 ・多目的トイレ改修工事 (小俣中) 4,580千円 ○R3からの一部繰越 ・テニスコート付近雨水対策工事 (伊勢宮川中) 27,168千円	213

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	222	学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	211

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 90,016 千円  
 決算額 84,908 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,906				83,002

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 中学校教材整備経費	9,682	○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 10校(市立中学校全校) ・整備額 7,913,846円 ○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 5校(倉田山中学校ほか4校) ・整備額 1,592,250円 ○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに適応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 4校(倉田山中学校ほか3校) ・整備額 175,772円	頁 213
2. 学校図書館充実経費	6,350	学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 10校(市立中学校全校) ・整備額 6,350,432円	213
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	52,451	経済的理由により、就学困難な生徒に学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。なお、新入学児童生徒学用品費について、平成29年度新入学予定生徒から、入学前の3月に支給している。 ・令和4年度在校生支給人数 467人 (要保護 1人、準要保護 466人) ・令和5年度入学予定者入学前支給人数 135人 (準要保護)	213

(款)11 教育費

(款) 11. 教育費 (項) 4. 幼稚園費 (目) 1. 幼稚園費

(単位 千円)

予算現額 130,606 千円  
 決算額 125,929 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,467	286		2,089	120,087

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 幼稚園感染防止対策事業	2,256	①公立幼稚園に対して、新型コロナウイルス感染症対策と衛生管理の徹底を継続的に実施するために必要な消耗品・備品の整備を行った。 1,397千円 ②伊勢市一時預かり事業(幼稚園型)新型コロナウイルス感染症防止対策事業補助金 一時預かり事業(幼稚園型)実施施設が新型コロナウイルス感染症対策として、購入した衛生用品等に対して補助を行った。 (概要) ・補助金支給園 3園 ・補助金支給額 859千円	213
2. 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業	1,941	新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く、私立幼稚園教諭の処遇の改善のため、賃金の引き上げに必要な経費の補助を行った。 (概要) ・補助金支給園 3園 ・補助金支給額 1,941千円	215
3. 私立幼稚園安定運営支援事業	1,106	原油・物価高騰による私立幼稚園の負担増加に対して一部を助成し、施設運営における負担軽減を図ることにより、安定的な教育・保育の提供に繋げた。 (概要) ・支援金支給園 5園 ・支援金支給額 1,106千円	215
4. 幼稚園食材費負担軽減事業	774	①原油価格・物価高騰の影響を受けている私立幼稚園の給食等食材費の一部を市が支援することで、給食費への転嫁を防ぎ、保護者の経済的負担の軽減を図った。 (概要) ・支援金支給園 5園 ・支援金支給額 615千円 ②公立幼稚園の昼食費(配食サービス)の増額分について市が負担することで保護者の経済的負担の軽減を図った。 (概要) ・支援金支給園 2園 ・支援金支給額 159千円	215

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 2. 社会教育推進費

(単位 千円)

予算現額 119,506 千円  
 決算額 118,818 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	636		1,619	116,563

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 社会教育推進事業	391	社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議 ・委員数 11人 ・会議関係事業の実施状況等についての審議 ・委員研修 第53回東海北陸社会教育研究大会等は会場及びオンラインで参加。	頁 215
2. 生涯学習推進事業	2,394	生涯学習の学習機会と学習場所を提供するため、二見・小俣・御菌の各公民館等で、生涯学習講座を開催した。  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,743,000円 ・3公民館講座 37講座 (受講者486人) ・民間活用講座 25講座 (受講者371人) ・家庭教育応援講座 10講座 (受講者184人) ・高校連携講座 3講座 (受講者 43人) ・伊勢文化サークル協会の活動支援  【過去2カ年度の実績】 令和3年度 1,874,516円 ・3公民館講座 28講座 (受講者365人) ・民間活用講座 6講座 (受講者141人) ・家庭教育応援講座 13講座 (受講者146人) ・伊勢文化サークル協会の活動支援 令和2年度 1,486,710円 ・3公民館講座 23講座 (受講者296人) ・民間活用講座 1講座 (受講者 10人) ・家庭教育応援講座 3講座 (受講者 16人) ・伊勢文化サークル協会の活動支援  【事業を取りまく状況等】 公民館講座における民間活力の活用を推進することで経費削減を図るとともに、市民に対し専門技術を活用した質の高い講座を提供する必要がある。	215
3. 放課後子ども教室 運営事業	1,477	地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、「放課後子ども教室」を実施した。事業実施にあたって、伊勢文化サークル協会の協力を得て、子どもたちに様々な体験・活動を提供した。 ・伊勢市における呼称：いせ子どもチャレンジ教室 ・実施講座数 19講座 (受講者 連携型165人、一体型273人)	215

(款)11 教育費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 生涯学習センター 施設維持管理経費	96,087	<p>伊勢市生涯学習センターにおいて、指定管理者制度の導入により管理運営を行った。また、生涯学習活動の場として使用されている二見生涯学習センターの維持管理を行った。</p> <p>○伊勢市生涯学習センター（いせトピア）  指定管理者 特定非営利活動法人まなびの広場  指定管理期間 令和元年度～令和5年度  指定管理料 78,885,078円（令和4年度）  業務内容 施設の管理運営、生涯学習講座、イベントなどの実施  講座開設状況 170講座（1,893人受講）  利用状況 7,242回（99,180人）</p> <p>○二見生涯学習センター（直営）  使用状況 1,014回（9,131人）</p>	215

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 66,603 千円  
決算額 60,187 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,321			35,097	17,769

文化政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 文化芸術鑑賞事業	191	<p>市民が身近な施設で文化芸術を鑑賞できる機会として、(公社)落語芸術協会との共催により「芸協らくご・伊勢おかげ寄席」を開催した。</p>	215
2. 次世代のための文化芸術推進事業	708	<p>子どもたちの豊かな心と感性を育むとともに、次世代への文化の継承を図るため、箏、ダンス、いけばな等の文化芸術体験講座を小中学校において実施した。また、日本の伝統的な文芸の形式である短歌・俳句を用い、瑞々しい感性で世界に伊勢市の魅力をPRしてもらいたいとの思いを込め、小中学生を対象に短歌と俳句の作品公募を行った。</p>	215

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>アクティブ・アート推進事業</u>	3,930	<p>市民の文化芸術への関心を高めるとともに、文化芸術活動の活性化と観光誘客の促進を図るため、令和2年度より観光誘客課が実施している「クリエイターズ・ワークショップ促進事業」に参加した文化芸術分野のプロのクリエイターと連携し、作品展示会や演奏会等を開催した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 4,000千円 ・ワークショップの開催 ・作品展示会（彫刻、絵画作品等）の開催 ・シンポジウム（プロのクリエイター、市内芸術家等の交流）の開催 ・演奏会の開催</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和4年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 市民ニーズの把握、他部局連携の可能性等を検討し、さらに効率的な企画立案に努めていく必要がある。</p>	215
4. 文化財保存整備事業補助金	8,821	<p>指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。</p> <p>【令和4年度対象事業及び市補助金決算額】</p> <p>○国史跡離宮院跡環境整備事業 ・補助事業者 官舎神社氏子総代会 ・補助金 155千円</p> <p>○史 旧林崎文庫 史跡等総合活用整備事業 ・補助事業者 宗教法人 神宮 ・補助金 8,579千円</p> <p>○弥栄の松 病害対策事業 ・補助事業者 日保見山八幡宮 ・補助金 87千円</p>	217
5. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	762	<p>市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。交付団体数 上條区自治会ほか7団体</p>	217
6. 文化財案内板設置事業	172	<p>市内の指定文化財や史跡等を周知するため、文化財案内板を設置している。令和4年度は、外国人観光客に対応するため、既設案内板（6件）の文面を英訳し、閲覧のためのQRコード付きステッカーを貼付した。</p>	217
7. 旧豊宮崎文庫整備活用事業	441	<p>旧豊宮崎文庫と市天然記念物オヤネザクラの概要と文化財保護の大切さを知ってもらうために史跡見学会を開催した。</p>	217
8. 賓日館保存事業	275	<p>賓日館は市が所管する文化財（国の重要文化財）であり、誘客施設としても活用されている。</p> <p>令和4年度は、今後の耐震改修事業に向けての文化庁等との調整や協議、準備等を行った。また、建物等の維持管理のために修繕工事等を施行した。</p>	217

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 伊勢うどん魅力発信事業	7,525	<p>伊勢うどんは、伊勢市内で継承されてきた郷土食であり、その発祥は江戸時代にまでさかのぼる。現在でも市民にとっては日常的に食されるとともに、伊勢参りにおける代表的な食べ物の1つとして、多くの観光客に親しまれている。</p> <p>令和4年度は、伊勢うどんの文献調査・実地調査等を実施し、文化財的価値を明らかにし、食文化の文化的背景を伝える「食文化ストーリー」を作成した。また、伊勢うどんの魅力に迫るシンポジウムを開催した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 9,272千円 ・伊勢うどんの調査研究 ・有識者検討会の開催 ・シンポジウムの開催</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 令和4年度からの新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 今後、国登録無形民俗文化財の候補リストに加わるための手続きを行い、登録された伊勢うどんを地域資源・観光資源として活用する事業に取り組んでいく必要がある。</p>	217

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年育成費

(単位 千円)

予算現額 4,726 千円  
決算額 3,930 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,930

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 青少年健全育成推進事業	2,307	伊勢市青少年育成市民会議で、SNS問題に関する講演会の実施や市民会議を構成する10中学校区の青少年健全育成協議会が行う地域主導の青少年健全育成事業に対して支援を行った。また、青少年相談センターでは、少年非行の早期発見・早期指導及び非行等に関する相談業務を行い、青少年の健全な育成に寄与することを目的に運営を行った。	217
2. 飯田市交流会実施事業	30	伊勢市と飯田市の児童の代表が、児童会活動や学校内外の生活、そして住んでいる地域社会のことについて話し合い、友情と連帯の輪を強め、次代のリーダーを養成する事業であるが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	217
3. 成人式開催事業	1,593	<p>市内の各中学校区から推薦を受けた委員24人及び公募委員2人により組織した「伊勢市二十歳のつどい実行委員会」が企画・運営を行い、「伊勢市二十歳のつどい」を実施した。</p> <p>開催日 令和5年1月8日 場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 参加者数 991人(参加率87.7%) 開催形式 新型コロナ対策として、3部制で実施</p>	217



(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 175,921 千円  
 決算額 174,631 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				174,631

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書整備経費	23,345	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料について、利用者のニーズを反映させながら購入し、図書館の利用促進を図った。 【購入冊数】 図書資料 9,962冊 雑誌 3,426冊 視聴覚資料 56点	219
2. ブックスタート支援事業	1,315	赤ちゃんと保護者に「絵本」と「絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動で、赤ちゃんと保護者が、絵本を通して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。対象となる赤ちゃんに、絵本2冊とアドバイス集が入ったブックスタートバックを、図書館と1歳6か月児健診時の会場で配付した。配付人数 852人	219
3. 図書館運営経費	149,971	伊勢市立図書館において、指定管理者制度の導入により管理運営を行った。 ○制度導入時期 ・伊勢図書館(分室含む) 平成18年4月から ・小俣図書館 平成21年4月から ○図書館指定管理者 指定管理者 (株)図書館流通センター 指定管理期間 令和元年度～令和5年度 指定管理料 142,916,292円(令和4年度) 業務内容 図書館(分室含む)の管理運営 ○入館者数 ・伊勢図書館(分室含む) 179,745人 ・小俣図書館 141,439人	219

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 126,511 千円  
 決算額 112,652 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		37,400	1,490	73,762

文化政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持管理経費	112,652	大ホールの舞台吊物機構設備の更新工事を行った。 【主な内容】 ・機械設備工事 49,940千円	219

(款)11 教育費

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 152,314 千円  
 決算額 117,591 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,934			33,272	65,385

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 児童生徒保健管理事業	69,608	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び幼児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、幼児児童生徒の健康管理に努めた。	頁 219
2. 教職員健康管理事業	5,795	非常勤講師を除く県費負担教職員を対象に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図るとともに、労働安全衛生法第66条の10の規定に基づくストレスチェックを実施し、自身のストレスへの気づきを促し、メンタルヘルス不調の未然防止に努めた。	219
3. 学校歯科保健衛生指導事業	1,300	児童が口の健康についての正しい知識を持ち、適切な歯科保健行動を実践する力をつけるため、学校歯科医、歯科衛生士の協力のもと、学齢の課題にあわせた歯科保健指導(2年生:歯みがき指導・5年生:歯みがき指導、歯肉炎予防)を実施した。	219
4. 学校保健特別対策事業	36,355	児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、各学校における新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品及び備品の購入を行った。	221

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 588,883 千円  
 決算額 566,265 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
184				566,081

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 学校給食管理経費	45,930	「安全でおいしい学校給食」が円滑に提供できるよう、給食調理従事者の健康管理、衛生管理等を実施し、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	頁 221
2. 学校給食施設維持管理経費	6,615	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努め、安定した学校給食運営を図った。	221

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 給食施設整備経費	8,320	老朽化した大型備品の更新を行い、安定した給食の提供と衛生管理の徹底を図った。	221
4. 中学校給食共同調理場管理経費	202,400	中学校給食共同調理場の運営・管理を行い、市内共同調理場方式実施10中学校の生徒へ、安全・安心でおいしい給食を提供した。	221
5. 学校給食用食材費負担軽減事業	14,775	原油価格・物価高騰の影響を受けている学校給食用食材費の一部を市が負担することで、保護者の経済的負担の軽減を図った。	221

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 37,130 千円  
決算額 32,139 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,392	27,747

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ推進委員事業	2,451	伊勢市スポーツ推進委員連絡協議会主催のスポーツ行事等について、企画立案や運営を行い、地域におけるスポーツの普及及び振興を図った。 ・委員数：59人	221
2. 生涯スポーツ推進事業	3,135	生涯スポーツの普及・振興のため各種スポーツ行事を開催した。 ・ちびっこ超人選手権大会2022 開催日：令和4年6月19日 参加者数：286人 ・小学生スポーツチャレンジ！ 実施期間：令和4年8月1日～10日 参加者数：219人 ・いせスポーツフェスティバル2022 開催日：令和4年10月10日 参加者数：102人 ・市民ふれあいスポカルウォーク 実施回数：5回 参加者数：延464人 ・伊勢市民ダンス&体操フェスティバル2022 開催日：令和4年10月23日 参加者数：946人 ・第16回美し国三重市町対抗駅伝 開催日：令和5年2月19日 伊勢市選手団26人 参加に向けて伊勢市選手団を結成し、結団式を1回、練習会を3回実施した。	221

(款)11 教育費

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 総合型地域スポーツクラブ育成事業	5,419	子どもから高齢者まで全ての地域住民が、各自のニーズに合わせて、気軽にスポーツ活動に参加できる「総合型地域スポーツクラブ」の育成を図った。また、各クラブにおいては、年間を通じて多くのスポーツ教室等を開催した。 ・クラブ数：8クラブ ・会員数：3,153人（令和5年1月現在）	221
4. スポーツ少年団育成事業	1,441	子どもたちの健全育成と競技人口の一層の拡大を図るため、幅広いスポーツ活動を経験する機会を設けた。 ・スポ少フェスタ2022 開催日：令和4年5月15日 参加者数：334人 ・種目別交流事業 実施期間：令和4年12月～令和5年2月 実施種目：バドミントン、剣道、バレーボール、野球、サッカー、複合 参加者数：587人 <登録数> 団数：37団 団員数：930人（令和4年9月現在）	221
5. <u>インクルーシブスポーツ推進事業</u>	292	令和4年度からの新規の重点事業であることから、伊勢市パラスポーツ協会等の関係団体との連携を進め、障がいの有無、年齢、性別、国籍等に関わらず、誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しむことができるインクルーシブスポーツの推進を図った。  ・第1回インクルーシブスポーツフェスタ 開催日：令和4年5月29日 参加者数：78人 ・第2回インクルーシブスポーツフェスタ 開催日：令和4年7月31日 参加者数：47人 ・ボッチャ交流大会 開催日：令和4年11月20日 参加者数：77人  【当初予算における内容、計画】 当初予算額 600,000円 ・インクルーシブスポーツフェスタの開催 ・ボッチャ交流大会の開催 ・障がい者野球交流会の開催  【過去2カ年度の実績】 ・令和4年度からの新規事業  【事業を取り巻く状況等】 ・令和4年度に発足した伊勢市パラスポーツ協会等の関係団体と連携し、インクルーシブスポーツの普及促進を図っていく。	223
6. 全国大会等参加激励事業	4,284	各種スポーツ大会で予選大会等を経て、全国大会に出場する個人や団体、もしくは、本市または三重県ブロック代表等で全国大会に出場する個人や団体に激励金を支給した。 ・支給件数 124件 ・支給額 4,175,000円 ・主な大会 大学駅伝、陸上競技全国大会 ほか 全国規模以上のスポーツ大会において、優勝またはそれに準ずる成績を収めた選手に対し、本庁舎本館1階ロビーへ名前を掲示し、その功績を称えた。	223

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 競技スポーツ推進事業	3,917	伊勢市スポーツ協会の各競技団体が主体となって、種目普及やジュニアから大人までの競技力向上のための大会や教室を開催した。 ・ジュニア育成事業：14競技14事業 ・競技スポーツ事業：13競技13事業 ・種目普及事業：10競技10事業 ・指導者育成事業：3競技3事業 加盟競技団体 32団体	223
8. 集客誘致大会開催事業	3,834	全国規模のスポーツ大会を開催し、競技力の向上や競技人口の拡大を図った。 ・伊勢神宮奉納社会人野球 第70回JABA伊勢・松阪大会 開催日：令和4年10月7日～14日 参加者数：2,297人（観客数含む） ・第34回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 開催日：令和5年3月26日～28日 参加者数：延1,624人（監督・選手） ・神宮奉納全日本ソフトテニス大会 令和4年度より終了	223

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 154,106 千円  
決算額 149,910 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		9,100	44,800	96,010

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 体育施設管理運営経費	130,805	第3期伊勢市スポーツ推進計画等に基づき、施設の適正な運営、維持管理を行った。	223
2. 体育施設整備事業	19,105	安全で快適に体育施設を利用してもらえるよう、施設の修繕・整備等の工事を行った。 ・伊勢フットボールヴィレッジCDピッチ駐車場入口舗装等改修工事 1,210,000円 ・小俣総合体育館非常用発電機（消防用）更新工事 6,572,500円 ・市営庭球場管理棟トイレ改修工事 3,499,100円 ・倉田山公園野球場シーリング改修工事 4,930,200円 ・市営庭球場受電設備改修工事 1,265,000円 ・小俣総合体育館入口不陸部分補修工事 990,000円 ・宮川スポーツグラウンド設備撤去運搬工事 638,600円	223

(款)11 教育費

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1. 農地・農業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 10,003 千円  
 決算額 5,258 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	321	300		4,637

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農地・農業用施設災害復旧事業	5,258	令和4年7月の豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。 ・円座町地内排水路災害復旧工事ほか2件 ・重機借上	223

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 63,378 千円  
 決算額 43,582 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,113		12,500		5,969

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川災害復旧事業	43,582	令和4年7月及び9月の大雨により被災した施設の機能回復を図るため、復旧を行った。 (概要) 河川災害復旧 【補助分】 ①令和4年度現年分 復旧工事 L=128.3m 3件 準用河川大倉川左右岸 準用河川亀谷郡川左右岸 普通河川馬瀬川左右岸 ②令和5年度へ一部繰越 復旧工事 L=22.1m 1件 普通河川小田古川左岸 ③令和5年度へ繰越 復旧工事 L=15.8m 1件 普通河川横輪川支川左岸 【単独分】 ①令和4年度現年分 測量設計業務 11か所 2件	225

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 5,510,551 千円  
 決算額 5,510,550 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			200,000	5,310,550

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市債償還元金	5,510,550	過去に借入れた市債の元金の支払いを行った(通常償還)。 ・借入利率 0.002%~4.75% ・借入年度 平成4年度~令和2年度 ・未償還残高 60,417,418千円	頁 227

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 194,590 千円  
 決算額 193,295 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				193,295

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 市債利子	193,265	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.002%~4.75% ・借入年度 平成4年度~令和3年度	頁 227

(款)13 公債費

# 【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,821,000 千円  
 決算額 7,682,993 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,682,993			

## 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,682,993	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 467,527件 (2) 年度平均被保険者数 25,154人	243

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 52,800 千円  
 決算額 50,744 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	50,744			

## 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	50,744	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 7,429件	243

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費 (目) 1. 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 1,159,000 千円  
 決算額 1,128,068 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,128,068			

## 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者高額療養費	1,128,068	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 43,634件	243



(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 25,240 千円  
 決算額 19,698 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				19,698

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 出産育児一時金	19,698	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 47件	頁 245

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 10,200 千円  
 決算額 8,750 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,750

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 葬祭費	8,750	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 175件	頁 245

(款) 2. 保険給付費 (項) 6. 傷病手当金 (目) 1. 傷病手当金

(単位 千円)

予算現額 6,853 千円  
 決算額 2,808 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,808			

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 新型コロナウイルス感染症傷病手当金	2,808	新型コロナウイルス感染症傷病手当金の支給額 (1) 支給件数 112件	頁 245

(款) 4. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 162,140 千円  
 決算額 150,812 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	49,942			100,870

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査事業 費	137,705	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 11,302人	247
2. 特定保健指導事業 費	13,107	特定保健指導の実施 (1) 動機付け支援 263人 (2) 積極的支援 24人	247

## 【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金 (項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金  
 (目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 3,242,985 千円  
 決算額 3,239,334 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,239,334

### 医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	3,239,334	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 1,393,634千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 377,499千円 ・保健事業負担金 広域連合が行う保健事業経費の市分担金 21,296千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 48,185千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者にかかる医療給付費の1/12の額 1,398,720千円	259

## 【介護保険特別会計】

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 201,288 千円  
 決算額 199,594 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
489				199,105

### 福祉監査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護サービス事業者指導監査事業	359	地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、第1号事業事業所の指定を行うとともに、そのサービスの質の確保及び給付の適正化を図るため、指導監査を行い、事業所等を支援した。	273

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 4,724 千円  
 決算額 4,364 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				4,364

### 介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域包括ケア推進協議会運営事業	402	本市における地域包括ケアシステムを推進するため、伊勢市地域包括ケア推進協議会を開催した。	273
2. 介護保険事業計画策定事業	3,962	「伊勢市第10次老人福祉計画・第9期介護保険事業計画」計画策定業務を委託し、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施した。	273

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 13,717,551 千円

決算額 13,373,380 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,440,179	1,988,452		3,592,983	4,351,766

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護サービス等給付事業	12,345,188	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅介護サービス給付費負担金 支給件数 120,980件 6,063,707千円</li> <li>・ 地域密着型介護サービス給付費負担金 支給件数 14,515件 1,854,825千円</li> <li>・ 施設介護サービス給付費負担金 支給件数 14,171件 3,706,850千円</li> <li>・ 居宅介護福祉用具購入費負担金 支給件数 539件 13,800千円</li> <li>・ 居宅介護住宅改修費負担金 支給件数 413件 31,896千円</li> <li>・ 居宅介護サービス計画給付費負担金 支給件数 45,844件 674,110千円</li> </ul>	275
2. 介護予防サービス等給付事業	357,850	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防サービス給付費負担金 支給件数 16,839件 251,892千円</li> <li>・ 地域密着型介護予防サービス給付費負担金 支給件数 212件 14,169千円</li> <li>・ 介護予防福祉用具購入費負担金 支給件数 167件 3,851千円</li> <li>・ 介護予防住宅改修費負担金 支給件数 334件 28,166千円</li> <li>・ 介護予防サービス計画費負担金 支給件数 13,252件 59,772千円</li> </ul>	275
3. 高額介護サービス等給付事業	306,779	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高額介護サービス費負担金 支給件数 27,871件 306,480千円</li> <li>・ 高額介護予防サービス費負担金 支給件数 200件 299千円</li> </ul>	275
4. 特定入所者介護サービス等給付事業	320,456	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定入所者介護サービス費負担金 支給件数 10,995件 320,280千円</li> <li>・ 特定入所者介護予防サービス費負担金 支給件数 53件 176千円</li> </ul>	275
5. 高額医療合算介護サービス費等給付事業	43,107	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高額医療合算介護サービス費負担金 支給件数 1,556件 43,036千円</li> <li>・ 高額医療合算介護予防サービス費負担金 支給件数 47件 71千円</li> </ul>	277

## (款) 3. 地域支援事業費

## (項) 1. 地域支援事業費

## (目) 1. 介護予防・日常生活支援総合事業費

(単位 千円)

予算現額 258,297 千円  
 決算額 240,453 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
103,226	32,228		69,840	35,159

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 普及啓発事業	3,057	65歳以上の高齢者を対象に、シニア健康講座等の開催や健康チェック、介護予防教室OB会の活動支援を行い、高齢者の健康づくりに関する知識の普及啓発を行った。6,318人の参加があった。	277

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防・生活支援サービス事業	206,260	【介護予防・生活支援サービス事業】 ・訪問型サービス費（訪問介護相当・訪問型サービスA1） 支給件数 3,884件 58,047千円 ・通所型サービス費（通所介護相当・通所型サービスA） 支給件数 7,633件 145,725千円 ・高額介護サービス費 支給件数 194件 1,040千円 ・高額医療合算介護サービス 支給件数 32件 568千円 ・審査支払手数料 支給件数 17,237件 879千円	277
2. 介護予防ケアマネジメント事業	25,603	・介護予防ケアマネジメント事業費 支給件数 5,721件 25,603千円	277

福祉総合支援センター

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 普及啓発事業	943	要介護状態への進行を防止することを目的に、介護予防の普及啓発を実施し、高齢者の健康と生活機能の維持向上を支援した。	277
2. 介護予防・生活支援サービス事業	4,590	要支援者・事業対象者に対する介護予防・日常生活支援総合事業のうち、介護サービス事業者以外の多様な主体による多様なサービスを構築するため、民間・地域住民組織等が行う生活援助や介護予防に資する集いの場等に対する支援を行った。	277

## (款) 3. 地域支援事業費

## (項) 1. 地域支援事業費

## (目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 82,055 千円  
 決算額 77,110 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,453	11,727			41,930

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	32,071	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等(施設入所者を除く)に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。支給者数 758人	277
2. 介護相談員派遣事業	244	介護保険サービス利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに事業所におけるサービスの質的な向上を図るため、介護サービス相談員がオンラインで面談を行った。 介護サービス相談員 6名 オンライン面談実施事業所 3施設	279
3. 介護給付費等費用適正化事業	3,857	適切な介護保険サービスの確保、適正な利用により、持続可能な介護保険制度の構築に資するため、介護給付費等費用適正化事業を行った。 ・ケアプラン点検 実施回数 3回 点検件数 12件 ・介護給付費通知 発送回数 4回 ・住宅改修実態調査 実施回数 7回 ・福祉用具実態調査 実施回数 3回	279

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 食の自立支援事業	3,250	高齢者の食の自立を目的として、65歳以上の一人暮らし又は高齢者のみの世帯で、食事の確保が困難な世帯に属する高齢者に対して、栄養のバランスの取れた食事を平日の昼週3回を限度として提供するとともに、安否確認を併せて行い、日常生活の支援を行った。	277
2. 高齢者住宅等安心確保事業	10,268	高齢者世話付住宅(市営リバーサイドせせらぎ)に居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することにより、自立して安全かつ快適な在宅生活を営むことができるよう支援した。	277

福祉総合支援センター

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 認知症施策事業	7,406	<p>認知症の正しい理解を深め、家族や周囲が安心して対応できるよう、認知症に関する情報発信や知識の普及啓発を行った。地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、地域での取り組みを推進した。また、認知症の早期発見、早期治療をすすめ地域で安心した生活を送り続けることができるよう認知症初期集中支援チームにおいて早期対応を行った。また、サポーターの地域支援活動の推進に向け、ステップアップ研修を開催し、認知症の人とその家族を支援するネットワークの構築を図った。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進事業</li> <li>・高齢者や認知症にやさしい応援団「こども作文コンクール」 応募数40人（12小学校）</li> <li>・認知症ケアパス配布数 1,049冊</li> <li>・認知症初期集中支援推進事業 会議2回 支援件数5件（実人数4件）</li> <li>・高齢者の見守り支援等に関する協定締結</li> <li>・スローショッピングの開催</li> <li>・チームオレンジ結成</li> </ul>	277
2. 在宅支援連携推進事業	13,275	<p>在宅生活を支援する医療・保健・介護・福祉等の専門職の連携の推進を目的に伊勢地区在宅医療・介護連携支援事業を委託し、拠点の設置・運営およびネットワークの構築を行った。</p>	277
3. 地域ケア会議推進事業	2,290	<p>個別ケースを通じてケアマネジャー等と専門多職種が協働の上、ケアプラン検討や参加者の専門的能力の向上、地域の社会資源の把握・開発や市の政策形成に繋げることを目的に伊勢市生活支援会議を開催した。また、ケアマネジメント支援分科会を開催し、厚生労働省が定める基準の回数を超える生活援助中心型のケアプランについて検討を行った。</p>	277
4. 認知症SOSネットワーク事業	162	<p>認知症などで行方不明になるおそれのある人の早期発見、早期保護を目的に、情報を事前に登録することで、高齢者の安心、安全な生活の支援を行った。</p>	279
5. 認知症サポーター養成事業	62	<p>認知症への理解を進め、地域で見守る体制を目的に認知症サポーターの養成を行った。</p>	279



# 【観光交通対策特別会計】

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 1. 管理費 (目) 1. 管理費

(単位 千円)

予算現額 511,351 千円  
 決算額 444,285 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			444,285	

## 交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐車場管理運営経費	415,893	<p>神宮周辺では、交通渋滞が頻繁に発生しており、来訪された方だけでなく、地域住民の生活にも支障をきたしている。このため、内宮周辺駐車場の駐車場収入により交通誘導や情報発信、パーク&amp;バスライドなどの交通対策を行い観光振興や地域住民の生活環境の改善を図った。</p> <p>◎市営駐車場管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場使用料収入…527,381,400円</li> <li>・駐車場利用台数 …954,849台</li> </ul> <p>◎パーク&amp;バスライド運行実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールデンウィーク交通対策 …実施日：令和4年4月30日～5月1日、3日～4日</li> <li>・初参り交通対策 …実施日：令和5年1月1日～4日、8日</li> </ul>	293

## 令和4年度 入湯税充当状況

入湯税は、地方税法第 701 条の規定により、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興(観光施設の整備を含む。)に要する経費に充てる目的税です。

伊勢市の令和4年度決算における、入湯税充当対象経費は、814,013千円となっており、充当状況の詳細は次のとおりです。

(単位：千円)

事業名	入湯税 充当対象 経費決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						一般財源のうち 入湯税 充当額
環境衛生	121,420	18,836	46,000	0	56,584	0
消防	207,976	12,900	117,600	16,389	61,087	0
観光振興	484,617	44,872	0	43,659	396,086	21,667
ターゲット戦略推進事業	43,700	0	0	9,000	34,700	9,667
スポーツ・MICE誘致推進事業	14,976	0	0	0	14,976	12,000
合計	814,013	76,608	163,600	60,048	513,757	21,667

## 令和4年度 都市計画税充当状況

都市計画税は、都市計画法に基づき実施する都市計画事業に要する経費に充てる目的税です。

伊勢市の令和4年度決算における、都市計画税充当対象経費は、4,789,825千円となっており、充当状況の詳細は次のとおりです。

(単位：千円)

事業名	都市計画税 充当対象 経費決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						一般財源のうち 都市計画税 充当額
学校整備事業	3,004,640	0	3,003,800	22	818	630
二見地区小中学校整備事業	3,004,640	0	3,003,800	22	818	630
公債費(都市計画事業分)	226,151	0	0	0	226,151	174,105
下水道整備事業	1,559,034	0	0	0	1,559,034	1,200,238
合計	4,789,825	0	3,003,800	22	1,786,003	1,374,973

## 令和4年度 地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業

○地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)地方消費税交付金(社会保障財源化分) 17.2 億円  
 (歳出)社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 215.9 億円

### 【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位:千円)

	事業名	経費	財源内訳					
			特定財源				一般財源	
			国支出金	県支出金	市債	その他	地方消費税交付金(社会保障財源化分)	その他
社会福祉	障害者福祉事業	3,714,088	1,942,627	896,338	0	0	219,870	655,253
	高齢者福祉事業	247,923	0	4,303	0	51,652	17,129	174,839
	児童福祉事業	7,135,279	2,562,358	1,040,308	3,900	465,227	522,658	2,540,828
	父母子福祉事業	453,064	157,347	588	0	0	703	294,426
	生活保護扶助事業	1,935,517	1,486,189	47,036	0	0	14,315	387,977
	その他社会福祉事業	553,150	56,939	16,474	0	142,125	64,310	273,302
	小計	14,039,021	6,205,460	2,005,047	3,900	659,004	838,985	4,326,625
社会保険	国民健康保険特別会計への繰出	817,839	112,265	363,072	0	0	49,749	292,753
	後期高齢者医療特別会計への繰出	1,797,605	0	283,124	0	90	177,694	1,336,697
	介護保険特別会計への繰出	1,973,583	90,829	45,414	0	0	205,072	1,632,268
	小計	4,589,027	203,094	691,610	0	90	432,515	3,261,718
保健衛生	医療費支給事業	785,574	0	303,014	0	0	18,976	463,584
	医療提供体制確保事業	105,341	0	100	0	13,410	32,007	59,824
	病院事業会計への繰出金	1,300,865	0	0	0	5,156	303,387	992,322
	疾病予防対策事業	348,591	2,848	3,825	0	0	79,683	262,235
	健康増進対策事業	269,021	759	6,699	0	23,916	3,187	234,460
	母子保健推進事業	148,642	16,637	5,425	0	1,278	6,864	118,438
	小計	2,958,034	20,244	319,063	0	43,760	444,104	2,130,863
合計	21,586,082	6,428,798	3,015,720	3,900	702,854	1,715,604	9,719,206	

# 【費目別不納欠損の状況】

※上段( )書は令和3年度実績値 (単位 人、円)

費目	事由	対象人数	不納欠損額	所管課
<b>○一般会計</b>				
市税				
市民税		(70)	(4,683,764)	課税課(収納推進課)
		78	4,675,835	
	消滅時効	30	1,095,127	
	処分執行停止の継続	20	2,440,225	
	無財産等徴収不能	28	1,140,483	
固定資産税		(253)	(42,565,056)	課税課(収納推進課)
		238	34,114,302	
	消滅時効	209	4,399,129	
	処分執行停止の継続	16	3,898,199	
	無財産等徴収不能	13	25,816,974	
軽自動車税		(82)	(1,208,986)	課税課(収納推進課)
		59	746,305	
	消滅時効	42	462,071	
	処分執行停止の継続	7	47,800	
	無財産等徴収不能	10	236,434	
都市計画税		(253)	(8,480,267)	課税課(収納推進課)
		238	6,814,116	
	消滅時効	209	878,698	
	処分執行停止の継続	16	778,641	
	無財産等徴収不能	13	5,156,777	
分担金及び負担金				
老人福祉施設入所負担金		(0)	(0)	高齢・障がい福祉課
	消滅時効	1	13,300	
保育所保育料		(3)	(178,993)	保育課
	処分執行停止の継続	2	427,097	
使用料及び手数料				
体育施設使用料		(0)	(0)	スポーツ課
	消滅時効	1	68,800	
墓地管理手数料		(18)	(26,000)	環境課
	消滅時効	18	25,000	
諸収入				
生活保護法第63条返還金		(8)	(2,688,746)	生活支援課
	消滅時効	7	1,056,257	
生活保護法第78条返還金		(12)	(4,805,477)	生活支援課
	消滅時効	8	4,486,934	
一般会計 計		(699)	(64,637,289)	
		649	52,359,146	
<b>○国民健康保険特別会計</b>				
国民健康保険料				
国民健康保険料		(228)	(27,741,846)	医療保険課
	消滅時効	194	21,307,829	
諸収入				
一般被保険者返納金		(4)	(61,684)	医療保険課
	消滅時効	4	78,393	
国民健康保険特別会計 計		(233)	(28,042,430)	
		198	21,386,222	
<b>○後期高齢者医療特別会計</b>				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料		(56)	(1,196,989)	医療保険課
	消滅時効	59	1,479,628	
<b>○介護保険特別会計</b>				
保険料				
介護保険料		(111)	(3,838,766)	介護保険課
	消滅時効	93	2,634,301	